

履 修 要 項

(講 義 內 容)

国 文 科

英 文 科

放 射 線 科

1995 (平成7) 年度

駒 澤 短 期 大 学

学 年 暦

前 期

4月8日(土)	入学式	25日(月)	外国語指定届受付(仏教・文<除英米文>・法学部・短大国文・英文の1年次生)
10日(月)	新入生オリエンテーション	}	
12日(水)		29日(金)	秋季健康診断(卒業年次生以外対象)
10日(月)	在校生身分証明登録	26日(火)	専攻コース指定届受付
15日(土)		27日(水)	(歴史・社会学科の1年次生)
10日(月)	在校生成績発表	26日(火)	前期終了科目追・再試験
11日(火)		}	(授業平常どおり)
10日(月)	体育実技Ⅱ受講届(種目選択届)	10月2日(月)	第113回開校記念日
11日(火)		15日(日)	
11日(火)	時事外国語受講届受付(経済学部3年次生)	23日(月)	編入学試験願書受付
12日(水)		}	
13日(木)	在校生成績質疑応答	27日(金)	
19日(水)		11月13日(月)	転部・転科試験願書受付
13日(木)	前期授業開始	16日(木)	
17日(月)		12月1日(金)	卒業論文受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)
21日(金)	春季健康診断(卒業年次生対象)	11日(月)	編入学・転部・転科試験
20日(木)		3日(日)	冬季休業開始(1月7日まで)
25日(火)	履修届受付(土曜日は除く)(学部により受付日が異なる)	21日(木)	体育実技Ⅱ集中授業コース(学部2年次生)
5月23日(火)		21日(木)	
24日(水)	履修確認表配布及び履修届訂正期間	25日(月)	
25日(木)		平成8年	
6月12日(月)	卒業論文論題受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)	1月8日(月)	後期授業再開
7月14日(金)		13日(土)	後期授業最終日
20日(木)	中間試験及び前期終了科目定期試験(授業平常どおり)	16日(火)	定期試験(専門・基礎・教職科目)
20日(木)		}	
21日(金)	前期授業最終日	24日(水)	定期試験(一般・外国語・保健体育科目)
21日(金)		25日(木)	
21日(金)	夏季休業開始(9月15日まで)	31日(水)	定期試験欠試届(追試験申込)受付締切
25日(火)		2月5日(月)	
25日(火)	前期終了科目定期試験欠試届(追試験申込)受付締切	6日(火)	卒業論文口頭試問(仏教・文学部の4年次生)
9月4日(月)		16日(金)	
8日(金)	補講期間	17日(土)	成績発表(質疑応答)及び再試験申込受付(学部4年次生・短大生)
9月16日(土)		19日(月)	
18日(月)	後期授業開始	23日(金)	体育実技Ⅱシーズン・コース(スキー)(学部2年次生)
19日(火)		22日(木)	
18日(月)	前期終了科目定期試験成績発表(質疑応答)及び再試験申込受付	28日(水)	追・再試験(学部4年次生・短大生)及び追試験(学部1~3年次生)
19日(火)		3月19日(火)	
		25日(月)	卒業生名簿発表 卒業式

後 期

9月16日(土)	後期授業開始	25日(月)	卒業生名簿発表 卒業式
18日(月)	前期終了科目定期試験成績発表(質疑応答)及び再試験申込受付	28日(水)	追・再試験(学部4年次生・短大生)及び追試験(学部1~3年次生)
19日(火)		3月19日(火)	

授 業 時 間

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

履 修 要 項

(講 義 内 容)

国 文 科

英 文 科

放 射 線 科

I	単 位 制 と 学 年 制
II	卒 業 に 必 要 な 単 位 数
III	授 業 科 目 の 履 修 方 法
IV	履 修 科 目 の 登 録 (履 修 届)
V	試 験 及 び 成 績 評 価
VI	進 級 に つ い て
VII	ク ラ ス 制 及 び ク ラ ス 主 任
VIII	教 職 課 程 ・ 資 格 講 座
IX	診 療 放 射 線 技 師 国 家 試 験 受 験 資 格 の 取 得 に つ い て
X	事 務 取 扱 い に つ い て
XI	学 籍 に つ い て
XII	既 修 得 単 位 の 認 定 に つ い て
XIII	届 書 ・ 願 書 に つ い て
XIV	各 種 証 明 書 取 扱 い 窓 口
	試 験 実 施 規 程 (抜 粋)
	講 義 内 容

目 次

I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制 (3)
2. 授業科目の単位数 (3)
3. 授業科目の区分 (3)

II 卒業に必要な単位数

1. 卒業に必要な単位数 (7)
2. 卒 業 (8)

III 授業科目の履修方法

1. 一般教育科目の履修方法 (11)
2. 外国語科目の履修方法 (13)
3. 保健体育科目の履修方法 (15)
4. 専門教育科目の履修方法 (15)
5. 授業科目一覧表 (16)
6. 他学部科目の履修方法 (22)
7. 随意科目の履修方法 (24)
8. 再履修科目の履修方法 (24)
- ※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法 (24)

IV 履修科目の登録（履修届）

1. 履修科目の登録 (27)
2. 履修届記入上の注意 (29)
3. 授業時間 (29)

V 試験及び成績評価

1. 定期試験 (33)
2. 中間試験 (33)
3. 追・再試験 (33)
4. 受験心得 (33)
5. 成績評価・単位認定 (34)
6. 試験時間 (34)
7. 成績発表 (35)

VI	進級について	(39)
VII	クラス制及びクラス主任	(39)
VIII	教職課程・資格講座	(43)
IX	診療放射線技師国家試験受験資格の取得について	(47)
X	事務取扱いについて	
	1. 事務室の事務受付時間	(51)
	2. 休 講	(51)
	3. 掲示・連絡	(51)
	4. 問い合わせ	(51)
XI	学籍について	
	1. 修業年限と在学年数	(55)
	2. 休 学	(55)
	3. 復 学	(55)
	4. 退 学	(56)
	5. 除 籍	(56)
	6. 懲 戒	(56)
	7. 編 入 学	(56)
	8. 再 入 学	(56)
	9. 留 学	(57)
	10. 学生氏名・保証人	(57)
	11. 学生番号	(57)
XII	既修得単位の認定について	(61)
XIII	届書・願書について	(65)
XIV	各種証明書取扱い窓口	(69)
	試験実施規程（抜粋）	(73)
	講 義 内 容	(75)

I 単位制と学年制

I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制

短期大学では単位制が採用されている。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することにより、各授業科目ごとに定められている単位を修得する制度である。また、学年制とは、単位制に基づく学修過程を国文科・英文科は第1学年から第2学年、放射線科は第1学年から第3学年の段階を追って計画的に修学し、一定の単位を修得すれば上級学年に進級していく制度である。

本学では、授業科目の履修と単位の修得を体系的、かつ合理的に進められるように単位制と学年制を併用した教育システムを採用している。

※進級についての基準はP.39を参照のこと。

2. 授業科目の単位数

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して短期大学設置基準を基に学則において定めている。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

- | | | |
|-----------|--------------------------|-------------|
| 1. 一般教育科目 | (人文分野・社会分野・自然分野) …………… | 選択必修科目 |
| 2. 外国語科目 | …………… | 必修科目・選択必修科目 |
| 3. 保健体育科目 | (講義・実技) …………… | 必修科目 |
| 4. 専門教育科目 | (専門的知識を内容とする科目) …………… | 必修科目・選択科目 |
| 5. 他学部科目 | (履修可能な他学部公開設置科目) …………… | 選択科目 |
| 7. 随意科目 | (卒業に必要な単位に含まれない科目) …………… | 選択科目 |

※ 必修科目 …… 必ず履修しなければならない科目

選択必修科目 …… 数科目の中から所定の科目数又は単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

選択科目 …… 自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数

Ⅱ 卒業に必要な単位数

1. 卒業に必要な単位数

国 文 科

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	6	12	} 67以上
	社 会 分 野	1～2	4		
	自 然 分 野	1	2		
外 国 語 科 目		2	4	4	
保健体育科目	講 義	1	2	3	
	実 技	1	1		
専門教育科目	必 修	10	30	48	
	選 択	—	18		

英 文 科

A. 平成5年度以降入学生適用

【一 類】

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	6	12	} 67以上
	社 会 分 野	1～2	4		
	自 然 分 野	1	2		
外 国 語 科 目		3	6	6	
保健体育科目	講 義	1	2	3	
	実 技	1	1		
専門教育科目	必 修	10	30	46	
	選 択	—	16		

【二 類】

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	3	6	12	} 67以上
	社 会 分 野	1～2	4		
	自 然 分 野	1	2		
外 国 語 科 目		3	6	6	
保健体育科目	講 義	1	2	3	
	実 技	1	1		
専門教育科目	必 修	11	30	46	
	選 択	—	16		

B. 平成4年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	6	12	} 67以上
	社会分野	1~2	4		
	自然分野	1	2		
外国語科目		3	6	6	
保健体育科目	講義	1	2	3	
	実技	1	1		
専門教育科目	必修	11	32	46	
	選択	—	14		

放射線科

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	2	4	10	} 105以上
	社会分野	1	2		
	自然分野	1~2	4		
外国語科目		2	4	4	
保健体育科目	講義	1	2	3	
	実技	1	1		
専門教育科目	必修	39	82	88	
	選択	—	6		

2. 卒業

国文科・英文科は2年以上、放射線科は3年以上在学して卒業に必要な単位を修得した者には、卒業を認定し、卒業証書を授与する。

Ⅲ 授業科目の履修方法

Ⅲ 授業科目の履修方法

各科の学生は、それぞれの教育課程から次のように授業科目を履修し、単位を取得しなければならない。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、「授業科目一覧表」(P.16～P.21)を参照のこと。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が示されている科目は、各自の学生番号に該当するクラスで履修すること。ただし、再履修又は指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない。
- ハ. 各学年に配当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低及び最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修することはできない。

1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は特定の科目以外は1年次において所定の単位数・科目数を履修しなければならない。
- ロ. 国文科・英文科は人文分野「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次の必修科目とする。
なお、放射線科は「宗教学Ⅰ」・「宗教学Ⅱ」とも1年次の必修科目とする。
- ハ. 放射線科の「宗教学Ⅰ」・「宗教学Ⅱ」の授業は金曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照)で行う。
- ニ. 各科、一般教育科目の所要単位数・授業科目は次のとおりである。

一般教育科目の卒業所要単位数

科	人文分野	社会分野	自然分野	計
国 文	6 (3)	4 (1～2)	2 (1)	12 (5～6)
英 文	6 (3)	4 (1～2)	2 (1)	12 (5～6)
放 射 線	4 (2)	2 (1)	4 (1～2)	10 (4～5)

(注意) () 内の数字は科目数

一般教育科目の授業科目及び履修学年

科目名・単位数	人文分野						社会分野					自然分野								
	宗	宗	哲	倫	文	歴	法	社	文	法	心	一	一	一	一	生	地	心	情	生
	教	教		理		史	学	会	化	学	理	般	般	般	般	物	物	理	報	活
	学	学	学	学	学	学	法	学	人	学	学	数	物	化	生	物	学	学	科	科
科	I	II																		
	2	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2
国 文	1 必	2 必	1 年	/	/	/	/	/	/	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年						
英 文	1 必	2 必	1 年	/	/	/	/	/	/	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年						
放 射 線	1 必	1 必	/	1 年	/	/	/	1 年	/	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	/	/	/	/	/

(注意) イ. 「法学憲法（日本国憲法2単位を含む）」と「一般数学」は通年で、その他は半期の授業科目である。

ロ. 上記表の『1必』『2必』又は『1年』と年次の指定されている授業科目が本人の所属する科の開講科目である。

- (1) 1必 …… 1年次生の必修科目
- (2) 2必 …… 2年次生の必修科目
- (3) 1年 …… 1年次生の履修科目（2年次生の履修可）

2. 外国語科目の履修方法

A. 国 文 科

- イ. 英語・ドイツ語・フランス語・中国語及びスペイン語のうち入学手続の際に指定した1か国語（1年次2単位・2年次2単位）4単位を選択必修とする。
- ロ. 必修とした科目以外の外国語の履修を希望するものは1か国語（1年次2単位・2年次2単位）4単位まで選択履修することができるが、この場合の単位は卒業に必要な単位に含めることができない。ただし、必修を英語以外の外国語にしたときは選択を英語とする。
- ハ. 1年次の9月25日（月）～29日（金）までの期間内に、2年次で履修する外国語の登録を必ず行うこと。
- なお、登録後の変更はできないので、十分考慮の上行うこと。

授業科目	単位	備 考
英 語 I	2	同一語を1年次I，2年次II とし合計2科目4単位を選択 必修
英 語 II	2	
ド イ ツ 語 I	2	
ド イ ツ 語 II	2	
フ ラ ン ス 語 I	2	
フ ラ ン ス 語 II	2	
中 国 語 I	2	
中 国 語 II	2	
ス ペ イ ン 語 I	2	
ス ペ イ ン 語 II	2	

B. 英 文 科

1年次の履修

4か国語のうち「英語I」と入学手続の際に指定した外国語Iの計2科目4単位を必修とする。

授業科目	単位	備 考
英 語 I	2	必 修
ド イ ツ 語 I	2	入学手続の際指定した外国語 (1か国語)を必修
フ ラ ン ス 語 I	2	
ス ペ イ ン 語 I	2	

2年次の履修

- イ. 1年次で履修の2か国語のうち、いずれか1か国語1科目2単位を必修とする。
- ロ. 必修とした科目以外の外国語の履修を希望するものは1か国語2単位まで選択履修することができるが、この場合の単位は卒業に必要な単位に含めることができない。ただし、必修を英語以外の外国語にしたときは選択を英語とする。

授業科目	単位	備 考
英 語 II	2	} 1年次で履修の外国語のうち 1か国語（1科目）を必修
ド イ ツ 語 II	2	
フ ラ ン ス 語 II	2	
ス ペ イ ン 語 II	2	

(注意) 1年次の9月25日(月)～29日(金)までの期間内に、現在履修の外国語(英語と他の1か国語)の中から2年次に履修する外国語(第1外国語)を指定し、登録すること。なお、登録後の変更はできないので、十分考慮の上行うこと。

また、登録をしない場合、外国語の履修ができなくなることもあるので、必ず行うこと。

C. 放射線科

1年次に英語2単位、ドイツ語2単位の計2科目4単位を必修とする。

授業科目	単位	備 考
英 語	2	} 1年次2科目4単位を必修
ド イ ツ 語	2	

※「英語」・「ドイツ語」の授業は金曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照)で行う。

3. 保健体育科目の履修方法

A. 国文科・英文科（1年次必修）

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は「保健体育理論」を1科目2単位、実技は「体育実技」を1科目1単位、計2科目3単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前 期 又 は 後 期
実 技	体 育 実 技	1	通 年

※ 実技についての種目等の説明は、最初の授業に『体育実技受講要領』を配布して行うので、必ず出席すること。なお、当日の服装は普段着でよい。

B. 放射線科（1年次必修）

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は「保健理論」を1科目2単位、実技は「体育実技」を1科目1単位、計2科目3単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保 健 理 論	2	前 期 又 は 後 期
実 技	体 育 実 技	1	通 年

※「体育実技」の授業は金曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

※ 実技についての種目等の説明は、最初の授業に『体育実技受講要領』を配布して行うので、必ず出席すること。なお、当日の服装は普段着でよい。

4. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は、必修科目と選択科目とに分かれ、次表による単位数・科目数を履修すること。

また、各年次で履修できる授業科目は「授業科目一覧表」のとおりになっているので、履修する授業科目の選択については、専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。

専門教育科目の卒業所要単位数

	国 文 科	英 文 科			放 射 線 科
		平成5年度以降入学生適用		平成4年度以前 入学生適用	
		一 類	二 類		
必 修 科 目	30 (10)	30 (10)	30 (11)	32 (11)	82 (39)
選 択 科 目	18	16	16	14	6
計	48	46	46	46	88

※（ ）内の数字は科目数

◇履修上の注意事項

イ. 「国文演習Ⅰ」・「国文演習Ⅱ」・「国文学史Ⅰ」・「有職故実」は、各科目とも先着順・定員になり次第締め切る。

なお、教務部に『履修届』を提出する前に、受講希望の科目担当の先生に本人が直接届け出て、『履修届』に捺印を受けること。

[担当の先生に届け出る日・時・場所については、教務部の掲示板に掲示するので注意すること。]

ロ. 「情報概論」の受講については、教務部に『履修届』を提出する前に、受講希望の科目担当の先生に本人が直接届け出て、『履修届』に捺印を受けること。

なお、受講希望者は最初の授業で受講者（30名）を決定するので、『履修届』用紙を持参し必ず出席すること。

6. 他学部科目の履修方法

所属している科以外の科又は大学の授業科目の履修を希望する学生は、次の要領で履修することができる。

なお、履修に際しては授業科目担当教員の受講許可を必要とする。

イ. 履修科目

他の科又は大学に開設されている授業科目のうち、他学部履修科目として公開された授業科目の中から所属する科が履修を認めた授業科目とする。(他学部履修科目一覧表P.23参照)

ロ. 履修年次

1年次生からとし、授業科目開設する科の定める年次とする。

ハ. 履修科目数

履修できる科目数は、卒業までに2科目8単位以内とする。

なお、その履修科目は所属する科の履修制限科目数に含める。

ニ. 履修方法

- (1) 「履修要項」の講義内容を参考に、『他学部履修科目授業時間表』の中から履修科目を選択し、『他学部履修願』用紙に必要事項を記入の上、最初の授業に出席し担当教員の受講許可を受ける。
なお、『他学部履修科目授業時間表』及び『他学部履修願』用紙は、教務部⑩番窓口で配布する。
- (2) 『履修届』に記入し、『履修許可書』を添えて、所定の期日(履修届提出時)に提出すること。

ホ. 履修登録上の注意

- (1) 所属する科の開設科目は、他学部科目として履修登録できない。
- (2) 他学部科目は、『他学部履修科目授業時間表』に記載の専用コード(005…)で登録すること。
- (3) 同一名称(開設学科が異なる)の授業科目は、1科目のみ履修することができる。

ヘ. 再履修

他学部科目が不合格となり再度履修を希望する場合は、改めて前項の手続きを経なければならない。

なお、再履修の取扱いについては『再履修科目の履修方法』(P.24)を参照のこと。

ト. 単位認定

修得した単位は、所属する科の専門教育科目の選択科目の単位として認定し、卒業所要単位に算入することができる。

※ 平成7年度、放射線科の学生は、他学部科目を履修することができない。

他学部履修科目一覧表

開設 学科	授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考	開設 学科	授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考	
禅学 科	禅学特講Ⅰ	4	2・3		経済 学 科	ロシア・東欧経済論	4	3	※イ 国文・英文科除く	
	禅学特講Ⅱ	4	2・3			社会政策	4	1・2・3	英文科除く	
	禅学特講Ⅲ	4	2・3			国民所得論	4	3	国文・英文科除く	
	禅学特講Ⅳ	4	2・3			中国経済論	4	3	国文・英文科除く	
	禅学思想史	4	2・3			アジア経済論	4	3	国文・英文科除く	
	哲学史	4	2・3			日本経済史	4	1・2・3	英文科除く	
仏教 学 科	インド仏教史	4	2・3			中小企業論	4	3	国文・英文科除く	
	中国仏教史	4	2・3			教育経済論	4	3	国文・英文科除く	
	日本仏教史	4	2・3			アメリカ経済論	4	3	国文・英文科除く	
	日用経典	4	2・3			商 学 科	財務会計論	4	2・3	
	仏教美術	4	2・3				管理会計論	4	3	国文・英文科除く
	現代哲学概説	4	2・3				会計監査論	4	3	国文・英文科除く
国文 学 科	上代文学	4	2・3		商業政策		4	3	国文・英文科除く	
	中世文学	4	2・3		貿易論		4	3	国文・英文科除く	
	近世文学	4	2・3		マーケティング		4	1・2・3	英文科除く	
	近代文学	4	2・3		原価計算論		4	3	国文・英文科除く 休講	
	中国文学	4	2・3		労務管理論		4	3	国文・英文科除く	
英米 文 学 科	英文学特講Ⅰ	4	2・3		経営管理論		4	1・2・3	英文科・ 放射線科除く	
	英文学特講Ⅱ	4	2・3		法 律 学 科		行政法Ⅱ	4	3	国文・英文科除く
	英文学特講Ⅲ	4	2・3				民法Ⅳ(1)	4	1・2・3	
	英文学特講Ⅳ	4	2・3				民法Ⅳ(2)	4	1・2	英文科・ 放射線科除く
	英文学特講Ⅴ	4	2・3			政 治 学 科	比較憲法	4	1・2・3	英文科除く
	英文学特講Ⅵ	4	2・3				地方自治法	4	1・2・3	英文科除く
	英米演劇特講	4	2・3				経済法	4	3	国文・英文科除く
	米文学特講Ⅰ	4	2・3				国際関係論	4	1・2・3	英文科除く
	米文学特講Ⅲ	4	2・3				西洋政治史	4	3	国文・英文科除く
	時事英語	4	2・3	英文科除く			宣伝広告論	4	1・2・3	英文科除く
地理 学 科	地質学	4	3	国文・英文科除く			比較社会構造論	4	2・3	休講
	地形学Ⅰ	4	2・3				政党論	4	3	国文・英文科除く
	人口地理学	4	3	国文・英文科除く			経 営 学 科	国際経営論	4	3
	応用地理学Ⅰ	4	3	国文・英文科除く	経営統計			4	3	国文・英文科除く 休講
	文化地理学	4	3	国文・英文科除く	保険経営論			4	3	国文・英文科除く
歴 史 学 科	日本仏教史Ⅱ	4	2・3	休講	財務会計論			4	3	国文・英文科除く
	日本史特講Ⅶ(近代)	4	2・3		経営分析論	4		3	国文・英文科除く 休講	
	東洋史特講Ⅹ(近・現代)	4	2・3		税務会計論	4		3	国文・英文科除く	
	西洋文化史Ⅰ	4	2・3		経営労務論	4		3	国文・英文科除く 休講	
	考古学特講Ⅲ	4	2・3	隔年開講 休講	商業史	4		1・2・3	英文科除く	
	歴史哲学	4	2・3		経営情報論	4		1・2	英文科・ 放射線科除く	
	哲学史	4	2・3		情報理論	4		1・2	英文科・ 放射線科除く	
社会 学 科	日本民俗学	4	2・3		短 大 国 文 科	国文講読Ⅰ(上代)		2	1・2・3	国文科除く
	マスコミュニケーション	4	2・3			国文講読Ⅱ(中古)		2	1・2・3	国文科除く
	産業社会学	4	2・3			国文講読Ⅲ(中世)	2	1・2・3	国文科除く	
	都市社会学	4	2・3			国文講読Ⅳ(近世)	2	1・2・3	国文科除く	
	社会福祉発達史	4	2・3			国文講読Ⅴ(近・現代)	2	1・2・3	国文科除く	
						国文特講Ⅴ(近・現代)	4	1・2・3	国文科除く	
						短 英 文 大 科	英文タイプライティングⅡ	2	2・3	英文科除く ※ロ
							時事英語	4	1・2・3	英文科除く
							英語演習Ⅰ	4	1・2・3	英文科除く
							短 射 線 科	計算機言語概論	2	1・2
						臨床放射線特講Ⅰ		2	2	放射線科除く 半期科目

※イ、「ロシア・東欧経済論」については、「ソビエト経済論」(旧名称)の単位を既に修得している学生は履修できない。
 ※ロ、「英文タイプライティングⅡ」、「計算機言語概論」については、機器数の関係上選抜により受講者を決定する。

7. 随意科目の履修方法

2年次及び3年次（放射線科）で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることはできない。

授業科目	単位	備考
英会話Ⅱ	2	※ロ
英語LLⅡ	2	※ロ
英語（海外演習）	2	※イ

※イ。「英語（海外演習）」は、海外姉妹校で行なわれる短期留学セミナーで、1年次生より履修できる。

なお、詳細については、講義内容（P.85）を参照のこと。

※ロ。「英会話Ⅱ」・「英語LLⅡ」の履修を希望する者は、最初の授業に『履修届』用紙を持参し、担当教員の捺印を受けること。

8. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を再度履修することをいう。この場合、授業科目名が同じであれば担当教員に変更があっても同一科目の再履修となる。

ロ. 必修となっている科目については同じ授業科目を再履修するか、または再試験により単位を補わなければならない。

ハ. 放射線科の学生（2年次生以上）が外国語科目・宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱを再度履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。なお、体育実技を再履修する場合は、教務部⑨番窓口で相談すること。

○1年次生は「再履修クラス」を履修することはできない。

※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法

『外国人留学生』及び『海外帰国子女』の一部を対象とする科目で、原則として1年次において履修すること。

○国文科の学生は、日本語科目を2科目4単位履修すること。

修得単位は、外国語科目の卒業所要単位に算入する。

また、日本事情科目を履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

○英文科の学生は、日本語及び日本事情科目を各1科目2単位ずつ履修すること。

修得単位は、外国語科目・一般教育科目の各卒業所要単位に算入する。

○放射線科の学生が履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

○各所属学科の定める一般教育科目及び外国語科目の代替できる単位の範囲を超えて履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

（注）詳細は、『日本語・日本事情科目の履修要項』を参照すること。



IV 履修科目の登録（履修届）

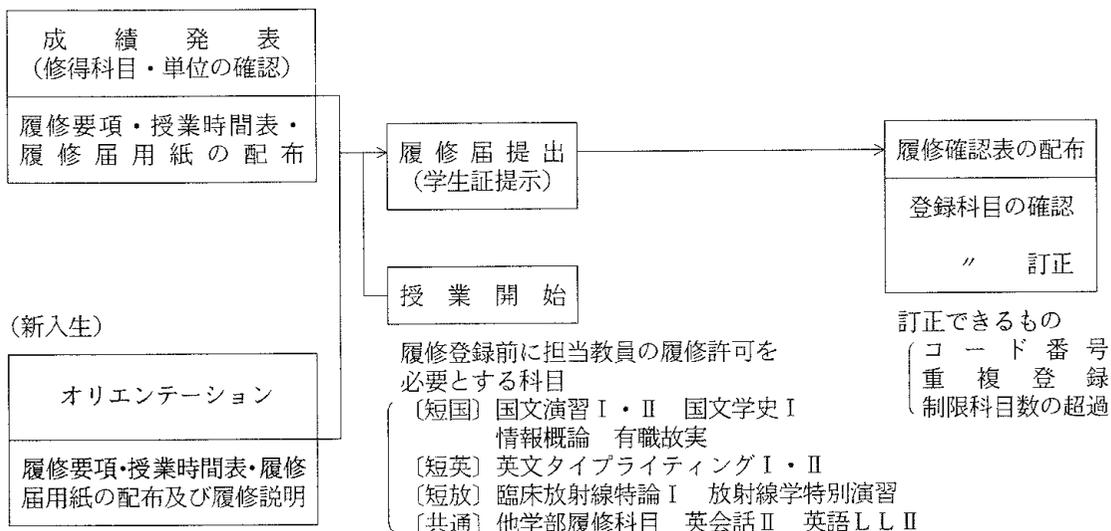
IV 履修科目の登録（履修届）

1. 履修科目の登録

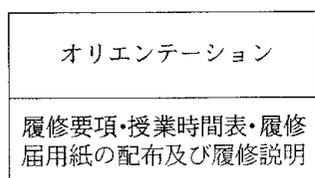
所属する科、学年に開講されている授業科目のうち履修を希望する科目を授業時間表から選び、『履修届』用紙で届け出ることにより、通年（又は半期）の授業を受けることができる。

履修科目登録の流れ

（在校生）



（新入生）



I) 制限科目数

各年次において履修できる授業科目数は次のとおりである。

科		年次		
		1年次	2年次	3年次
国文	新履修科目数	17科目以内	15科目以内	
	課程・講座登録者科目数	21科目以内	21科目以内	
英文	新履修科目数	17科目以内	15科目以内	
	課程・講座登録者科目数	21科目以内	21科目以内	
放射線	新履修科目数	24科目以内	18科目以内	18科目以内

イ. 再履修科目及び随意科目は、上記表の制限外とする。

（注）再度履修する科目であっても、前年度において履修登録していない場合は、再履修科目にならない。

ロ. 国文科・英文科で課程・講座科目を履修する場合。

例) 1年次の場合

認める …… 履修制限科目数 17科目以内+課程・講座科目数=21科目

認めず …… 履修制限科目数 18科目以上+課程・講座科目数=21科目

ハ. 放射線科で「診療放射線技師国家試験」受験資格取得希望者は、卒業所要単位数(105単位)を取得すれば受験資格が得られる。

ニ. 放射線科2年次・3年次の病院実習の科目は制限外とする。

ホ. 実験ⅠA～ⅠDは実験Ⅰとして制限科目数上は1科目とする。ただし、履修届には実験ⅠA～ⅠDそれぞれ1科目として記入し合計科目数に含む。実験Ⅱ・Ⅲについても同様とする。

ヘ. 半期科目も1科目とする。

Ⅱ) 登録上の注意

イ. 履修届は本人が記入捺印し、指定された日時に学生証提示の上提出すること。(提出しない場合は、学業の意志のないものとして処理する。なお、指定日時に提出できない者は事前に教務部⑨番窓口で相談すること。)

ロ. 履修届は、4月25日(火)9時30分から16時まで教務部臨時窓口で受付ける。

ハ. 所属する科以外の授業科目は登録できない。ただし、他学部履修科目(P.22参照)は、履修登録できる。

また、国文・英文科で教職課程・資格講座資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが、その場合は『課程・各種講座授業時間表』(教職係窓口で配布)から履修し、教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講、受験しても単位は与えない。

ホ. いったん提出(登録)した履修科目の変更は認めない。

ヘ. 『履修届』用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

Ⅲ) 履修確認表の配布及び履修届の訂正期間

下記の日・時に教務部臨時窓口において履修確認表を配布する。

(記) 5月23日(火)・24日(水) 9:30~16:00 昼休み除く

なお、履修届(本人控)と照合の上、誤りのある場合は、この期間に教務部⑨番窓口で訂正すること。

2. 履修届記入上の注意

授業時間表（例）

曜日	時限	科目名	科目コード	担当者コード	担当者名
月	1	ドイツ語 I	812201	310	栗原万修
月	2	保健体育理論（前期）	814203	A10	長濱友雄
		保健体育理論（後期）	814203	622	
月	3	宗教学 I（後期）	810101	149	大谷哲夫
月	4	国語表現法	815508	151	大室英爾
		古典文学概説	815511	236	川上順子
月	5	体育実技	814101	860	松村 誠

正しい記入例

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担当	担当コード
(1)	1		ドイツ語 I	812201	栗原	310
	2		保健体育理論（前期）	814203	長濱	A10
	3		宗教学 I（後期）	810101	大谷	149
	4	○	国語表現法	815508	大室	151
	5		体育実技	814101	村松	860

イ. 楷書体で正確に記入すること。

ロ. 記入の際は、黒のボールペンを使用し、捺印の上提出すること。

ハ. 授業時間表のとおり記入すること。ただし、「担当」欄には、担当教員の姓のみを記入すること。

ニ. 半期終了の科目は「再履」から「担当コード」欄までの中央に点線（上記、正しい記入例参照のこと）を入れ、前期終了科目は上段に後期終了科目は下段に記入すること。

ホ. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。

ヘ. 履修届は電算機で処理しているため、下記の場合には、登録が無効となるので注意すること。

- (1) 科目名・科目コード、担当名（姓のみ）・担当コードが一致しない場合
- (2) 時限を誤って記入した場合
- (3) 判読できない数字で記入した場合（例として間違い易い数字 0と6, 1と7）
- (4) その他、不明瞭に記入した場合

ト. 体育実技の記入方法は、授業時間表に載っている科目コード・担当名（姓のみ）・担当コードを正しく記入すること。

チ. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。

3. 授業時間

授業時間は、次のとおりである。

時限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

V 試験及び成績評価

V 試験及び成績評価

1. 定期試験

イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月14日（金）～7月20日（木）に、後期及び通年の授業科目の定期試験は1月16日（火）～1月31日（水）に実施する。

ロ. 正規の手続きを経て履修登録した授業科目のみ受験できる。

ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、論題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担当教員名・論題・科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとじた上で提出すること。

なお、指定された日・時以外は一切受理しない。

ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の曜日・時限とし、時間及び教場等については掲示で発表する。

（注意）試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験（同一科目を一括して行う試験）は平常時間割と曜日・時限とも変わるので掲示に十分注意すること。

2. 中間試験

授業科目担当教員が中間考査として任意に行う試験（レポート提出を含む）のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

3. 追・再試験

I) 追 試 験

イ. 追試験は、やむを得ない理由があり定期試験（期間外実施・レポート提出を含む）を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその理由を記入し、自分の全ての試験終了後直ちに届け出ること。〔締切日は前期7月25日（火）、後期2月5日（月）〕

ロ. 追試験料は徴収しない。

II) 再 試 験

イ. 定期試験（期間外実施・レポート提出を含む）を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。

ロ. 受験料は1科目1,000円とする。

（注意）(1) 体育実技、外国語随意科目の追・再試験は行わない。

(2) 前期終了科目の追・再試験は9月26日（火）～10月2日（月）に、後期及び通年科目の追・再試験は卒業年次生・在校生とも2月22日（木）～2月28日（水）に実施する。

4. 受験心得

イ. 当該受験科目を履修登録していること。

ロ. 指定された日・時・試験場（教場）で受験すること。

ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。

ニ. 学生証は試験中、机上に提示しておくこと。

ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。

ヘ. 試験開始後30分を経過し、受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。

ト. 科・学年・学生番号・氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。

チ. 無記名の答案は無効となるので注意すること。

- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し、試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては、すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり、試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意すること。
 - (1) 代人として受験したり、または代人受験を依頼すること。
 - (2) 使用が許可されていないノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を使用すること。
 - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机・壁等への書き込みを利用すること。
 - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり、書き写しさせること。
 - (5) 私語及び動作・メモその他の方法で連絡をしたり、連絡を受けること。
 - (6) 試験中にノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を貸借すること。
 - (7) 答案用紙をすり替えたり、すり替えさせること。
 - (8) その他上記に類似する行為をすること。
- ワ. 学生証を忘れた場合は仮受験票により受験することができる。仮受験票の発行については、教務部⑨番窓口にて手続きをすること。

5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)及び不可(59点～0点)とし、優、良、可を合格、不可は不合格として発表する。
 なお、素点に関する問い合わせは一切受け付けない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験の成績評価は良(70点)以下とする。

6. 試験時間

定期試験実施時間(前期)			
1時限	9:20～10:20	4時限	14:40～15:40
2時限	10:50～11:50	5時限	16:10～17:10
3時限	13:10～14:10		

定期試験実施時間(後期)			
1時限	9:30～10:30	4時限	14:30～15:30
2時限	11:00～12:00	5時限	15:50～16:50
3時限	13:00～14:00		

追・再試験実施時間(前期)	
1時限	16:10～17:00
2時限	17:10～18:00

追・再試験実施時間(後期)	
1時限	9:30～10:20
2時限	10:50～11:40
3時限	13:00～13:50
4時限	14:10～15:00
5時限	15:20～16:10

※レポート試験は、開始後30分で受付を終了するので、遅れないよう注意すること。

試験実施規程(抜粋)が掲載されている(P.73)ので参照のこと。

7. 成績発表

- イ. 前期終了科目・後期及び通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については、成績質疑応答期間内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし、評価の質疑については直接担当教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を提示すること。

前期成績発表 9月18日（月），19日（火）

後期成績発表 2月16日（金），17日（土）

” （在校生） 4月9日頃

- VI 進 級 に つ い て
- VII クラス制及びクラス主任

VI 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得単位数が基準単位数に達しない場合は原級とし、同一学年に留め置くものとする。

修得単位基準

A. 国文科・英文科

- イ. 1年次から2年次に進級する場合は、修得単位数が25単位以上とする。
- ロ. 修得単位数が24単位以下は原級留置とする。

B. 放射線科

- イ. 1年次から2年次に進級する場合は、1年次必修科目42単位のうち修得単位数が33単位以上とする。ただし、1年次の専門必修科目25単位のうち18単位以上を含むものとする。
- ロ. 2年次から3年次に進級する場合は、病院実習を除いた1・2年次必修科目74単位のうち修得単位数が62単位以上とする。ただし、1年次の専門必修科目25単位を含むものとする。
- ハ. 修得単位数が上記の基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

- ※ 各科目区分・分野における卒業所要単位を超える単位を除いた修得単位数を計算する。
- ※ 随意科目・課程・講座の修得科目を除く。

VII クラス制及びクラス主任

- イ. 各年次、科毎にクラス制をとっている。
- ロ. クラスにはクラス主任（教員）が1名ずつおり、学生の学習指導、生活相談等に当たっているから遠慮なく相談されたい。

VIII 教職課程・資格講座



VIII 教職課程・資格講座

短大（国文科・英文科）で開講されている資格取得のための課程・講座は、次のとおりである。

課程・講座名	開講年次	備考
教職課程	1年次より	教員資格取得のためのもので教職課程の所定単位を修得した者は、中学校2種の普通免許が取得できる。
学校図書館司書教諭講座	〃	学校教育を充実することを目的とする学校図書館の専門職としての資格。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の4月中旬に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」及び「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。

（授業科目の講義内容は履修要項の講義内容を参照すること。）

また、教育実習前年ガイダンスは1年次の4月下旬に行う。

IX 診療放射線技師国家試験 受験資格の取得について

Ⅸ 診療放射線技師国家試験 受験資格の取得について

1. 診療放射線技師の免許

免許取得は毎年厚生大臣の行う試験に合格しなければならない。(官報告示)

2. 受験資格

短大放射線科において卒業に必要な単位を修得すること。

X 事務取扱いについて

X 事務取扱いについて

1. 事務室の事務受付時間

- イ. 事務受付時間は、9時から16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表等各申込の受付は、9時30分から16時までとする。

2. 休 講

- イ. 休講は担当教員より連絡があり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。従って、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑩番窓口申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、JR東京近郊区間（山手・中央・京浜東北）又は東急がストライキを行っている場合の授業は全面休講とする。

3. 掲示・連絡

学生に対する公示・告示及び学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示又は郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

4. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要があるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。

XI 学籍について

XI 学籍について

1. 修業年限と在学年数

- イ. 修業年限とは、短期大学の教育課程修了に必要な期間のことをいう。（本学の修業年限は国文科・英文科2年、放射線科3年）
- ロ. 在学年数とは、短期大学において学生の身分を有することができる期間のことで、本学の在学年数は休学期間を除き4年（放射線科5年）と定めている。

2. 休 学

傷病その他の事由で引き続き2か月以上修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければならない。

I) 休学の手続き

- イ. 休学願に添えて次の書類を提出すること。
 - (1) 傷病の場合は、医師の診断書
 - (2) 外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類及び在留地届
 - (3) その他の理由の場合は、事前に窓口で相談の上、保証人連署の休学を必要とする理由書
- ロ. 休学の手続き期限は当該年度の11月30日までとする。
- ハ. 休学理由が休学許可日より2か月未満の期間内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがある。

II) 休学の期間

- イ. 休学の期間は1学年を区分とし、休学の許可を受けた日から当該年度の3月31日までとする。
- ロ. 引き続き休学を要する特別な事情があるときは、許可を得てさらに1年に限り休学することができる。
- ハ. 休学期間は通算2年を超えることはできない。
- ニ. 休学が許可された年度は在学年数に算入しない。

III) 休学する場合の学費

休学を願い出る者は当該期の学費を納入していること。

休学願提出日	学 費
4月1日～9月20日	第1期（前期）分納入済のこと。（第2期分免除）
9月21日～11月30日	第1期（前期）分・第2期（後期）分共納入のこと。

IV) 休学原級

休学を許可された者は、翌年度は現学年に原級留置とする。

3. 復 学

- イ. 休学した者が復学する場合は、第1期（前期）学費を納入の上、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得ること。
- ロ. 傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の証明書を添えること。

4. 退 学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得ること。

イ. 退学願は、退学理由を付し保証人連署で願出すること。

ロ. 退学願提出時に学生証を返却すること。

ハ. 退学年月日は次のとおりとする。

(1) 当該期学費納入者 …… 退学願提出日

(2) 当該期学費未納者 …… 学費納入済学期の最終日

5. 除 籍

次の事項に該当する者はこれを除籍する。

イ. 在学年数を越えた者

ロ. 休学期間を越えた者

ハ. 学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

6. 懲 戒

イ. 本学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、情状により譴責、停学、退学の処分をする。

ロ. 退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由がなくて出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

7. 編 入 学

本短期大学卒業者（卒業見込者を含む）で、各学部学科の3年次に編入学を希望する者があるときは、選考の上入学を許可することがある。

ただし、編入学の学年は、単位を修得した授業科目によっては、2年次となる場合がある。

8. 再 入 学

本学を退学した者又は除籍された者で、再入学を希望する者があるときは選考の上許可することがある。

イ. 入学後1年未満で退学した者又は除籍された者は対象としない。

ロ. 退学又は除籍後3年以内の者とする。（出願時を基準とする）

ハ. 再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し4年（放射線科5年）以内とする。

9. 留 学

本学の学生で、外国の大学又は短期大学の授業科目の履修を希望する者があるときは、教授会の議を経てこれを許可することがある。

- イ. 履修した授業科目の修得単位については、本学において修得したものとみなし、卒業所要単位に算入することができる。
- ロ. 留学期間は在学年数に算入する。

10. 学生氏名・保証人

- イ. 学生氏名は、住民票記載事項証明書又は外国人登録済証明書に基づき J I S 第 1 水準・第 2 水準文字で運用する。
- ロ. 外国人登録済証明書に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得ること。
- ハ. 通称名使用の許可を得た者は、本学在学中一貫して通称名を使用することとし、本学発行の証明書、成績表、各種名簿等はすべて通称名で表示する。
- ニ. 保証人は原則として、父、母とし、やむを得ない場合は独立の生計を営む親族又は縁故者とする。
- ホ. 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負うものとする。
- ヘ. 学生・保証人の氏名・住所等に変更があったときは、すみやかに所定の変更届を提出すること。

11. 学生番号

- イ. 学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておくこと。
- ロ. 学生番号は 6 桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせてある。

学生番号区分

:	:	:	└──────────┘		
短	科	入	一		
期	学	(連		
大	年	西	番		
学	度	曆	号		
)			

短期大学・科の番号

	短期大学	科
短 期 大 学	8	
国 文 科		1
英 文 科		2
放 射 線 科		3

(例) 1995年度入学・短大国文科15番の場合

8	1	5	0	1	5
:	:	:	└──────────┘		
短	国	一	15		
期	文	九	番		
大	科	九			
学		五			
		年			
		入			
		学			

XII 既修得単位の認定について



XII 既修得単位の認定について

イ. 新たに第1年次に入学した者

- (1) 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）を卒業又は中途退学し、新たに本学の第1年次に入学した者は、従前在学した大学等において修得した授業科目の単位のうち、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目については、合計15単位を超えない範囲で本学において修得した単位として認定を受けることができる。
- (2) 既修得単位の認定を受けようとする者は、申請書（所定様式）に成績（単位修得）証明書を添えて、教務部長に願い出なければならない。
- (3) 既修得単位の認定は、教務部長を経て当該教授会がこれを行う。

ロ. 編入学者

従前在学中に修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書により当該教授会が認定する。

ハ. 再入学者

従前在学中に修得した全授業科目の単位を認定する。

ニ. 留学者

本学から外国の協定校・認定校へ派遣された学生が、留学先で修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書・履修要項等により当該教授会が認定する。認定した単位は、卒業所要単位に算入される。

XIII 届書・願書について

XIII 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類	要 領 (必 要 書 類)	本人 印	保証 人印	取扱 窓口	
届 書	履 修 届	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・各年度に単位修得しようとする授業科目を指定期日に必ず届け出ること 	要	不要	掲示
	欠 試 届	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・本人履修全科目の試験終了後直ちに届け出ること(締切日は掲示参照) 	不要	不要	⑨
	改 氏 名 届	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・戸籍抄本添付 ・変更後1週間以内 	要	不要	⑤
	本籍地(都道府県名)変更届	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・住民票記載事項証明書添付 ・変更後1週間以内 	要	不要	
	保証人変更届	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・在学誓書(保証書)添付 	要	要	
	保証人住所変更届	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・変更後1週間以内 	不要	不要	
	死 亡 届	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・死亡を証明できる書類(写し可)添付 	/	要	
願 書	休 学 願	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・傷病による場合は、医師の診断書添付 ・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類及び在留地届 ・その他の場合は、保証人連署の理由書 	要	要	⑤
	復 学 願	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・傷病による休学をした場合は、医師の通学可能である証明書添付 ・4月10日までに提出すること 	要	要	
	退 学 願	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙あり ・学生証添付 	要	要	

※ 大学の定める諸届(願)の提出期限が、日曜・祭日の場合はその翌日までとする。

XIV 各種証明書取扱い窓口

XIV 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教 務 部 ④ 番	在学者にかかわる 証明書 1通200円 （英文 500円） 卒業者にかかわる 証明書 1通300円 （英文 600円）
成 績 証 明 書		
卒 業 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
教職・講座単位修得（見込）証明書		
そ の 他 の 諸 証 明 書	就 職 部	
人 物 考 査 書		
健 康 診 断 証 明 書	学 生 部 ③ 番	
在 学 証 明 書	学 生 部 ② 番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口で申し込むこと。発行は原則として2日後。

教務部取扱い証明書は、5月下旬から7月下旬まで及び3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

試驗實施規程（拔粹）



試験実施規程（抜粋）

（昭和59年7月13日制定）

（目的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

（試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

（試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
 - (2) 追加試験（以下「追試験」という。）病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
 - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
 - (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときは、これを実施しない。
- (1) 学部1・2・3年次生の再試験
 - (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
 - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

（試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

（試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

（受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき。
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき。
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき。
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき。

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)、不可(59点～0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

この規程は、昭和59年7月13日から施行する。

講 義 内 容

(講 義 内 容 目 次)

一般教育科目 (共通)	(79)
保健体育科目 (共通)	(83)
随 意 科 目 (共通)	(84)
国 文 科	(89)
英 文 科	(101)
放 射 線 科	(113)
他学部履修科目 (共通)	(123)

[卷 末]

教職及び資格講座
(国文科・英文科)

一般教育科目(共通)

人文分野	
宗教学Ⅰ(国)(高橋 秀栄)	79
宗教学Ⅰ(英)(袴谷 憲昭)	79
宗教学Ⅰ(放)(石井 公成)	79
宗教学Ⅱ(国)(高橋 秀栄)	79
宗教学Ⅱ(英)(袴谷 憲昭)	79
宗教学Ⅱ(放)(石井 公成)	79
哲学(国・英)(国嶋 一則)	80
伦理学(国・英・放)(国嶋 一則)	80
文学(国)(熊崎 久子)	80
文学(英)(小林 治)	80
歴史学(国・英)(茂沢 方尚)	80
社会分野	
法学憲法(国)(長谷川 日出世)	80
法学憲法(英)(光田 督良)	80
法学(放)(織田 晃子)	81
社会学(国・英・放)(橋爪 敏)	81
文化人類学(国・英)(佐藤 憲昭)	81
心理学(放)(篠原 英壽)	81
自然分野	
地学(国・英)(宇和川 正人)	81
生活科学(国・英)(田島 隆)	81
心理学(国・英)(篠原 英壽)	82
情報科学概論(国・英)(杉田 徹)	82
生物学(国・英)(西谷 里美)	82
一般生物学(放)(西谷 里美)	82
一般数学(放)(武中 英治)	82
一般物理学(放)(清水 忠良)	82
一般化学(放)(田島 隆)	82

保健体育科目(共通)

保健体育理論(国・英)(竹田 幸夫)	83
保健体育理論(国・英)(三幣 晴三)	83
保健理論(放)(吉田 稔)	83

随意科目(共通)

英会話Ⅱ(P. A. Bendinelli ・ W. Hubbard D. J. Nolan ・ J. K. Wells P. Ziegler ・ 西村 祐子)	84
英語L LⅡ(T. J. Cogan ・ 岩山 義春 大庭 直樹)	85
英語(海外演習)	85

一般教育科目(共通)

人文分野

教科書は特に使用しない。

〔参考書〕『世界の宗教と経典』（自由国民社）
¥2,200

宗教学Ⅰ(国)

たか　はし　しゅう　えい
高　橋　秀　栄

仏教の開祖であるブッダの生涯と思想に視点を置き、日本の文学作品にみられる宗教関係の記述にも関心を払いながら、「宗教とは何か」「仏教とは何か」をさぐっていききたい。

〔参考書〕開講時に指示する。

宗教学Ⅱ(国)

たか　はし　しゅう　えい
高　橋　秀　栄

この講座では、日中両国の禅宗史上の名僧の伝記や逸話、墨跡・宗教行事などをとりあげながら、禅を求めた人々の生きざまを発掘し、「禅とは何か」をさぐっていききたい。

〔参考書〕開講時に指示する。

宗教学Ⅰ(英)

はかま　や　のり　あき
袴　谷　憲　昭

シカゴ大学の神学部および南アジア言語文化学科で教鞭をとるポール＝グリッフィス教授の著書 *An Apology for Apologetics* 『弁証学弁明』中より “Apologetics in Action: Buddhists and Christians on Selves” を選び、その読解を進めながら、宗教とはなにかを考えてみたい。グリッフィス教授はキリスト教神学に通じている学者であることは勿論であるが、仏教に関してもアメリカやヨーロッパを通じて最もアカデミックな見識を備えた学者の一人でもある。同教授の論究を通して、異宗教間の対話とはなんであるかについて学ぶことができれば、本講義の目的の大半は達せられるであろう。テキストはコピーにて用意する予定である。

宗教学Ⅱ(英)

はかま　や　のり　あき
袴　谷　憲　昭

13世紀中葉に生まれ14世紀初頭にかけて活躍したエックハルトのドイツ語説教集の英訳, *Sermons and Treatises*, Vol. II より、「マタイ伝」第5章第3節に関する説教を選び、これを読解しながら「清貧」というものについて考えてみたい。エックハルトの主張する「清貧」と禅の考えとが類似しているとの指摘もしばしばなされるが、なぜそういう指摘がなされるかを分析してみることによって、時には日本文化の粋とも目されることもある禅の特質についても再考してみたいと思っている。テキストは当方で用意する予定である。

宗教学Ⅰ(放)

いし　い　こう　せい
石　井　公　成

古今東西の宗教のうち特色のあるものについて概観し、それぞれの宗教の成立事情やその後の展開の歴史を学ぶと同時に、宗教の意義・役割・社会への影響などについて考えていく。具体的には、ゾロアスター教・キリスト教・イスラム教・儒教・道教・神道のような伝統ある宗教について検討するだけでなく、19世紀にバプアニューギニアで生まれたカーゴカルト（積荷信仰）のような新興宗教も取り上げ、考察していきたい。

宗教学Ⅱ(放)

いし　い　こう　せい
石　井　公　成

仏教の成立を探り、その特色とインド・中央アジア・中国・朝鮮・日本などにおける多様な展開の過程をたどる。特に中国や日本における伝統思想との習合という面に注意し、現代に生きる我々のうちに伝統的な考え方がいかにしみこんでいるかを明らかにしていきたい。教科書は特に使用しない。

哲学(国・英)

くに しま かず のり
国 嶋 一 則

哲学は生きるための支え、拠り所を求めつつ、同時にそれが確かめられた学問的知識であることを求める。その意味で、哲学は諸学と経験の基礎づけをめざし、それにより生きることを学ぶものである。授業では、最初、この哲学的思索がいかにして行われ、いかなる問いが立てられねばならないか、について一般的な要点を説明する。それを、更に、具体的に過去の哲学の営みを通して検討し、現代的視点から過去の哲学—古代ギリシア哲学から現代哲学にいたるまで—の意味を学ぶことにする。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕その都度指示する。

倫理学(国・英・放)

くに しま かず のり
国 嶋 一 則

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理(人生観)や世界の原理(世界観)に基づく行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主要な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の確立に努める。哲学思想の基礎的概念や考え方の解明を重視し、教材の重要な箇所を解説して読解力を養成する。

〔教科書・参考書〕その都度指示する。

文学(国)

くま ざき ひさ こ
熊 崎 久 子

欧米の文学を中心に世界文学の流れを、政治・思想・宗教の変遷等を背景に概観する。

〔教科書〕教場で説明します。

文学(英)

こ ばやし おさむ
小 林 治

優れた文学作品の条件とは何だろうか。例えば一つ、リアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学につ

いて再考することを試みたい。なお予定として、日本の第一次戦後派の野間宏、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄などの作家の作品を中心に、時間が許せば村上春樹など現代の作家の作品もとりあげたい。

〔教科書〕野間 宏「暗い絵・顔の中の赤い月」

(講談社文芸文庫) ¥980

安部公房「R62号の発明・鉛の卵」

(新潮文庫) ¥320

歴史学(国・英)

も ざわ ち なる
茂 沢 方 尚

中国古代思想史、わけても諸子百家が輩出して、思想がはなやかにひらいた時代の歴史と文化を展望する。その戦国時代末期に出た法家に分類される、『韓非子』を中心にして、そこから見た諸子百家の思想を考えてみたい。

〔教科書〕茂澤方尚『韓非子』の思想史的研究

(近代文藝社) ¥5,000

社会分野

法学憲法(国)

はせがわ ひでよ
長谷川 日出世

前期は、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には、法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の法原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等について、我々の日常との係わり合いを考慮しながら、分析してみたい。

法学憲法(英)

みつ だ まさ よし
光 田 督 良

社会生活を営むうえで、法は必要不可欠なものである。このような法について、まず「法とは何か」ということを検討する。次に、社会生活において発生する問題に対応した形で、そこにおける法とは何か、どのような機能を発揮するのかといった点から検討する。抽象的な説明では、興味も生じないし、十分な理解も得られないであろうから、具体的な問題に例をとりながら説明する。その際、主として、現在の問題、憲法の人権にかかわる問題を取り扱う。

〔教科書〕光田・山本・有澤著『社会生活と法』
尚学社
〔参考書〕『ポケット六法』有斐閣

法 学(放)

お だ て る こ
織 田 晃 子

いまだ社会生活の経験の少ない学生に、法の役割や機能を理解していただき、しかも興味をもっていただくために、日常生活の中で起こるさまざまな法律問題、特に判例に現われた事例を多数とりあげて授業を進めたいと思っている。判決は人間社会の具体的な紛争解決をめざすものであり、そのなかにみられるさまざまな事実と判例理論は生きた社会そのものであるからである。

〔教科書〕『法学・憲法』（八千代出版）¥3,500
〔参考書〕コンパクト六法

社 会 学(国・英・放)

はし つめ さとし
橋 爪 敏

“社会現象”とは、結局のところ人間関係の問題であると言えよう。人と人が相互に作用し、そのつみ重なりとして、われわれの前に展開をする様々な、“社会現象”が生じてくるのである。家族、学校、会社、労働組合、政党、病院など、そして地域社会やひいては全体社会と呼ばれるような人間関係のネットワークがあらわれてくる。「社会学」とは、こうした“社会現象”をその主たる研究対象とする学問であって、高等学校までの「社会科」とはかなり性格を異にしている。そこで、本講義においては、このような社会的アプローチの基礎を、テキスト等を参照しながら理解をしていくことにしたい。

〔教科書〕安藤喜久雄ほか編『人生の社会学』
(学文社)
〔参考書〕高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）

文化人類学(国・英)

さ とう のり あき
佐 藤 憲 昭

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族のもつ文化や社会について比較研究をする学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするのである。この講座では、まず、わかりやすい事例を通して「文化」の意味を考えていくことから始めてゆく。つぎに、文化人類学の学問的特徴・対象・方法・歴史などについて具体的に解説した後に、文化の性質と機能、親族と婚姻、呪術=宗教

的観念や行動などのテーマを取り上げて、他の文化諸要素との関連のもとに考察する。内外の事例をできるだけ多く紹介し、文化を通して人間理解の可能性を探ってみよう。

〔教科書〕村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』
(有斐閣)

〔参考書〕授業中に適宜紹介する。

心 理 学(放)

しの はら せい じゅ
篠 原 英 壽

人とは何か、という問題を心理学的立場からアプローチし、解説してゆきたい。しかしこの講座は半期の開講科目であるため、視点を人格心理学及び臨床心理学に置き、上記の問題を扱ってゆく。

〔教科書〕『心理学概説』（八千代出版）¥1,500

自然分野

地 学(国・英)

うわがわ まさ ひと
宇和川 正 人

水、気、地および生物圏を通じて人類とのかわりあいを中心として解説する。あわせて、自然環境の保全に関する諸問題について考察する。

〔参考書〕その都度紹介する。

生活科学(国・英)

た しま たかし
田 島 隆

文科系学生のために、衣食住という物質文明にどう対処したらよいかを考える糸口にする時間にしたい。

1. プロローグ(科学的なものの考え方)
2. ダイヤモンドに目が眩む(分子の構造)
3. ヤカンとフライパンの話(金属の性質)
4. カセットテープの音楽(家庭電化製品)
5. オナラは燃えるだろうか(有機化合物)
6. ヴィーナスのお臍(生活の中の計測学)
7. 上手な洗濯法(界面活性と洗浄の理論)
8. 食物とことわざ(健康と食物)
9. おふくろの味・日本の味(調理と味覚)
10. 落ちない口紅(新開発生活用品)

〔教科書〕プリント使用

心理学(国・英)

しのほら えい じゅ
篠原英壽

人とは何か、という問題を心理学的立場からアプローチし、解説してゆきたい。しかしこの講座は半期の開講科目であるため、視点を人格心理学及び臨床心理学に置き、上記の問題を扱ってゆく。

〔教科書〕『心理学概説』(八千代出版) ¥1,500

情報科学概論(国・英)

すぎ た とおる
杉田徹

21世紀は高度情報化社会であると言われる。その社会の「キーワード」はもちろん「情報」である。従って、「情報」なる言葉の概念を正しく把握することは、その時代に生きる者にとって極めて重要な事であるといえる。普段、何気なく使う「情報」と言う言葉もよく考えてみると奥が深い。この講義ではそうした立場から「情報の定義、発生、伝達」、「概念とシステム」、「情報処理技術」、「情報化社会の問題点」などをとりあげてみたい。

生物学(国・英)

にし たに さと み
西谷里美

地球環境問題、死の判断基準、臓器移植や遺伝子操作の是非、がんやエイズ対策など、現代社会には私達が考えなければならない生物学的かつ倫理的な問題が山積されている。この講義では、こういった問題を理解し、更に自分なりの解答を探っていく上で必要な基礎知識の取得をめざす。前半では、生命の歴史をふりかえり、進化からみた人間の位置について考える。また現在人間の生存を可能にしている自然の仕組みや、その仕組みを乱す環境破壊について解説する。後半では細胞や分子のレベルから見た生命活動のメカニズムと、それを応用したバイオテクノロジーについて解説する。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕授業の中で紹介する。

一般生物学(放)

にし たに さと み
西谷里美

地球環境問題、死の判断基準、臓器移植や遺伝子操作の是非、がんやエイズ対策など、現代社会には私達が考えなければならない生物学的かつ倫理的な問題が

山積されている。この講義では、こういった問題を理解し、更に自分なりの解答を探っていく上で必要な基礎知識の取得をめざす。前半では、生命の歴史をふりかえり、進化からみた人間の位置について考える。また現在人間の生存を可能にしている自然の仕組みや、その仕組みを乱す環境破壊について解説する。後半では細胞や分子のレベルから見た生命活動のメカニズムと、それを応用したバイオテクノロジーについて解説する。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕授業の中で紹介する。

一般数学(放)

たけ なか えい じ
武中英治

1. 関数 2. 複素数 3. 微分とその応用 4. 積分とその応用

〔教科書〕矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』(裳華房)

一般物理学(放)

し みづ ただ よし
清水忠良

(1)古典力学の発生 (2)古典力学の誕生 (3)古典力学の発達 (4)新しい力学の発生 (5)新しい力学の誕生と発達

〔教科書〕ワインバーグ『電子と原子核の発見』(日経サイエンス社) ¥2,890

〔参考書〕原 康夫『詳解 物理学』(東京教学社) ¥2,266

一般化学(放)

た じま たかし
田島隆

高校で「化学」を履修しなかった学生や、化学の不得意な学生にとって、「放射線写真学」「放射化学」「生化学」等の化学領域の科目の習得は困難である。また、その関連科目の理解にも支障を来すことになる。そこで高校の「化学」の復習を兼ねた「放射化学序論」の基礎として演習方式を取り入れて行う。

従って、高校で「化学」を履修しなかったり、履修しても充分理解していない学生は、是非選択履修して欲しい。

〔教科書〕プリント使用。

保健体育科目(共通)

保健体育理論(国・英)

たけ だ ゆき お
竹 田 幸 夫

体育・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。とくに、スポーツ運動学の立場から人間の運動の様々な特徴を具体的な例によって解説する。また、現代における社会生活と健康・スポーツとの関わりを考えていく。

〔教科書〕駒沢大学保健体育部編『保健体育概論』
(カヅサ出版部) ¥1,700

〔参考書〕白石 豊編『スポーツ上達の基礎理論』
(自由現代社) ¥1,200

保健体育理論(国・英)

み めさ はる み
三 幣 晴 三

体育・スポーツに関する全般的知識、特に生涯体育、スポーツの文化的視点からの考察、人間の運動に関する実際の考察を中心とし、さらに現在および将来にむけての健康的内容をとりあつかう。

〔教科書〕『保健体育概論』(カヅサ出版) ¥1,700

保健理論(放)

よし だ りのる
吉 田 稔

「健康とは、肉体的に、精神のおよび社会的に完全に良好(Well-being)な状態であって、単に病気に罹患していないとか、病的ではないということではない」。これはWHO憲章によって定義された健康の概念である。我が国では21世紀に向かって、本格的な高齢社会を迎えようとしている。今やその時代のニーズに対応した保健活動が求められる。ここでは総合的な健康の確保に必要な問題について考える。

〔教科書〕石川哲也他著『新編公衆衛生学』
(東京教学社) ¥1,854

〔参考書〕『国民衛生の動向』(厚生指標)臨時増刊
(厚生統計協会)

随 意 科 目 (共 通)

英 会 話 II

P. A. Bendinelli • W. Hubbard

D. J. Nolan • J. K. Wells

P. Ziegler • 西村 祐子

全学で6クラスを設け、学部および短大の2年次生以上を対象とします。1年次で英会話Iを履修した学生を対象とするクラスとそれ以外の初修者も参加できるクラスがあります。各担当者の講義内容 (syllabus) を参考にし、場合によっては受講希望クラスの担当教師に相談してください。

担当者、曜日、時限、クラスは時間割表で確認してください。

P. A. Bendinelli

A course for highly motivated students. (UPPER LEVEL II CLASS) Class will be student orientated, not teacher orientated. Details in first meeting.

W. Hubbard

This course presents the basic as well as more advanced language skills that one needs for everyday communication in English. The emphasis is on class interaction, comprehension, and application. A variety of dialogs, situations, topics and EIKEN oriented material will be used.

(教科書) The text material will be decided depending on the ability of the students assessed at class time.

D. J. Nolan

At the core of this course is

- 1) a series of dialogues that are topical and should prove interesting to Japanese students, and
- 2) language activities that are meaningful and intellectually rewarding.

The material is advanced in the sense that it takes for granted the considerable familiarity Japanese students already have with English but recognizes a need to provide further opportunities to internalize what students have learned at lower levels.

The course specifically intends to help students prepare for the STEP tests (Eiken), either second level or higher, the targeted level depending upon the qualifications of those who apply.

Grades are determined on the basis of attendance, participation, and occasional short tests.

(教科書) Dale Fuller/Clyde W. Grimm, Milestones, Macmillan Language House ¥1,800

J. K. Wells

Dear students,

I'd like to welcome you to my free conversation class. My class will be designed around you, but you must be willing to come to class and to try to speak English openly. Conversational English pair work, skits and talking about current events will comprise my class. If you are shy, this class is not for you! Most importantly, can you attend every week?

Regards.

P. Ziegler

The course will consist of exercises designed to expand student vocabulary and improve oral communication skills. A wide variety of materials will be used.

(教科書) 未 定

西村 祐子

テーマ: 英語による英国文化と社会探訪

実際によく使われるBritish Englishの会話表現を、英国で撮影されたビデオで学習しながら学ぶ。更にテキストとの併用により、イギリスの文化と社会について英語で学ぶ。授業はすべて英語で、参加者同志によるrole play, 英語による発表, ディスカッションなどが盛り込まれる。英語による表現力をつけたい学生、留学希望者向けで、本年度と次年度の2年間で終了するコース。

(教科書) Britain Explored by Paul Harvey & Rhodri Jones

(Longman Eichosha books 英潮社刊)

(参考書) (使用Video) Focus in English

英語 L L II

T. J. Cogan ・ 岩 山 義 春
お ぼ なお き
大 庭 直 樹

英語 L L I のアドバンスト・コースとして全学で3クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。1年次に英語 L L I を履修しなかった学生も参加できるようにしてあります。最後までやり通す意欲ある学生を歓迎します。

担当者及び曜日、時間、クラスは時間割表で確認して下さい。

T. J. Cogan

In this intermediate-advanced course we will study American English through video. The text this year will probably be either a popular movie or a video series. Since the class will be small, there should be ample opportunity for students to discuss in English what they see on the screen. The purpose of the course is to improve each student's ability to comprehend and speak English at a fairly high level. The course will be conducted entirely in English. I will announce the text on the first day of class.

岩 山 義 春

聞き取りと表現力の向上をめざします。毎週話題となっているニュースを選び、それを繰り返し聞き、英文でアウトラインを書いてもらい、毎回提出してもらいます。書くことなくして英会話上達はありません。毎回の熱心なクラス参加を強く望みます。

テキストはプリントを使用します。

大 庭 直 樹

前期と後期にビデオ映画（英語の字幕付き）をそれぞれ1本ずつ観る。前期は、会話表現、語法等を検討しながら、各場面を英語で要約することに重点をおく。後期は、映画の各場面について、フリーにディスカッションする形式をとりながら、発話力を身につけていく。授業は、英語でおこなう。

英 語（海外演習）

この授業科目は、クインズランド大学・ブリティッシュコロロンビア大学・エクセター大学・カリフォルニア大学アーバイン校における短期留学セミナーでの4週間に及ぶ現地演習を中心として行なわれる英語随意科目である。受講対象学生は、全学部の1年次生から卒業年次生までとする。

現地演習後に4大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位認定がなされる。

国 文 科

専門教育科目

国文学概論 (安藤 幸輔)	89
国文学概論 (坂口 博規)	89
国文学史 I (佐原 作美)	89
国文学史 I (鈴木 裕子)	89
国文学史 I (清田 啓子)	89
国文学史 I (蘭部 幹生)	89
国文学史 II (石割 透)	89
国文学史 II (大室 英爾)	89
国文講読 I (上代)(佐原 作美)	90
国文講読 II (中古)(鈴木 裕子)	90
国文講読 II (中古)(蘭部 幹生)	90
国文講読 III (中世)(坂口 博規)	90
国文講読 III (中世)(蘭部 幹生)	90
国文講読 IV (近世)(菅野 一雄)	90
国文講読 IV (近世)(清田 啓子)	90
国文講読 V (近・現代)(石割 透)	90
国文講読 V (近・現代)(大室 英爾)	91
国文講読 V (近・現代)(笹瀬 王子)	91
国文演習 I (安藤 幸輔)	91
国文演習 I (石割 透)	91
国文演習 I (大室 英爾)	91
国文演習 I (片山 晴賢)	91
国文演習 I (小林 治)	91
国文演習 I (坂口 博規)	91
国文演習 I (鈴木 裕子)	92
国文演習 I (清田 啓子)	92
国文演習 I (蘭部 幹生)	92
国文演習 II (安藤 幸輔)	92
国文演習 II (石割 透)	92
国文演習 II (大室 英爾)	92
国文演習 II (片山 晴賢)	92
国文演習 II (小林 治)	92
国文演習 II (坂口 博規)	93
国文演習 II (佐原 作美)	93
国文演習 II (鈴木 裕子)	93
国文演習 II (清田 啓子)	93
国文演習 II (蘭部 幹生)	93
国語学 (片山 晴賢)	93
国文法 (片山 晴賢)	93
国文法 (古瀬 順一)	93
言語学概論 (田口 善久)	93
古典文学概説 (川上 順子)	94
近代文学概説 (小林 治)	94
児童文学 (吉田 司雄)	94
国語表現法 (安藤 幸輔)	94
国文特講 I (上代)(川上 順子)	94
国文特講 II (中古)(佐原 作美)	94

国文特講 III (中世)(坂口 博規)	94
国文特講 IV (近世)(菅野 一雄)	95
国文特講 V (近・現代)(笹瀬 王子)	95
戯曲演劇概説 (清田 啓子)	95
国文特別演習 I (上代, 中古, 中世, 近世, 近・現代) (小林 治)	95
有職故実 (大塚 英子)	95
中国文学概説 (功刀 正)	95
中国文学講読 (功刀 正)	95
中国文学講読 (清水 浩子)	95
書道実習 I (富岳 智猛)	96
書道実習 II (富岳 智猛)	96
情報概論 (小林 眞峰)	96
編集実務 (長谷川 孝)	96
ジャーナリズム研究 (功刀 照夫)	96
文化概論 (大室 英爾)	96
秘書概論 (湯浅 陽子)	97
秘書実務 (森本 正恵)	97

国 文 科

専門教育科目

国文学概論

あん どう こう けい
安 藤 幸 輔

古代から現代に至るまでの日本文学を概観する。

- 文学作品に現われた「自然観」「死生観」をみる。
- 知的活動としての「笑い」「遊び」から日本人の精神状況をみる。

〔教科書〕 追って指示する。

〔参考書〕 その都度指示する。

国文学概論

さか ぐち ひろ き
坂 口 博 規

日本文学について、文学理念・風土との関係・時代や社会とのつながり等を中心に講じ、日本文学を概観したい。

〔教科書〕 麻生磯次、松田武夫、市古貞次共著

『日本文学概論』（秀英出版）¥1,800

国文学史 I

さ ぼら さく み
佐 原 作 美

作品の一端にふれながら、上代から中古前期を中心に国文学の流れを概観していきたい。

〔教科書〕 山岸徳平編『作品中心 日本文学史』

（新典社）¥1,030

国文学史 I

すず き ひろ こ
鈴 木 裕 子

国文学の流れを、古代後期の国文学史を中心として、実際に作品にふれながら概観する。

〔教科書〕 有精堂編集部編『日本古典文学史』

（有精堂）

国文学史 I

せい だ けい こ
清 田 啓 子

上代から近世までの文学の流れを概観する。このクラスに参加する人が、各自好きな作品をもちよって、このクラスなりの文学史観が構築されればすばらしいと思う。

〔教科書〕 山岸徳平他編『日本古典文学史概説古典編』

（有精堂）

国文学史 I

その べ みき お
蘭 部 幹 生

上代から近世までの国文学の流れを概観しながら、時代相の持つ意味や、各作品間の関連・史的 position を確認する。出来るだけ実際の作品に触れるように心懸けたい。

〔教科書〕 市古貞次・長谷川泉著『新編 日本文学史

（新訂版）』（明治書院）¥470

国文学史 II

いし わり とおる
石 割 透

明治初期より、昭和の初期あたりまでの日本近代文学の流れを、特に小説を中心に検討する。授業時に扱かう小説は、可能な限り、読んでおくこと。

〔教科書〕 『近代文学年表』（年表の会編）

（双文社出版）¥980

国文学史 II

おお ひろ えい じ
大 室 英 爾

近代から現代にいたる文学の流れを概観する。主要な作品の“読み”を通して進めてゆくので、あらかじめ指示された作品を読んでおくことが受講の条件となる。

〔教科書〕 平岡・東郷編『日本文学史概説近代編』

（有精堂）

国文講読Ⅰ（上代）

さ　　ほら　　さく　　み
佐　　原　　作　　美

『万葉集』の中から各期を代表する歌人の特色ある歌を選んで講読していきたい。

〔教科書〕土橋 寛編『作者別 万葉集』（桜楓社）
¥1,800

国文講読Ⅱ（中古）

すず　　き　　ひろ　　こ
鈴　　木　　裕　　子

今年度は、『源氏物語』を、賢木巻から読む。本文を正確に読みながら光源氏の青春期の喜びや苦悩というものについて考えてみよう。

〔教科書〕新潮日本古典集成『源氏物語』二
（新潮社）

国文講読Ⅱ（中古）

その　　べ　　みき　　お
蘭　　部　　幹　　生

前年度に引き続き、『大鏡』を読む。歴史文学の代表作に触れながら、当時の社会や文学について考えてみたい。テキストは特に指定しないので、全文載っているものであれば何でもよい。むしろいろいろなテキストを持つ受講生がいて、その場で比較検討が出来ればよいと考えている。なお、授業では関連作品も可能なかぎり読み進めたい。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕その都度指示する。

国文講読Ⅲ（中世）

さか　　ぐち　　ひろ　　き
坂　　口　　博　　規

『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門の栄華・源平の争乱・平家一門の滅亡という時代背景のなかで、平家の貴公子資盛との恋愛、その死、追想の日々の折々に詠まれた歌を中心に、約 360首の作品が収められた個人歌集である。ほぼ年代順に歌が収められ、日記文学（＝自照文学）的性格も有しており、作者右京大夫の人生をも考えてみたい。

〔教科書〕久徳高文著『建礼門院右京大夫集』（桜楓社）¥1,500

国文講読Ⅲ（中世）

その　　べ　　みき　　お
蘭　　部　　幹　　生

中世は説話の時代とも言われるが、そのなかでも説話文学の代表作品である『宇治拾遺物語』を読む。一つ一つの説話が担っている歴史的背景や意味、及び他作品との関連について考えてみたい。

〔教科書〕中島悦次校註 角川日本古典文庫

『宇治拾遺物語』（角川文庫）¥720

〔参考書〕その都度指示する。

国文講読Ⅳ（近世）

かん　　の　　かづ　　お
菅　　野　　一　　雄

松尾芭蕉の紀行文「奥の細道」を読んで、芭蕉が、旅の中に何を発見しようとし、どのような俳諧を作り上げて行こうとしていたかを探る。

〔教科書〕萩原恭男校注『芭蕉おくのほそ道』

（岩波文庫）¥520

国文講読Ⅳ（近世）

せい　　だ　　けい　　こ
清　　田　　啓　　子

近世小説の白眉とされる『雨月物語』をとりあげる。古典と中国文学との摂取による独自の世界を充分味わってみたい。また、読本の発生以来、後期読本への流れも見、できれば「春雨物語」も読んで「雨月」の位置も確かめたい。

〔教科書〕水野稔校注『雨月物語』（明治書院）

国文講読Ⅴ（近・現代）

いし　　わり　　とおる
石　　割　　透

谷崎潤一郎の初期の作品「刺青」「少年」「幫間」「秘密」および芥川龍之介の同じく初期作品「羅生門」「鼻」「芋粥」などを読み、互いに意識しあった谷崎潤一郎と芥川龍之介という二人の文学者の特長、及んでは明治末から大正初期の文学傾向の一面を考える。

〔教科書〕谷崎潤一郎『刺青・秘密』（新潮文庫）

芥川龍之介『芥川龍之介全集Ⅰ』

（ちくま文庫）

国文講読 V (近・現代)

おほ むろ えい じ
大 室 英 爾

近代詩を読む。「於母影」の訳詩などからはじめて大正期の朔太郎・犀星・春夫あたりまでの主たる作品を順次読み、考え、鑑賞する。併せて近代詩の流れにも検討を加える。

〔教科書〕萬田・吉田編著

『展望 近代詩—その歴史と作品—』

(双文社出版) ¥1,236

国文講読 V (近・現代)

ささ せ おう じ
笹 瀬 王 子

本年度は、尾崎紅葉、幸田露伴、泉鏡花の作品を扱う。明治期を代表する三文豪の作品の読みを通して、普段あまり接することのない明治文学の特質とその魅力に迫りたい。

〔教科書〕木村有美子・山根賢吉編『紅葉・露伴文学選』(和泉書院)¥1,236

泉鏡花『歌行燈』(岩波文庫)¥260

国文演習 I

あん どう こう けい
安 藤 幸 輔

近代の小説(主として短篇小説)を扱う。時代を追って代表的な作家の作品を〈主人公〉の生き方を中心に考えてみたい。〈家〉と〈自我〉の問題、〈愛のかたち〉の問題が主たるものとなろう。『近代の短篇小説』を終ったあと、現代の女流作家の作品に焦点を当てて考える。

〔教科書〕『近代の短篇小説』(菁柿堂)¥1,500

ほかに、その都度指示する。

〔参考書〕その都度指示する。

国文演習 I

いし わり とおる
石 割 透

志賀直哉と芥川龍之介の小説を読む。前期は志賀の代表的短篇小説、後期は芥川の代表的短篇小説を読み、二人の文学傾向を考えていきたい。授業は毎時間報告者を決め、その報告に基づいて授業を進めていく。あらかじめ授業で扱かう小説をじっくり読み、問題点を考え、授業に出席すること。

〔教科書〕志賀直哉『小僧の神様他十篇』(岩波文庫)
芥川龍之介『羅生門・鼻・芋粥・偷盗』
『地獄変・邪宗門・好色・藪の中』
(岩波文庫)他

国文演習 I

おほ むろ えい じ
大 室 英 爾

宮澤賢治の童話を読む。作品における主題や構想の卓抜さ、豊かさを味わいながら、詩及び短歌を含めた賢治文学の特質を考える。

〔教科書〕『注文の多い料理店』『新編 風の又三郎』

『新編 銀河鉄道の夜』

『宮澤賢治詩集』(いずれも新潮文庫)

国文演習 I

かた やま はる かた
片 山 晴 賢

中世の作品を読み、国語の基礎的な力をつけるため、発表者の報告にもとづいて授業を進めたい。

〔教科書〕授業開始時に指示する。

国文演習 I

こ ぼやし おおむ
小 林 治

野間宏、椎名麟三、武田泰淳、大岡昇平、本多秋五、平野謙などの第一次戦後派の作家、評論家の作品を読み、戦後的表現の特質とその問題点について考える。作品を指定し、作品ごとに報告者を決め、その報告によって授業を進めていく。受講者は対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけること。通年で、文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知っていただきたい。

〔教科書〕開講時に指示する。

国文演習 I

さか ぐち ひろ き
坂 口 博 規

阿仏の代表作『十六夜日記』を読む。影印を用いて、草仮名の読みを併せて学びたい。

〔教科書〕一瀬幸子・江口正弘・長崎健校注

『十六夜日記』(新泉社刊)¥1,030

国文演習 I

すず き ひろ こ
鈴 木 裕 子

『伊勢物語』を読む。必ずしも「業平の一代記」というような視点にこだわらず、自由な発想で、歌物語のおもしろさを味わいたい。授業は、写本の複製本を用い、発表者の報告を中心として進める。

〔教科書〕影印本『伊勢物語』（新典社）

〔参考書〕かな研究会編『実用変体がな』（新典社）

国文演習 I

せい た けい こ
清 田 啓 子

井原西鶴の小説を中心に、その業績を通観してみたい。

〔教科書〕大久保忠国編『西鶴作品選』（桜楓社）

国文演習 I

その べ みき お
蘭 部 幹 生

藤原定家の異父兄に当たる藤原隆信の私家集を読む。諸本の校合や本文校訂、あるいは類歌・歌語の用例を調査するといった基本作業を通して、研究方法の獲得を図るとともに、作家や作品そのものへのアプローチを試み、中世和歌への理解を深めてみたい。本講座では、受講生の自発的な研究発表を中心として進める。

〔教科書〕プリントを用いる。

〔参考書〕その都度指示する。

国文演習 II

あん どう こう けい
安 藤 幸 輔

現代の代表的〈小説〉を時代順に扱ってゆきたい。主として短篇小説を〈方法〉の面から考えるようにしてゆきたい。

『昭和の短篇小説』が終ったあと、直哉、康成、由紀夫などの作家の作品および現代の女流新人の作品も取り上げる。

〔教科書〕『昭和の短篇小説』（菁柿堂）¥1,500

〔参考書〕その都度指示する。

国文演習 II

いし わり とおる
石 割 透

明治三十年代から四十年代にかけての三人の作家、国木田独歩、田山花袋、島崎藤村の代表的な作品をとりあげて、彼等の文学の特長、そこに見られる時代の問題を考えていく。国木田独歩「号外・少年の悲哀」、田山花袋「蒲団」「田舎教師」、島崎藤村「破戒」など。授業毎に発表者を決め、その報告に基づいて授業を進めていく。

〔教科書〕国木田独歩『号外・少年の悲哀』

（岩波文庫）

田山花袋『蒲団・一兵卒』『田舎教師』

（岩波文庫）

島崎藤村『破戒』（岩波文庫）

国文演習 II

おお むろ えい じ
大 室 英 爾

国木田独歩の主な作品を読む。作品を通して独歩の自然観・人生観にふれ、その現代的意味などにも考えを及ぼしていきたい。

〔教科書〕『武蔵野』『牛肉と馬鈴薯・酒中日記』

（新潮文庫）

他プリントを用いる。

国文演習 II

かた やま ほる かた
片 山 晴 賢

中世の文学作品から国語の基礎学力をつけるため、発表者の報告にもとづいて授業を進めてゆきたい。

〔教科書〕授業開始時に指示する。

国文演習 II

こ ぼやし おさむ
小 林 治

安部公房、島尾敏雄、小島信夫、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。作品を指定し、作品ごとに発表者を決め、その発表によって授業を進めていく。受講者全てが対象作品を通読していることはもちろんであるが、演習 I からの積み重ねとして、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考える地点までたどり着いてほしい。

〔教科書〕開講時に指示する。

国文演習Ⅱ

さか ぐち ひろ き
坂 口 博 規

後深草院の後宮に生きた二条の回想の記『とはずがたり』を読む。院の寵愛を受けながら同時に二人の男性に愛され、後に院御所を退いて諸国を行脚する作者の半生を考える。

〔教科書〕次田香澄校注『とはずがたり』（明治書院）
¥1,300

国文演習Ⅱ

さく ほら さく み
佐 原 作 美

平安朝初期に成立したわが国最初の仏教説話集である『日本霊異記』を対象に演習を行う。作中に見られる様々な人々の願望や信仰など、その心性のありようなどを見ていきたい。授業では受講生の発表をもとに進める。

〔教科書〕新潮社刊 日本古典集成『日本霊異記』
¥2,200

国文演習Ⅱ

すず き ひろ こ
鈴 木 裕 子

古代、多くの男子官人たちは漢字漢文で日記を記した。そのような「備忘録」としての日記とは異なり、女性が自らの意志により自らの半生を仮名で生々と綴った『蜻蛉日記』は、文学史上特筆すべき作品の一つであろう。発表者の報告を中心に、精読しながら現代女性の意識にも通じるものを探ってみよう。

〔教科書〕校注古典叢書『蜻蛉日記』（明治書院）

国文演習Ⅱ

せい だ けい こ
清 田 啓 子

近松門左衛門の浄瑠璃は、後代の演劇作品にも種々影響を与えている。その一例として「めいどの飛脚」とその改作・発展作を読み、余力があれば、他作品に及ぶ。

〔教科書〕景山正隆編『めいどの飛脚』（新典社）
¥1,236

国文演習Ⅱ

その べ みき お
菌 部 幹 生

中世は説話の時代といわれるが、説話は伝承されるものである以上、同じ話が複数の作品の中に、その表情を変えて様々に息づいている。そうした説話の伝播の種々相を探り、その説話の意味するものについて考えてみたい。本講座は、受講生の自発的な研究発表を中心として進める。

〔教科書〕プリント。

〔参考書〕その都度指示する。

国語学

かた やま はる かた
片 山 晴 賢

現代日本語の持つ特質・実態・問題点を歴史的に遡って考えてみたい。

〔教科書〕『国語学概説』（双文社出版）¥1,800

国文法

かた やま はる かた
片 山 晴 賢

助詞・助動詞を中心に、古典解釈に必要な基礎学力養成に主眼をおきたい。詳細は授業開始時説明したい。

〔教科書〕『新講古典文法』（新典社）

国文法

こ せ じゅん いち
古 瀬 順 一

助詞・助動詞を中心に、古典解釈に必要な基礎学力養成に主眼をおきたい。詳細は授業開始時説明したい。

〔教科書〕授業開始時に指示する。

言語学概論

た ぐち よし ひさ
田 口 善 久

前半では言語のもつ構造と言語現象にあらわれる規則性というテーマで、具体的な言語のデータを示しつつ進めていく。後半は言語の通時的側面をとりあげ、言語がどのように変化していくのかという問題を考えていく。

古典文学概説

かわ かみ より こ
川 上 順 子

日本古典文学のなかには、日本人の信仰の問題が数多く記述されている。本講座では、「観音信仰」の問題に焦点をあてて、この信仰が日本土着の信仰と習合し、人々に受容されていった様子を、古典文学作品の中から考えていく。上代から中古までの作品にふれつつ講義を進めていく。

〔教科書〕プリント

〔参考書〕適宜指示する。

近代文学概説

こ ばやし おさむ
小 林 治

前期は文学史的に近代から現代への一つの接点となっていると考えられる関東大震災以後、十五年戦争敗戦までの日本文学の流れを追う。横光利一、小林多喜二、宮沢賢治は特に重点的に触れる予定。

後期は戦後文学の発時の文学論争を見つつ、実際に登場してきた作家の作品との距離を考え、戦前と戦後の連続、非連続について考えていく。雑誌「近代文学」派の言説と野間宏、椎名麟三は特に重点的に触れる予定。

〔教科書〕奥野健男著『日本文学史 近代から現代へ』
(中央公論社新書) ¥720

本多秋五著『物語 戦後文学史(上)』

(岩波書店 同時代ライブラリー) ¥950

〔参考書〕その都度、指示する。

児童文学

よし た もり お
吉 田 司 雄

近代日本の重要な児童文学作品を読みすすめてゆく。本年度は、グリム童話やアンデルセン童話が日本ではどのような形で受容されてきたのか、にも注目したい。作品を次から次へと読んできてもらうので、そのつもりで受講すること。また、前期レポートは児童文学作品の創作も可とし、創作のノウハウについての指導も行なう。

〔教科書〕桑原三郎、千葉俊二編

『日本児童文学名作集』(上)(下)

(岩波文庫)

国語表現法

あん どう こう けい
安 藤 幸 輔

- ・日本人の生活や愛の表現法を、各時代の代表的な文学作品によって考える。(短歌、物語、日記、随筆など)。
- ・手紙、案内状など日常生活に必要なものの書き方を指導する。
- ・文芸的な作品(小説・詩・随筆)が、ある程度書けるように指導する。
- ・成果としてこの作品を(雑誌)を発行して掲載する予定を持つ。

〔教科書〕葉山修平著『新しい文章作法』(笠間書院)
-前期、『小説の方法』¥1,500 -後期

〔参考書〕その都度、指示する。

国文特講 I (上代)

かわ かみ より こ
川 上 順 子

『古事記』の講義を行う。日本最古の書物である『古事記』には、神話・祭式・民俗等々のさまざまな学問分野の要素が集合されている。本講座ではそれらの問題を視野に入れながらも、最古の「文学作品」としての『古事記』を中心に講義を行う。日本古典文学の各ジャンルの原点となる問題を指摘しつつ講義を進めていく。

〔教科書〕西宮一民編『古事記』

〔おうふう(桜楓社)〕¥1,900

国文特講 II (中古)

さ ほら さく み
佐 原 作 美

平安朝末期に成立した『今昔物語集』の「本朝仏法部」を読みながら、特に当時の人々の仏教とのかかわり方やものの見方、考え方などについて見ていきたい。

〔教科書〕角川文庫『今昔物語集』本朝仏法部

上・下巻 ¥各660

国文特講 III (中世)

さか ぐち ひろ き
坂 口 博 規

我が国の歌人の中でも、特に西行は親しまれ、その歌は愛誦されていよう。西行の生涯を、主にその旅を中心に考える。

〔教科書〕プリント、その他

国文特講Ⅳ(近世)

かん の かげ お
菅 野 一 雄

人形浄瑠璃三大名作の一つと言われる「義経千本桜」を読む。このドラマに展開される、義経・知盛・維盛らの悲運の武将の物語や親を慕う仔狐のメルヘンの世界が、現代の我々の心に訴えるものが、果たしてあるだろうか。

〔教科書〕景山正隆著『校注義経千本桜』
(笠間書院) ¥1,030

国文特講Ⅴ(近・現代)

ささ せ おう じ
笹 瀬 王 子

昨年度に引き続き、田山花袋の回顧録『東京の三十年』を読む。本書に描かれた文壇や社会の動きに留意しつつ、多角的に明治の文学を考えてみたいと思う。

〔教科書〕田山花袋『東京の三十年』(岩波文庫)
¥570 ほか

〔参考書〕授業中、適宜指示する。

戯曲演劇概説

せい た けい こ
清 田 啓 子

日本の古典芸能に親しみ、鑑識眼をやしなうための、必要な知識を与えることを目的とする。一年間に、能、歌舞伎、人形浄瑠璃を、それぞれ一回以上見物する義務を課す。

〔教科書〕景山正隆編『人形浄瑠璃関係資料(抄)』
(新泉社) ¥515

国文特別演習Ⅰ(上代, 中古, 中世) (近世, 近・現代)

こ ぼやし おさむ
小 林 治

研究論文作成のための講座である。まず研究対象を決定するための相談をうける。その上で研究対象を決定し、文学研究上必要な態度、方法論、資料収集法などについて講義する。最終的には論文の書き進め方を習得するわけだが、その過程で、こちらが指定するいくつかの作品について、レポート提出を課し、その内容についての質疑応答、助言あるいは討論の場をもうける。自主ゼミ方式を想定して受講していただきたい。

〔教科書〕杉原四郎、井上忠司、榎本隆司著
『研究レポートのすすめ』(有斐閣新書)
¥927

有職故実

おほ たか ひで こ
大 塚 英 子

平安貴族社会の文化について、儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗との関係を考察する。

〔教科書〕河鱈実英『有職故実』(塙書房)
¥1,900 とプリントを使用。

〔参考書〕奥平英雄『源氏物語絵巻』(保育社)
¥1,000

中国文学概説

く むぎ ただし
功 刀 正

講読が、主として韻文を学習するので、概説では、前期は、先秦の諸子百家の代表的な文を、後期は、漢魏六朝より唐宋に至る代表的な散文を読み、中国の思想と文学の特色を把握させる。また、中国と日本の風土や習慣、更には中国語(漢文)と日本語の相違を考え、中国と日本の文化の特色を明らかにしてゆきたい。

〔教科書〕『中国思想文学通史』(明治書院)
¥1,600

中国文学講読

く むぎ ただし
功 刀 正

前期は、詩経・楚辞・漢魏六朝の古体詩を、後期は、唐宋の近体詩を文学史の流れを追いながら読んでゆく。これ等の韻文講読を通して、中国古典の読解力・鑑賞力を涵養する。また、中国の風土や習慣等も理解させ、これ等が作品に及ぼす影響をも考え、併せて、中国文学と日本文学との関連に就いても学習してゆきたい。

〔教科書〕『中国思想文学通史』(明治書院)
¥1,600

中国文学講読

し みず ひろ こ
清 水 浩 子

詩経・楚辞・漢魏六朝の古詩と唐・宋の詩及び白氏文集や唐宋八家文などの作品の講読を中心に中国文学への理解を深め読解力を養う。また、中国文学の日本文学への影響なども考えてみたい。

〔教科書〕『中国思想文学通史』(明治書院)
¥1,600

書道実習Ⅰ

とみ つか ち みょう
富 岳 智 猛

楷、行、草書の代表的古典を取り上げて、基本の筆法を学び、書の基礎知識や鑑賞力を養う。

かなの単体、連綿体に習熟し、かなの成立・発達の概略及び古筆の基礎的知識及び鑑賞力を養う。

〔教科書〕『書の古典美』（書芸文化新社）

『字典かな』（笠間書院）

書道実習Ⅱ

とみ つか ち みょう
富 岳 智 猛

古筆を基とし、かなの単体、連綿体に習熟し、代表的古筆である高野切古今集、関戸本古今集、寸松庵色紙などの概説と臨書を通して表現力、鑑賞力を養い、創作へ導く。更に随時に実用書（ペン字・書簡文等）の実習も加えてより幅広く書への関心を高める。

〔教科書〕『書の古典美』（書芸文化新社）

『字典かな』（笠間書院）

情報概論

こ ばやし しん ほう
小 林 眞 峰

情報化社会に突入した今日、コンピュータに関する基礎知識やOA機器を駆使した情報処理基礎知識は、社会人としての必須知識である。

本講座では、時代要請に応え、情報処理とは何かを理解し、実社会にスムーズにとけこめる情報処理知識と技能の教授に主眼を置いて進める。

講義の前半は、ワードプロセッサを使った情報処理に重点を置き、ワープロ検定3級の合格を目指す。後半はコンピュータの基礎知識習得にポイントを置き、コンピュータを使用した情報処理の方法を中心に講義する。

欠席した場合は、相当の努力をしないと授業についてこれなくなる。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕前川良博編著『コンピュータ処理概論（改訂版）』（白桃書房）¥3,100

編集実務

はせがわ たかし
長谷川 孝

情報社会の今、多様な情報を主体的に選択し活用できる力が求められ、さらに自分から情報を発信できる

能力も大事です。自分の中にある知識や体験、意見や批判、感動や思いなどを、さまざまな社会の出来事や状況との関係の中でしっかりと掘みとり形を与えて、他者に伝わるように表現することです。この講義では、物書き・編集者としての私の体験を語りながら、文章と印刷による表現（メディア）の担い手に必要な知識・技能や心構えと、なぜ・なにを・どう「伝える」のか、を考えていきます。また、個人のミニ新聞（雑誌）を作ってもらい、作り方とともに「ものごとを見る目」を育ててほしいと思っています。

〔参考書〕長谷川 孝編著『新聞をつくろう』

（さ・え・ら書房）¥1,236 を随時、使用します。

ジャーナリズム研究

く ぶ てる お
功 刀 照 夫

ジャーナリズムとは何か？ 欧米と日本のジャーナリズムの相違、新聞、ラジオ、テレビと発達してきたマスメディアの歴史と、各マスメディアの特性・特色を比較研究。情報の伝達から国際的な相互理解の問題など、ジャーナリストとしての体験をもとにした実践論によって、情報過多の国際化時代における社会人としてのニュース理解の手引きをめざす。

〔教科書〕開講時に指示。

〔参考書〕随時指示。

文化概論

おお むろ えい じ
大 室 英 爾

・主題を「女性」とし、下記のような日程と担当者によって、それぞれの立場からのアプローチがなされることになる。

- ・4/19（水）オリエンテーション 大室 英爾
- ・4/19（水）4/26（水）
「女性と文学」 吉田 司雄
- ・5/10（水）5/17（水）
「女性と宗教」 納富 常天
- ・5/24（水）5/31（水）
「女性と服飾文化」 大塚 英子
- ・6/7（水）6/14（水）
「女性と教育」 末藤美津子
- ・6/21（水）6/28（水）
「女性の社会的地位Ⅰ」 茂野 隆晴
- ・7/5（水）7/12（水）
「女性の社会的地位Ⅱ」 茂野 隆晴
- ・7/19（水）まとめ・評価 大室 英爾

〔教科書〕その都度指示する。

〔参考書〕その都度指示する。

秘書概論

ゆ あさ よう こ
湯 浅 陽 子

秘書学の学習は、秘書理論と秘書実務との学習によって成り立つ。秘書理論の学習目的は、秘書の概念をつかみ、より望ましい秘書実践のための指針を得ることである。一方、秘書実務の学習目的は、秘書実践に必要な知識や技術を習得し、秘書の個々の仕事をもつ目標・目的にかなった手段を的確に選択することである。秘書の仕事は実践本位、と考える方もあるかもしれないが、よい仕事のためには、しっかりと基礎理論を踏まえることが大切である。

このような考えから、講義では、秘書が仕事を進めていくうえで、認識しておいたほうがよいと思われる事柄について、多角的なアプローチを試みていく。皆さんには秘書の働き方をモデルに、社会人としての在り方を模索していただきたい。

〔教科書〕 藤本幹子・谷口佳子・大窪久代・大宮智江
著『秘書概論』（同文書院）¥2,000

秘書実務

もり もと まさ え
森 本 正 恵

初級秘書のための実務を学ぶが、必ずしも秘書とならなくとも、社会で実務につく場合に必要な知識が身につくクラスである。

— 講義内容 —

- マナー・接遇
- 敬語
- 電話のかけ方・受け方
- 日程管理
- 出張事務
- 文書作成
- ファイリング
- 郵便の知識
- 一般知識
- その他

〔教科書〕 開講時に指示します。

英 文 科

専 門 教 育 科 目

英文法論 (梅原 敏弘)	101
英文講読 I (滝 静寿)	101
英文講読 I (吉沢 栄治郎)	101
英語音声学 (R. A. Moe)	101
英米文学概論 (熊崎 久子)	101
Intensive English I (平成4年度以前入学生: オラル・イングリッシュ I) (G. Dendo ・ K. Schellin G. Wallace ・ 郷司正彦)	101
Intensive English II (J. G. Garrison ・ K. Schellin G. Wallace ・ 郷司正彦)	102
Intensive English III (J. G. Garrison ・ J. Pfeiffer G. Wallace ・ 郷司正彦)	102
Intensive English IV (P. Allum ・ G. Dendo J. G. Garrison)	102
Freshman English (平成4年度以前入学生: 英会話 I) (P. Keyes)	102
英語学概論 (岡本 誠)	102
Public Speaking (平成4年度以前入学生: オラル・イングリッシュ II) (J. G. Garrison)	103
Public Speaking (平成4年度以前入学生: オラル・イングリッシュ II) (G. Dendo)	103
Public Speaking (平成4年度以前入学生: オラル・イングリッシュ II) (R. A. Moe)	103
Public Speaking (平成4年度以前入学生: オラル・イングリッシュ II) (J. Pfeiffer)	103
Reading & Comprehending (P. Allum)	103
Reading & Comprehending (K. Schellin)	103
Reading & Comprehending (G. Wallace)	103
Reading & Comprehending (郷司 正彦)	104
英文学史 (滝 静寿)	104
英文講読 II (熊崎 久子)	104
英文講読 II (梅原 敏弘)	104
英 作 文 (梅原 敏弘)	104
英 作 文 (岡本 誠)	104
英 作 文 (高野 秀夫)	104
英 作 文 (滝 静寿)	104
英 作 文 (吉沢 栄治郎)	105
英 作 文 (G. Dendo)	105

戯曲研究 (熊崎 久子)	105
時事英語 (岡本 誠)	105
英文タイプライティング I (湯浅 陽子)	105
米文学演習 (J. G. Garrison)	105
英語演習 I (岡本 誠)	105
英語演習 II (滝 静寿)	106
英語演習 III (梅原 敏弘)	106
英語演習 IV (吉沢 栄治郎)	106
英語演習 V (R. A. Moe)	106
英語演習 VI (高野 秀夫)	106
ジャーナリズム研究 (功刀 照夫)	106
同時通訳 I (R. A. Moe)	106
(平成4年度以前入学生: 同時通訳入門)	
イギリス文化事情 (P. Allum)	107
アメリカ文化事情 (R. A. Moe)	107
西洋古典文学 (平田 松吾)	107
アメリカ演劇 (J. G. Garrison)	107
秘書概論 (湯浅 陽子)	107
秘書実務 (森本 正恵)	107
秘書英語 (森本 正恵)	108
国語表現法 (安藤 幸輔)	108
Spoken English (平成4年度以前入学生: 英会話 II) (K. Schellin)	108
Spoken English (平成4年度以前入学生: 英会話 II) (J. Pfeiffer)	108
作品作家研究 (ロマン派の詩)(熊崎 久子)	108
作品作家研究 (19世紀英文学)(高野 秀夫)	108
作品作家研究 (世紀末文学)(滝 静寿)	108
作品作家研究 (吉沢栄治郎)	108
聖書研究 (高野 秀夫)	109
英文タイプライティング II (湯浅 陽子)	109
ビジネスイングリッシュ (町井 靖)	109
言語と文化 (岡本 誠)	109
英語表現研究 (梅原 敏弘)	109
同時通訳 II (R. A. Moe)	109

英 文 科

専門教育科目

〔参考書〕 教場にて追って指示します。

英文法論

うめ ほら とし ひろ
梅 原 敏 弘

従来の規範的ないわゆる「学校文法」とは一線を画しているものの、比較的「学校文法」に近い、イギリスのQuirkを中心としたグループの文法をとりあげ検討する。受講者が多いので演習形式がとれないため、ハンドアウトをあらかじめ配り、そこに書かれたセンテンスに含まれる重要な文法項目を逐次解説していくという形をとる。文の量はかなり多く、中にはやや理解の難しい文法概念を含んだものもあるで、受講者は毎回授業に出席し、こまめにノートをとる必要がある。前期では主として主部にまつわる文法項目を、後期には述語に関する文法項目を扱う予定。

成績評価は、前・後期二回の試験で行う。

〔教科書〕 使用せず。ハンドアウトを配布。

〔参考書〕 「現代英語文法—大学編」（紀伊国屋書店）

R. Quirk and S. Greenbaum

"A University Grammar of English" 1987,

"A Student's Grammar of the English Language" 1990

英文講読 I

たき せい じゅ
滝 静 寿

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』を読み、シェイクスピア劇の面白さを紹介していく。

〔教科書〕 未定。

英文講読 I

よし ざわ えいじろう
吉 沢 栄治郎

英字新聞の一面を主に取上げて読んでいきます。できるだけかぎり辞典を引いて、確認しつつ、併せて「イミダス」（集英社）等の解説記事を参照し、バックグラウンドを知っておくと、より深い理解が得られるとおもいます。要は、英字新聞を手にし、読み馴れるようになれば、と願っています。

英語音声学

R. A. Moe

This course will cover the principles and purpose of Phonetics. Emphasis will be on application rather than theory. There is no assigned textbook. Attendance will not be taken. There will not be any mid-term or final tests, but instead, numerous unannounced tests throughout the year. Final grades will be based on the average scores of those tests.

英米文学概論

くま ざき ひさ こ
熊 崎 久 子

英米両国の歴史の流れを背景に、さまざまな時代思潮の中で躍動した文学者、文芸作品を概観する。

〔教科書〕 特に教科書は用いない。

サブ・テキストとして次の書を推薦します。

① 佐瀬順夫著『要説 イギリス文学史』

（英宝社）

② 佐藤順夫著『要説 アメリカ文学史』

（英宝社）

Intensive English I (Basic Skills) (平成4年度以前入学生：オラル・イングリッシュ I)

G. Dendo ・ K. Schellin

G. Wallace ・ 郷 司 正 彦

First year English course in conversation. Students will learn and practice new conversation skills. They will also use the language laboratory.

〔Text〕 To be provided by instructor

Intensive English II (Reading Skills)

J.G. Garrison • K. Schellin

G. Wallace • 郷司正彦

J.G. Garrison

This course is intended to build the student's vocabulary and improve comprehension. It is conducted in English and requires weekly preparation, attendance and class participation. Regular tests.

[教科書] To be provided by instructor.

K. Schellin

This course is intended to prepare the student for success in the TOEFL by building vocabulary and improving reading comprehension. It is conducted in English and requires weekly preparation, attendance, and class participation.

[教科書] To be provided by instructor

G. Wallace

Emphasis on vocabulary acquisition and content comprehension. Content analysis and critique required. Reading materials selected from sources designed primarily for native speakers of English including newspaper and magazine articles, short stories, scenarios, etc. Course conducted in English. Preparation required. Regular tests.

[Text] To be decided

郷司正彦

Reading various kinds of short stories, such topics as, culture, fashion, health and so on. Active participation in class required. Course conducted in English.

[Worldbeat] L. Blass and M. Pike-Baky ¥1,200

Intensive English III (Aural Skills)

J.G. Garrison • J. Pfeiffer

G. Wallace • 郷司正彦

Emphasis on listening comprehension of recorded materials selected from film and television. Course conducted in English and held in the language laboratory.

Regular tests.

[Text] To be provided by instructor.

Intensive English IV (Structured Conversation)

P. Allum • G. Dendo

J.G. Garrison

P. Allum

Students will be able to enjoy a wide variety of speaking exercises—role play, debate, discussion, giving a talk etc. Come prepared to express yourself!

G. Dendo

Further development of communicative skills based on practical English. Regular attendance and active participation in the classroom absolutely required.

J.G. Garrison

Application and development of conversational skills acquired in Intensive English I-III through pair practice and/or small-group discussions of a wide range of subjects decided in advance. Special attention to pronunciation and intonation as well as developing the student's ability to communicate her thoughts.

Course conducted in English. Grades based on classwork and two interviews.

[Text] None

Freshman English

(平成4年度以前入学生:英会話I)

P. Keyes

New English Firsthand

Marc Helgesen

Steven Brown

Thomas Mandeville

Rubin Jordan

Lingual House

[教科書] ¥2,039 (三省堂)

英語学概論

おか もと まこと
岡 本 誠

英語なる言語が変化・進展してきたプロセスを概観

し、次に、その英語が現代にあって世界各地でどのように用いられているか、を見てみる。

〔教科書〕松浪有著『英語史』（大修館）¥1,648

〔参考書〕教場にて指示。

Public Speaking

(平成4年度以前入学生：オーラル・イングリッシュⅡ)

J. G. Garrison

Course designed to improve conversational fluency in semi-formal speaking situations. Group exercises with emphasis on organization, delivery, pronunciation and intonation. Regular attendance required. Course conducted in English. Grades based on attendance, classwork and two interviews, one at the end of each semester.

〔教科書〕No text

Public Speaking

(平成4年度以前入学生：オーラル・イングリッシュⅡ)

G. Dendo

A continuation of Oral English I. Basic skills which were acquired are further developed and expanded. Course content and method to be explained by teacher at the first class. Regular attendance and active participation in classroom activities required. Class will be conducted entirely in English.

〔教科書〕Conversation Topics for Japanese University Students (kinseido)
¥1,700

Public Speaking

(平成4年度以前入学生：オーラル・イングリッシュⅡ)

R. A. Moe

As the course title implies, learning how to speak in public situations will be the purpose of this course. Students will be expected to further develop and utilize communication skills they have acquired in Intensive English. There is no textbook for this course. Final grades will be based on an evaluation of overall student preparation, participation, and performance.

Public Speaking

(平成4年度以前入学生：オーラル・イングリッシュⅡ)

J. Pfeiffer

Course designed to improve conversational fluency in formal and semi-formal speaking situations. Group exercises with primary emphasis on organization and delivery and continued attention to pronunciation and intonation. Regular attendance required. Grades based on attendance and classwork.

〔教科書〕No text

Reading & Comprehending

P. Allum

This course will give students the chance to read about a variety of topics, particularly current topics. There will be some discussion based on the texts.

〔教科書〕Copies

Reading & Comprehending

K. Schellin

This course is designed for improving student's reading skills and comprehension. Through a variety of texts students will learn how to read and what to look for while reading.

Regular attendance, homework, and regular tests required and included.

〔教科書〕To be provided by instructor.

Reading & Comprehending

G. Wallace

Emphasis on vocabulary acquisition and content comprehension. Reading materials selected from sources designed primarily for native speakers of English. Course conducted in English. Preparation and active participation in class activities required. Regular tests.

Test: To be decided

Reading & Comprehending

郷 司 正 彦

Second year reading course. Emphasis on learning reading skills such as getting the main ideas, guessing meaning from context, skimming and scanning. Students will read a wide variety of topics related to their interests.

[Interactions I] [E. Kirn & P. Hartmann, (McGraw-Hill)]

英文学史

滝 静 寿

歴史を背景に、イギリス文学の流れをその時代の代表的作品を取り上げながら概観する。

[参考書] 教場で紹介。

英文講読 II

熊 崎 久 子

英文学史上特異な地位を占めるD. H. Lawrence の生涯を、妻Friedaの思い出を通して読む。合わせて彼の詩・小説・エッセイなどにも触れていきたい。

[教科書] 『Not I but the Wind...』
("私ではなく、風が...")(弓書房)
『Love Among the Haystacks and other stories』A penguin book

[参考書] 授業の進展に合わせ、随時紹介します。

英文講読 II

梅 原 敏 弘

今年はテレビドラマとしては古い(1954年CBSで放送、その年度のEMMY賞受賞)、なお時代をこえて見る人の心に訴えるものを持ち続ける Reginald Rose の作品Twelve Angry Menを一年間かけて読む。テレビドラマの脚本なので、口語英語主体で書かれており、口語英語に慣れる良い機会となるであろう。毎回映画化された同作品のビデオも見せる予定。

英語を日本語に訳してはじめて英文を理解するのではなく、英文を日本語をかいさず理解する能力、即ち直読直解の能力を養うことを主目標とする。内容についての英問英答が多くなる。受講者は英英辞典を使って予習してくること。

[教科書] Reginald Rose 作『Twelve Angry Men』(開文社) ¥1,300

[参考書] Longman Dictionary of Contemporary English 推奨英英辞典

英作文

梅 原 敏 弘

この授業の目的は、英語で自分の意志を表現するための基本的な表現能力を養うことにある。難しい言葉を使わなくてもかなりのことが基本語彙をうまく活用することで表現できる。それは話し言葉でも書き言葉でも同じである。特に基本動詞の使い方が問題である。そこでこの授業では、基本動詞のうちこれまで組織的に学ぶことがなかった活用範囲の広い二語動詞に焦点をあてて、それらの使い方を学びながら英作文力の向上を目指したいと思う。

下記のテキストを使い、一つの課を二週間かけて勉強していく。

[教科書] 『Workbook on Two-Word and Three-Word Verbs』(松柏社)

英作文

岡 本 誠

「花が咲いている」という文があるとすると、その花が菊やパンジーのようなものか、あるいは桜や桃のようなものかを確認しなければ英語に訳せない。前者にflowerを用い、後者にblossomを用いることは御存知のとおり。文法上のことはもとより、適切に語を判断することにも留意してほしい。

[教科書] プリント使用。

英作文

高 野 秀 夫

日常英会話、英字新聞・雑誌に役立つ英語を活用し、簡単なコミュニケーションのできる英文が作れることを目標とする。

[教科書] The Road From Writing to Speaking (成美堂)

英作文

滝 静 寿

英訳された日本の文学を研究する。特に古典『平家

物語』を読む。その他夏目漱石、川端康成の作品や、短歌、俳句、狂言等一部実際に翻訳してみて、色々な問題点を検討する。

〔参考書〕教場で紹介します。

英作文

よし ざわ えいじろう
吉 沢 栄治郎

英作文の要諦は、平生から語彙を増やすようにし、短い構文にまとめ、simple, standard Englishをめざすことです。なにはともあれ和文を英語に直す練習を数多くこなしてほしい。口に出して言う、紙に書いてみるという訓練を重ねるとよい。

〔教科書〕追って教場で指示します。

英作文

G. Dendo

Basic writing skills will be developed using various materials and topics. Weekly writing assignments will be given in conjunction with grammar review.

戯曲研究

くま ざき ひさ こ
熊 崎 久 子

シェイクスピアの『十二夜』を読む。ロマンティック・コメディ最後の作品。幻想的な国、イリリアを舞台に展開するロマンとペイソスに満ちた物語と心にかかるシェイクスピア・ソングの数々を味わいたい。

〔教科書〕①『Twelfth Night』(“十二夜”)

(朝日出版社)

②『Twelfth Night』(“十二夜”(篠崎書林)

①, ②両方共必要

〔参考書〕授業の進展に合わせて随時紹介する。

時事英語

おか もと まこと
岡 本 誠

その日の朝の英語ニュースを聞く。受講者はこれを機会に世の中の政治経済の動きにも関心をもつことが肝要。また当日は耳をよく掃除してこよう。

〔教科書〕テープ使用。

英文タイプライティング I

ゆ あさ よう こ
湯 浅 陽 子

今や社会ではOA化がほぼ浸透し、誰もがOA機器を扱えるのが当然のような時代ですが、英文タイプ配列を覚えておけば、多機種の日本語ワープロもコンピュータも、ローマ字入力で簡単に操作できます。ただしキーボード操作は、ブラインド・タッチ(手元を見ないで打つこと)が原則で、せっかくの機器を使いこなす為にはそれが一番大切なことなのです。

習得目標は第一にキーボードを覚えること。5月で完全にマスターします。6月から簡単な実務(レポート及びレター作成・作表)に入ります。

コンピュータを使用するので定員を先着32名とします。定員オーバーの場合は第一回日の授業(履修登録前)の時に抽選をし、許可証を受領した者のみ履修登録可能とします。

〔教科書〕第一回日の授業時に指示します。

米文学演習

J.G. Garrison

The Novel as a window on society. Readings and discussions of American novelists active in the 1980s and 1990s, including Tama Janowitz, Bret Easton Ellis, Jay McInerney, Tobias Wolff, Richard Ford and others.

Special emphasis on contemporary problems and issues in American Society.

〔教科書〕To be provided by instructor.

英語演習 I (ディクテーション)

おか もと まこと
岡 本 誠

慣用句の成立背景を歴史的にみていく。例えば、OKという言い方はどのようないきさつで成立したのか。あるいはmaverickとはどうして「一匹狼」の意味になったのか。これを全講義ディクテーションで行なう。紙と鉛筆それに辞書を持ってこよう。

各自TOEFL 500点を目標してほしい。

〔教科書〕テープ使用。

英語演習Ⅱ (シャーロック・ホームズ)

たき せい じゅ
滝 静 寿

推理小説の古典シャーロック・ホームズものの中から二、三篇を輪読し推理しながら、当時のロンドンの風俗やイギリス人気質などのぞいてみる。

〔教科書〕未定。

英語演習Ⅲ

うめ ほら とし ひろ
梅 原 敏 弘

テープレコーダーとコンピューターを使い、基礎的な口語表現のディクテーションと反復練習を通じて、表現力と聴解力の向上を目指す。リズムを中心とした音声面の訓練にも力を入れる予定。一回の授業時間で扱うセンテンスの数は15ぐらいであり、数は多くないが完全に覚え込んで使いこなせるようにすることを目標とする。年間を通してこの訓練を行う。コンピューターの経験がなくても、初歩的な使い方は教えるので心配する必要はない。コンピューターの扱いに慣れた段階で、コンピューターソフトを使った英語訓練も試みる予定。予習復習をしっかりとやること。成績評価は普段の反復テストを中心に行う。履修を決める前に必ず一度聴講すること。

〔教科書〕使用せず。

英語演習Ⅳ (FEN 5 M. NEWSを聞く)

よし ざわ せいじろう
吉 沢 栄治郎

FEN (5分) ニュースを繰返し聴いて、耳を練るトレーニングをします。自宅でも努めてラジオ (FEN)、テレビ、カセット等を活用してもらいたい。結局、ヒアリングは実際に生の英語を聞いた時間が決め手となります。

〔教科書〕追って指示します。

英語演習Ⅴ (異文化間コミュニケーション)

R. A. Moe

The main subject of this course will be "communication." Popular English expressions and usage, body language, and other cultural elements will be pointed out and explained as they appear in movies. Students will be expected to adequately prepare beforehand, such as by viewing the selected movies in their entirety, reading the books they were based upon, critical reviews, and discussing

them with each another. Final grades will be based on an evaluation of overall student preparation, participation, and performance, as well as the results of comprehension tests over the material covered. At the beginning of the course, students will be provided with a list of the movies scheduled to be covered during the year.

英語演習Ⅵ (英語表現)

たか の ひで お
高 野 秀 夫

英作文の教科書と英字新聞で英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意志を伝えることができるようになることを目指す。

〔教科書〕Unique English Composition (Vol. I, II)
(成美堂)

ジャーナリズム研究

く ぬば てん お
功 刀 照 夫

ジャーナリズムとは何か? 欧米と日本のジャーナリズムは違うのか? その歴史をたどりながら、新聞、ラジオ、テレビと発達してきたマスメディアの特性・特色を比較研究。情報伝達のむつかしさから国際報道、国際理解の問題など、ジャーナリストの体験をもとにした実践論によって、情報過多の国際化時代の社会人としてのニュース理解の手引きをめざす。

〔教科書〕開講時に指示。

〔参考書〕随時指示。

同時通訳Ⅰ

(平成4年度以前入学生: 同時通訳入門)

R. A. Moe

Simultaneous interpreting skills are introduced and practiced at an elementary level. Students considering taking this course should have at least a STEP 2 (英検2級) level proficiency in English. In addition to practicing taped exercises, there will also be actual interpreting exercises. Because this course will be held in the L.L., the number of students accepted into the class will be limited. In the event that more students wish to take this class than can be admitted, selection will be made during the first class of the semester; no other students will be admitted thereafter.

イギリス文化事情

P. Allum

This course will give students a good background knowledge of Britain and British culture. Videos and Photocopies will be used to introduce a wide variety of topics. Students will be able to investigate an aspect of British culture of their own choice in the second semester.

〔教科書〕 P. Harvey & R. Jones.

『Britain Explored』 (Longman)

アメリカ文化事情

R. A. Moe

American culture will be studied through the context of current events. Students taking this course will be required to keep abreast of news stories concerning America and be prepared to discuss them. This will require the regular reading of newspapers and magazines, as well as regularly watching the news on TV or listening to it on the radio. Students will be required to submit a research paper typed in English at the end of the year. The paper is to be over any aspect of American culture. Final grades will be based on an evaluation of this research paper, overall student preparation, participation in discussions, as well as the results of comprehension tests over the material covered.

西洋古典文学

ひら た しゅう ご
平 田 松 吾

紀元前五世紀のアテナイで上演されたギリシア悲劇を題材にして、古代ギリシア人のものの見方をさまざまな角度から考えてゆく。ヨーロッパの文学や思想に大きな影響を残した作品にじかに触れて、ギリシア人にとって神話・言葉・演技が何を意味していたかを理解することがこの講義の目的である。

〔教科書〕 『ソボクレーヌ オイディプス王』

(岩波文庫) ¥310

『ギリシア悲劇Ⅲ』 『ギリシア悲劇Ⅳ』

(ちくま文庫) 各¥900

アメリカ演劇

J.G. Garrison

Introduction to American drama with emphasis on contemporary issues and themes. Plays to be read in Japanese and discussed in English and Japanese. Playwrights to be covered include: Eugene O'Neill, Lillian Hellman, Tennessee Williams, Arthur Miller, Edward Albee, Sam Shepard, Marsha Norman, Beth Henley, David Mamet and August Wilson. Extensive use of film and other AV resources. If possible, the class will attend one or two plays.

Regular attendance and class participation required. Grade based on classwork and three short research papers.

〔Text〕 ①高島邦子『20世紀アメリカ演劇—アメリカ神話の解剖—』(国書刊行会)1993

②嶋原眞一『モダン・アメリカン・ドラマ』(研究社)1989

③田川弘雄・鈴木周二『アメリカン演劇の世界』(研究社)1991

秘書概論

ゆ あさ よう こ
湯 浅 陽 子

秘書学の学習は、秘書理論と秘書実務との学習によって成り立つ。秘書理論の学習目的は、秘書の概念をつかみ、より望ましい秘書実践のための指針を得ることである。一方、秘書実務の学習目的は、秘書実践に必要な知識や技術を習得し、秘書の個々の仕事をもつ目標・目的にかなった手段を的確に選択することである。秘書の仕事は実践本位、と考える方もあるかもしれないが、よい仕事のためには、しっかりと基礎理論を踏まえることが大切である。

このような考えから講義では、秘書が仕事を進めていくうえで認識しておいたほうがよいと思われる事柄について、多角的なアプローチを試みていく。皆さんには秘書の働き方をモデルに、社会人としてのあり方を模索していただきたい。

〔教科書〕 藤本幹子・谷口佳子・大窪久代・大宮智江著『秘書概論』(同文書院)¥2,000

秘書実務

もり もと まさ え
森 本 正 恵

初級秘書のための実務を学ぶが、必ずしも秘書とならなくとも、社会で実務につく場合に必要な知識が身

につくクラスである。

— 講義内容 —

- マナー・接遇
- 敬語
- 電話のかけ方・受け方
- 日程管理
- 出張事務
- 文書作成
- ファイリング
- 郵便の知識
- 一般知識
- その他

〔教科書〕開講時に指示します。

秘書英語

もり もと まさ え
森 本 正 恵

外資系企業において秘書として働く場合に必要な英語表現を学ぶ。テキストには、企業内によく見られる様々な情景が易しい英語で短くまとめられている。テキストの目読、音読、テープのリスニング、書取りなどで、オフィスでの必要最小限の英語を身につける。ビジネスレターの作り方も学ぶ。秘書英語検定の準備クラスでもある。

〔教科書〕開講時に指示します。

国語表現法

あん どう こう すけ
安 藤 幸 輔

- 日本人の生活や愛の表現法を、各時代の代表的な文学作品によって考える。(短歌、物語、日記、随筆など)。
- 手紙、案内状など日常生活に必要なものの書き方を指導する。
- 文芸的な作品(小説・詩・随筆)が、ある程度書けるように指導する。
- 成果としてこの作品を〈雑誌〉を発行して掲載する予定を持つ。

〔教科書〕葉山修平著『新しい文章作法』(笠間書院) ¥1,500 -前期 『小説の方法』-後期

〔参考書〕その都度、指示する。

Spoken English

(平成4年度以前入学生:英会話Ⅱ)

K. Schellin

Aimed at improving spoken skills and abilities. This course will include activities and tasks requiring maximum usage of time in spoken communication.

Regular attendance and active participation in classroom activities required. Class will be conducted in English.

〔教科書〕To be provided by instructor.

Spoken English

(平成4年度以前入学生:英会話Ⅱ)

J. Pfeiffer

Basics of spoken English. Emphasis on development of ORAL skills. Course content and method to be explained by teacher at the first class.

Regular attendance and active participation in classroom activities required. Class will be conducted entirely in English.

作品作家研究(ロマン派の詩)

くま ざき ひさ こ
熊 崎 久 子

英文学史上に一時期を画したロマン派の詩人たちの著名な作品を鑑賞し、過ぎ去った時代のロマンの香を味わってみる。

〔教科書〕藪下卓郎、床尾辰男解注『A choice of English Romantic Poetry』(“イギリスロマン派詩選”)(北星堂書店)

作品作家研究(19世紀英文学)

たか の ひで お
高 野 秀 夫

英国の大学に於て英文学の入門書となっている「サイラスマーナ」の作品を読みながらその著者ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学のなかで特異な存在となったのかを考える。

〔教科書〕George Eliot 『Silas Marner』(研究社)

作品作家研究(世紀末文学)

たさ せい じゅ
滝 静 寿

オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。

〔教科書〕未定。

作品作家研究

よし ざわ せいじろう
吉 沢 栄治郎

教材は、エッセーです。エッセーを読むと、筆者の「素顔」にじかにふれるおもいがします。人にはさまざまな見方・考え方・感じ方があることがわかります。

そうしたものが生きていく上で拠り所となることも少なくありません。時には自らペンをとって日常の折り折りにうかぶ思いを綴ってみたいものです。
〔教科書〕 追って教場で指示します。

聖書研究

たか の びで お
高 野 秀 夫

西洋の町にはまず教会が建てられると言われるほどキリスト教の影響は西洋人にとって計り知れない。世界の超ベストセラーであり、彼等の精神の糧でもある聖書を読み、西洋文化、思想の扉を開いてもらいたい。
〔教科書〕 『和英対照新約聖書』（日本聖書協会）

英文タイプライティングⅡ

ゆ あさ よう こ
湯 浅 陽 子

ブラインド・タッチを完全に習得した者のみを対象に、英文ワープロソフトWORDSTAR、日本語ワープロソフト太郎、表計算ソフトLotus1-2-3等を使って様々な文書を作成します。

コンピューター使用の為定員を32名とします。第一回目の授業の時にキーボード操作テストを行い、合格者及び人数制限の抽選に残った者を履修登録可能とします。

尚この授業は昨年度の「情報処理入門」と授業内容が重複するところが多い為、その受講者は対象外としておきます。

〔教科書〕 第一回目の授業時に指示します。

ビジネスイングリッシュ

まち い やし
町 井 靖

日本企業の国際的進出は、海外での子会社、合併会社の設立、外国企業の買収等めざましいものがあるが、「ビジネスイングリッシュ」では「商品の輸出入に関する英文の手紙」を勉強する。

取引先の発見、見積り、交渉、注文、船積み等、貿易取引の流れに従ってよく使用される基本的表現を修得する。貿易の専門的用語も解説する。

〔教科書〕 町井 靖『基礎商業英語』（梓出版社）

¥1,700

言語と文化

わか ひと まこと
岡 本 誠

言語と文化は表裏一体のものである。英語という言語に接する際、我々はその英語を支えている人々のものの考え方・感覚にも留意せねばならない。それによって、真のコミュニケーションが成り立つといえる。また、翻って、我々も日本語の背後にある文化を念頭におき、そして、それらを紹介できるように努めるべきだ。これぞ真の国際感覚といえようか。クラスはディスカッションを中心にし、また適宜レポートを出してもらう。

〔教科書〕 プリント使用。

〔参考書〕 教場にて指示。

英語表現研究

うめ はら とし ひら
梅 原 敏 弘

日本語と英語の比較・対照を主としてとりあげる予定。他の全ての分野と同じく、言語も異なる言語を比較・対照することによってその特質を明らかにすることが出来る。我々の母国語である日本語と対照させることによって、英語の語彙・表現構造・音声等の特徴を探っていくことにしたい。

〔教科書〕 プリントを配布する予定。

〔参考書〕 『日英語比較講座』全5巻（大修館）

同時通訳Ⅱ

R. A. Moe

Students who have successfully completed 同時通訳Ⅰ will be eligible to take this course. If a student who has not taken 同時通訳Ⅰ wishes to take this course, permission may be granted by the teacher if that student can display adequate proficiency or ability. The basic techniques which were acquired in 同時通訳Ⅰ will be expanded upon and applied to actual interpreting situations.

放射線科

専門教育科目

解剖学(本間 襄)	113
生理学(樋口 雄三)	113
衛生学及び公衆衛生学(吉田 稔)	113
放射線基礎数学(清水 忠良)	113
近代物理学序論(清水 忠良)	113
放射線物理学Ⅰ(小山 正希)	113
放射化学序論(田島 隆)	114
電気工学(佐藤 昌憲)	114
放射線機器工学Ⅰ(榑 徳市)	114
放射線写真学(田本 祐作)	114
エックス線撮影技術学Ⅰ(古屋 儀郎)	114
実験ⅠA(本間 襄・榑 徳市・ 古屋 儀郎)	114
実験ⅠB(清水 忠良・佐藤 昌憲・ 松林 哲夫・小川多恵子)	115
実験ⅠC(山本 裕右・榑 英次・ 田本 祐作)	115
実験ⅠD(田島 隆・山本 裕右・ 原田 和正・室田 憲一)	115
計算機言語概論(杉田 徹)	115
医学概論(本間 襄)	115
臨床医学概論(本間 襄)	115
放射線生物学(山口 彦之)	115
生化学(田島 隆)	116
病理学(本間 襄)	116
応用数学(清水 忠良)	116
放射線物理学Ⅱ(青木 清)	116
放射化学(山本 裕右)	116
電子工学(杉田 徹)	116
放射線機器工学Ⅱ(武中 英治)	117
放射線機器工学Ⅲ(榑 英次)	117
エックス線撮影技術学Ⅱ(古屋 儀郎)	117
放射線計測学(小山 正希)	117
関係法規(油井 多丸)	117
実験ⅡA(榑 徳市・阿部 敏・ 金谷 信一・古屋 儀郎)	117
実験ⅡB(小山 正希・武中 英治・ 佐藤 昌憲・中本 淳)	118
実験ⅡC(杉田 徹・青木 清・ 木村 登・川副 護)	118
実験ⅡD(杉田 徹・青木 清・ 木村 登・吉田 正廣)	118
実験ⅡE(武中 英治・榑 英次・ 山口 彦之・蒔 利彦)	118
臨床放射線特論Ⅰ(本間 襄)	118
臨床放射線特論Ⅰ(山口 彦之)	119
病院実習Ⅰ(榑 徳市)	119

放射線医学概論(本間 襄)	119
自動制御工学(青木 清)	119
放射線機器工学Ⅳ(小山 正希)	119
画像工学Ⅰ(榑 英次)	119
放射性同位元素検査技術学(榑 徳市)	119
放射線治療技術学(高山 誠)	120
放射線管理学(油井 多丸)	120
放射線学演習(杉田 徹)	120
実験ⅢA(小山 正希・佐藤 昌憲・ 羽生 毅)	120
実験ⅢB(青木 清・杉田 徹・ 永井 喜則)	120
実験ⅢC(山本 裕右・田島 隆・ 山口 彦之・大田 忠親)	120
実験ⅢD(榑 徳市・榑 英次・ 小林 久夫)	121
応用計測学(榑 英次)	121
化学特論(山本 裕右)	121
画像工学Ⅱ(榑 英次)	121
放射線学特論(山口 彦之)	121
放射線学特別演習(青木 清)	121
放射線学特別演習(榑 英次)	121
放射線学特別演習(榑 徳市)	121
放射線学特別演習(佐藤 昌憲)	122
放射線学特別演習(清水 忠良)	122
放射線学特別演習(山本 裕右)	122
病院実習Ⅱ(榑 徳市)	122

放射線科

専門教育科目

解剖学

ほん ま じょう
本 間 襄

診療放射線技師に必要な人体解剖学を学び、画像との関係を習得する。

〔参考書〕吉川・星・林共著『解剖生理学』
(金原出版) ¥3,000

生理学

ひ ぐち ゆう ぞう
樋 口 雄 三

専門領域を発展させるための生理学の基礎的知識の他に、どのような機序で生命現象が機能し、恒常性が維持されているのかについて心と身体、それをとり巻く地球環境までも含めて解説し、ホリスティックな視野を養う。

〔教科書〕中野昭一他著、新臨床検査技師講座
『生理学』(医学書院) ¥3,200

〔参考書〕古河・本田共著『現代の生理学』
(金原出版) ¥9,800

衛生学及び公衆衛生学

よし た みゆ
吉 田 稔

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。このように公衆衛生は集団を対象とするため、そのアプローチには疫学的技法が用いられる。疫学は疫病の流行を客観的に示し、その予防対策に大きく寄与する。ここでは衛生・公衆衛生が果たす役割について学ぶ。

〔教科書〕石川哲也他著『新編公衆衛生学』
(東京教学社) ¥1,854

〔参考書〕『国民衛生の動向』

(厚生省の指標 臨時増刊)厚生統計協会
厚生省編『厚生白書』(厚生省統計協会)
環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

放射線基礎数学

し みず ただ よし
清 水 忠 良

基礎数学について、演習を中心として行う。

行列・行列式

数値計算法

尚、計算機言語概論の内容を前提とします。

〔教科書〕矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』(裳華房)

近代物理学序論

し みず ただ よし
清 水 忠 良

次の項目について学びます。

1. 古典力学の成立
2. 近代物理学の発生
3. 相対性理論
4. 量子論

〔教科書〕原 康夫『詳細物理学』(東京教学社)
¥2,266

放射線物理学 I

こ やま まさ き
小 山 正 希

X線の発生と物質との相互作用を中心とする。
主として

- (1) X線の発生
- (2) X線と物質との相互作用
- (3) 電子と物質との相互作用
- (4) X線の減弱
- (5) X線の線質評価
- (6) 光子と物質との相互作用に関する単位系
- (7) X線回折

放射化学序論

た じま たかし
田 島 隆

2年次、3年次履修する「放射化学」「放射線生物学」「放射線医学概論」その他核医学関係の教科目と1年次で並行する「放射線写真学」の何れも「分子」のレベルで考えることによって発展、開発された学問である。これらを学ぶ上で「分子」の概念は基礎として、どうしても必要である。そこで、ここでは高校で学んだ化学と、これら各専門の学問を継ぐ架け橋としての化学を講ずる。特に演習の時間が少ないので学生諸君が各自で教科書にある練習問題をこなして欲しい。

〔教科書〕磯 直道著『化学通論』（東京教学社）

¥1,957

電気工学

き とう まさ のり
佐 藤 昌 憲

電気工学全般にわたる広い知識を得ることを目的として、つぎのような内容で講義を行う。

- (1)直流回路 (2)電流と磁気 (3)静電気
- (4)交流回路 (5)変圧器 (6)三相交流

なお講義の間に演習問題を多く取り入れる。

〔教科書〕『新電気基礎問題集』（綜文館）¥800

『電気基礎 上』（東京電機大学）¥2,000

『電気基礎 下』（東京電機大学）¥2,100

放射線機器工学Ⅰ

さかき とく いち
榎 徳 市

診断用各種エックス線撮影装置、附属装置、機器、用具を知り、動作原理、取り扱い法を習得させる。実験ⅠA・ⅠB・ⅡAとの関連が深い。

〔教科書〕立入 弘監修『診療放射線技術』（上）

（南江堂）¥6,800

〔参考書〕村上晃一著『放射線機器工学』

（南山堂）¥3,800

青柳泰司著『放射線機器学』

（通商産業研究社）¥12,360

放射線写真学

た じま けい さく
田 本 祐 作

放射線および光による医用画像について、その形成原理、形成手段、画像の解析法、および画質の評価法等を中心に実社会で真に有用な人材の育成をモットー

に講義する。

- (1) 放射線写真と写真のシステム
- (2) 感光材料と増感紙
- (3) 感光および現像処理の理論と化学
- (4) センシトメトリー
- (5) 画像の写真特性
- (6) 画像の解析法と画質の評価法
- (7) フーリエ解析の基礎

〔教科書〕宮川俊夫・久江田昌著『新版 放射線写真学』（アドバンス出版）¥4,800

〔参考書〕江頭元樹著『放射線写真学』（金原出版）¥3,500

友田宣忠著『写真科学』（通商産業研究社）¥8,000

エックス線撮影技術学Ⅰ

ふる や よし ろう
古 屋 儀 郎

X線撮影技術概論、X線撮影の基礎技術等に関する講義をする。概要は以下の通りである。

- (1)X線撮影技術学とは (2)X線像の形成 (3)撮影理論
- (4)一般撮影 (5)特殊撮影 (6)その他撮影

〔教科書〕立入 弘監修『診療放射線技術』（上巻）（南江堂）¥6,800

〔参考書〕多田信平著『X線解剖学図譜』

（マグブロス）¥12,000

蜂屋順一著『放射線と看護』（文光堂）¥1,600

江副正輔他『X線撮影技術学』（南山堂）

実験ⅠA

ほん ま じゅう さかき とく いち
本 間 襄 ・ 榎 徳 市
ふる や よし ろう
古 屋 儀 郎

- 1) エックス線装置の構造と取り扱い
- 2) エックス線の照射条件設定と照射
- 3) 特殊撮影法の基礎
- 4) エックス線写真の各種の計測
- 5) 撮影室の放射線管理
- 6) 個人被曝管理の基礎
- 7) 写真技術の基礎
- 8) 暗室、現像装置の正しい使用法

〔教科書〕放射線機器工学Ⅰと同じ

実験 I B

し みず ただ よし さ とう まさ のり
清水 忠良 ・ 佐藤 昌憲
まつ ばやし てつ お お がわ た え こ
松林 哲夫 ・ 小川 多恵子

次の項目を中心とした実験を行います。

- (1)データ処理方法 (2)基礎的計器の使い方
(3)電流・磁場の測定 (4)数値計算 (5)その他
〔教科書〕『実験書 (I B ・ II B ・ II C ・ II D ・ III A
・ III B)』〔第四版〕

実験 I C

やま もと ゆう すけ かし お せい じ
山本 裕右 ・ 櫃尾 英次
た もと ゆう さく
田本 祐作

医療用画像を理解する為に必要な写真化学の基礎実験からエックス線フィルムの処理、センチメートルに至る実験を行う。

- (1) 写真化学基礎実験
(2) 一般写真概要実験
(3) エックス線フィルムの特性実験
(4) 感光材料のセンチメートル
(5) 画像処理
(6) 放射線管理に関すること

〔教科書〕宮川俊夫他『新版 放射線写真学』
(アドバンス出版) ¥4,800

〔参考書〕江頭元樹『放射線写真学』
(金原出版) ¥3,500

内田 他『放射線画像情報工学 I ・ II』
(通商産業研究社) ¥8,000 ・ ¥9,800

実験 I D

た じま たかし やま もと ゆう すけ
田島 隆 ・ 山本 裕右
はら だ かず まさ むろ た けん いち
原田 和正 ・ 室田 憲一

2, 3 年次の実験 II, III における化学分野の基礎となる操作法を修得することを目的とした実験を行う。ここでは個々の知識を学ぶことも必要であるが、科学者、技術者としての「ものの考え方」を身につけて貰うことが重要である。

1. 重量測定, ガラス 細工 6. 酸化還元滴定
2. 分子模型 7. pH の測定
3. 無機化合物の合成 8. 比色分析
4. 薄層加マシグラー 9. イオン交換樹脂
5. 中和滴定
〔教科書〕プリント使用。

計算機言語概論

すぎ た とおる
杉 田 徹

高度情報化社会と呼ばれる二十一世紀の基盤技術のひとつにコンピュータが上げられる。その利用はあらゆる分野で急速に進められている。特に通信分野、医療関係の検査診断機器には、顕著なものがある。将来、診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基本知識は必要不可欠なものである。この講義ではパーソナルコンピュータの高級言語である BASIC を中心に、アルゴリズム的発想の習得とその活用を目標に授業を進める。講義は次のテーマで行う。

1. コンピュータ言語の基本理論
 2. BASIC 言語
 3. パーソナルコンピュータ (PC-9801) による実習
- 〔教科書〕コンピュータ教育工学研究所編
ガイドブック『BASIC』
(サイエンス社) ¥1,854

医学概論

ほん ま じゅう
本 間 裏

医学とは何か。正しい医療はどうあるべきか。病気と人間のかかわり。診断・治療・予防について学ぶ。

〔参考書〕①日野原重明著『医学概論』(医学書院)
¥1,200

②日本救急医学会救急法教育委員会編
『図説 救急安全教本』(大修館書店)
¥500

臨床医学概論

ほん ま じゅう
本 間 裏

診療放射線技師がわきまえておく必要のある診断と治療に関する知識の修得を目的としている。

〔参考書〕玉木正男・林 文字共著『臨床医学概論』
(名古屋大学出版会) ¥3,500

放射線生物学

やま ぐち ひこ ゆき
山 口 彦 之

放射線の生物に及ぼす作用は、放射線のもつ物理的特性と放射線に対する生物の特性によって生ずる。つぎのような内容で講義する。

- (1) 生体高分子の放射線化学反応
- (2) 細胞小器官に対する作用

- (3) 突然変異の誘発
- (4) 細胞に対する作用
- (5) 放射線感受性
- (6) 生体に対する作用
- (7) 放射線の防護

なお、該当する国家試験科目は「放射線生物学」である。

生化学

た しま はかし
田 島 隆

病理・生理学、放射線治療への橋渡しとなることを目的とするが、時間の都合上物質論を省略し、代謝を中心に動的な面を重視する。

1. 生命現象（生体、生命、細胞、統一説と進化論）
2. 解媒作用（酸素の本体とその作用機構）
3. 生体成分（タンパク、炭水化物、脂質）
4. 代謝（異化作用と同化作用）
5. エネルギー（ATPとエネルギー変化）
6. 情報伝達（核酸、タンパク合成、遺伝暗号）
7. 調節機構（遺伝、神経、ホルモン・酵素の調節）
8. 今後の課題（分化、老化、脳、癌）

〔教科書〕宿谷・須賀著『入門生化学』
（東京教学社）¥1,751

〔参考書〕入野他著『パラメディカルの生化学』
（三共出版）¥2,800

病理学

ほん ま じょう
本 間 襄

専門職に必要な病理学を学ぶ。

〔参考書〕中村・坂本編『系統看護学講座・病理学』
（医学書院）¥1,700

応用数学

し みづ ただ よし
清 水 忠 良

微分積分学の応用として、以下の項目について、具体例を中心に学ぶ。

1. 関数の級数展開
2. 一階微分方程式の解法
3. 二階微分方程式の解法
4. ベクトル解析

〔教科書〕矢野・石原・共著『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

放射線物理学Ⅱ

おお き きよし
青 木 清

放射線物理学Ⅰを基礎とし、主として放射能に関する講義を行う。

- (1) 原子核の性質（結合エネルギー、核模型）
- (2) 原子核壊変（ α ・ β 壊変、 γ 線放射）
- (3) 核反応（Q値、しきい値、複合核）
- (4) 中性子（発生、物質との相互作用）
- (5) 原子炉（核分裂、連鎖反応）
- (6) 素粒子

〔参考書〕田島英三著『原子核物理概論』
（地人書館）

放射化学

やま ほん ゆう すけ
山 本 裕 右

本講義においては、すでに1年で学んだ放射化学序論および放射線物理学Ⅰ、さらに2年で並行して学ぶ放射線物理学Ⅱで得た化学的、物理的知識を基に、RⅠの化学について学ぶ。

- (1)放射核種 (2)放射平衡 (3)RⅠの製造
- (4)RⅠの分離、精製 (5)放射能を利用する分析法
- (6)標識化合物

〔参考書〕日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）¥1,133

電子工学

すぎ た とおる
杉 田 徹

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基盤技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い、講義を進める。基本的な知識の習得を心掛けて欲しい。

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

〔教科書〕宇佐美 晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』（日本理工出版会）
¥2,500

放射線機器工学Ⅱ

たけ ぬか えい じ
武 中 英 治

診断用X線装置の動作理論とその特性などについて学ぶ。

1. 総論 2. 診断用X線管 3. 単相全波整流式X線発生装置 4. 三相全波整流式X線発生装置 5. コンデンサ式X線発生装置 6. 自己整流式X線発生装置 7. インバータ式X線発生装置 8. X線映像装置

なお、随時演習を行う。

〔教科書〕青柳泰司著『放射線機器工学（Ⅰ）』（コロナ社）

放射線機器工学Ⅲ

かし お えい じ
櫃 尾 英 次

加速器は原子核物理学の研究のほか医療分野でも多く使われている。特に線形電子加速器は、放射線治療で重要な役割を担っている。この講義では、荷電粒子やX線を発生させる種々の加速器について、その動作原理、特長および性能について述べる。線形電子加速器については、治療に関する基礎的な知識が習得できるように講述する。

〔参考書〕熊谷寛夫編『実験物理学講座28 加速器』（共立出版）

エックス線撮影技術学Ⅱ

ふる や よし ろう
古 屋 儀 郎

医療の中での医療画像位置づけは重要である。そこでこれら医用画像形成について学ぶ。この分野は多くの学問の上に立脚しており、とくに解剖学、生理学、X線解剖学、体表解剖学、機器工学、画像工学が重要な因子となっている。これらを総合的に学ぶ。

〔教科書〕立入 弘著『診療放射線技術』上巻（南江堂）¥6,800

〔参考書〕江副正輔（他）『X線撮影技術学』（南山堂）¥3,600

山下（他）『放射線検査学・X線』（通商産業研究社）¥13,500

蜂屋順一『放射線と看護』（文光堂）¥1,600

多田信平『X線解剖学図譜』（マグプロス）¥12,000

放射線計測学

こ やま まさ き
小 山 正 希

およそ次の項目に関する講義を行う。

(1) 電離箱の動作原理、その種類と計測法。

(2) 吸収線量の計測原理とその方法。

(3) 計数管の種類と計測法。

(4) 半導体検出器の原理と応用。

(5) 線量計の種類と応用。

(6) 測定用電子回路の基本機能。

(7) シンチレーション型検出器の種類と計測法。

(8) 波高分析の原理と応用。

(9) 組織照射に関する基本関数。

〔参考書〕ブライス著『放射線計測学』（コロナ社）

関係法規

あらい い た まる
油 井 多 丸

診療放射線技師は放射線・ラジオアイソトープに関係する法体系を知り、技師の法的な立場を熟知していなければならない。

関係法規とは医療法、技師法、電離則（労働法）、人事院規則、放射線障害防止法などである。

法律の講義は、とかく無味乾燥になりがちである。できるだけ自然に必要な諸項目を諸君の身につけられるように心掛けたい。

国家試験該当科目は「放射線管理学」である。

〔教科書〕日本アイソトープ協会編『アイソトープ法令集1』（丸善）¥2,060

〔参考書〕同協会編『アイソトープ法令集2及び3』、『アイソトープ手帳』¥1,200

実験Ⅱ A

さき とく いち あ べ さとし
榎 徳 市 ・ 阿 部 敏
かね や しん いち ふる や よし ろう
金 谷 信 一 ・ 古 屋 儀 郎

X線撮影技術学の実験で、人体ファントムを用いた身体各部位のX線撮影法と、使用感材系の選定法、被爆軽減の方法、及びX線CT検査法での基礎的技術内容につき実験を行う。実験でのX線画像、CT画像は画像評価を行いデータ等を整理し、実験結果をまとめて報告書を提出する。報告書については内容を検討して試問を実施し評価をする。

〔教科書〕立入 弘著『診療放射線技術』〔上巻〕（南江堂）¥6,800

〔参考書〕山下他著『放射線検査学（X線）』
 （通商産業研究社）¥14,000
 江副他『X線撮影技術学』（南山堂）
 ¥4,120

実験ⅡB

こ やま まさ き たけ なか えい じ
 小 山 正 希 ・ 武 中 英 治
 さ どう まさ のり なか もと じゅん
 佐 藤 昌 憲 ・ 中 本 淳

主として放射線の測定に関する実験を行う。

- (1) 制動X線の実効エネルギーの決定。
 連続エネルギースペクトルである制動X線を実効的に代表する単一のエネルギー値に置き換える。
- (2) 2次電子平衡に達する物質の厚み決定。
⁶⁰Co線源によって電離箱の壁厚における2次電子平衡厚さを決定する。吸収線量率，照射線量率との係わりを知る。
- (3) GM計数管の基礎特性
 分解時間と弁別レベル，ダブルパルス分解能，プラトーの意味，印加電圧と有効体積，計数の統計など。
- (4) 外挿電離箱による吸収線量の測定。

〔教科書〕実験プリント

〔参考書〕プライス著『放射線計測学』（コロナ社）

実験ⅡC

すぎ た とおる あお き きよし
 杉 田 徹 ・ 青 木 清
 き むら のぶる かわ ぞえ まもる
 木 村 登 ・ 川 副 護

下記の項目について実験を行う。

- (1) 真空管（三極真空管の静特性）
- (2) 半導体素子（ダイオード，トランジスタ，サイリスタの代表的特性）
- (3) 集積回路（オペアンプとデジタル素子）
- (4) パルス波形の観測（シンクロスコープによる観測）
- (5) 波形変形回路（微，積分回路，ダイオードクリッパー）
- (6) 波形整形回路（シュミット・トリガー回路の特性）
- (7) パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅰ）
- (8) パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅱ）

〔教科書〕『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）』〔第四版〕

実験ⅡD

すぎ た とおる あお き きよし
 杉 田 徹 ・ 青 木 清
 き むら のぶる よし だ まさ ひろ
 木 村 登 ・ 吉 田 正 廣

下記の項目について実験を行う。

- (1) コンデンサーの充放電特性
 - (2) 直，並列共振（共振現象の基礎知識を得る）
 - (3) 交流ブリッジ（インダクタンス，キャパシタンス）
 - (4) R-C回路（インピーダンスとベクトル）
 - (5) 整流回路（整流と平滑，定電圧回路）
 - (6) 変圧器（電磁誘導，巻数比と電圧比）
 - (7) 三相12ピーク整流回路（多相整流）
 - (8) 高電圧発生回路（倍電圧，コッククロフト回路）
- 〔教科書〕『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）』〔第四版〕

実験ⅡE

たけ なか えい じ かし お えい じ
 武 中 英 治 ・ 檀 尾 英 次
 やま ぐち ひし ゆき ふき とし ひこ
 山 口 彦 之 ・ 蔭 利 彦

放射線機器工学で履修する理論について，実験を通じて理解させることに主眼を置き，併せて各種装置の取扱法を習熟させることを目的としている。

1. X線管焦点の測定
2. 断層撮影装置の特性
3. 限時装置の特性
4. 単相全波整流装置の特性
5. 三相全波整流装置の特性

〔教科書〕プリント

〔参考書〕『JISハンドブック，放射線（能）』（日本規格協会）

臨床放射線特論Ⅰ

ほん ま じょう
 本 間 襄

医療の中で，診療録・依頼箋の内容を理解し，相互のコミュニケーションに欠かせない外来医学用語の初歩的知識の修得を目的とする。

他学部履修では，将来病院や医学関係に従事する人に必要な知識である。

〔教科書〕定めず

臨床放射線特論 I

やま ぐち ひこ ゆき
山 口 彦 之

診療放射線技師として必要な医学，生物学領域における英語用語について系統的に講述する。とくに語形要素である接頭（尾）語や造語形の習熟によって言葉が理解できるようにしたい。

病院実習 I

さかき とく いち
榊 徳 市

1. 病院実習についての心構え。
2. 撮影装置，機器の予備知識。
3. X線撮影法の予備知識。
4. 患者の心理について。
5. 放射線技師としての患者接遇法。
6. 実習手続き。
7. 実習記録について。
8. 実習病院の決定。

〔教科書〕『病院実習要項』

放射線医学概論

ほん ま じょう
本 間 襄

基礎医学（解剖学・生理学・病理学など）の復習と，実技との関連について学習する。

〔参考書〕加藤征治著『解剖学の要点』（金芳堂）

¥3,800

自動制御工学

あお き きよし
青 木 清

自動制御の基礎的な理論を解説する。内容は下記の通りである。

1. 自動制御の概要
2. フィードバック制御
 - (1) 基本的構成
 - (2) 伝達関数とブロック線図
 - (3) 動作特性（過度特性，定常特性）
 - (4) 周波数応答（ベクトル軌跡，ボード線図）
 - (5) 安定判別
3. シーケンス制御
 - (1) 基本素子と論理図
 - (2) 基本回路

〔参考書〕柳瀬晴海著『自動制御の入門』

（東京電機大学出版局）¥550

放射線機器工学IV

こ やま まさ き
小 山 正 希

主として次の項目について学ぶ。

1. 中性子検出器の原理と計測法
2. 電子線検出器の原理と計測法
3. 個人被曝線量計の原理と応用
4. 計数の統計について

〔参考書〕プライス著『放射線計測学』（コロナ社）

画像工学 I

かし お えい じ
樫 尾 英 次

最近のIC技術の進歩はめざましく，小型で大容量，高速のコンピュータがさまざまな分野で使われている。医学の分野でも，X線CT装置やMRI装置などの画像処理技術を利用した装置は，臨床診断に不可欠なものとなりつつある。

本講義においては，画像工学の基礎の習得に重点をおき，画像情報の特徴，視覚の特性，画像の表示および画像の変換について述べる。

〔教科書〕安居院猛・中嶋正之共著『画像工学の基礎』

（昭晃堂）¥2,900

〔参考書〕長谷川伸著『画像工学』（コロナ社）

¥2,000

放射性同位元素検査技術学

さかき とく いち
榊 徳 市

放射線医学の一部門である核医学の検査技術学である。非密封の放射性同位元素（RI）の医学的利用であり，生体内の各種の生理・生化学的過程に対応し，RI標識化合物を，物理的，化学的，生化学的トレーサとして多用している。これらのRIを直接体内に投与して対外より測定するin vivo検査法と，生体外で試料中の微量成分の分析にRIを応用するin vitro検査法があり，さらにRIによる治療も含め，核医学に関する必要な生体の生理，代謝機能，病態および検査技術，情報処理技術などについて講述する。

〔教科書〕『核医学検査技術（インビボ編）』

（通商産業研究社）¥5,000

『核医学検査技術（インビトロ編）』

（通商産業研究社）¥5,000

〔参考書〕木下文雄，久保敦司著『核医学ノート』

（金原出版株式会社）¥3,800

放射線治療技術学

たか やま まこと
高 山 誠

前半では放射線治療の計画と実技、線量分布と照射法や密封小線源治療等の総論的項目について考える。また後半では、各疾患別の放射線治療について各論的項目を検討していきたいと思う。

〔教科書〕村上晃一著『放射線治療技術』¥2,060
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻
改訂第5版 ¥5,800

放射線管理学

あらい い た まる
油 井 多 丸

放射線管理学は安全取り扱いの学問である。核物理・化学、生物学及び工学など技術的分野と法律や対人関係を包括する社会科学的分野など、広範囲にわたる知識とその応用が要求される。

幸い診療放射線技師として、そのほとんどの分野の知識を講義で受けている。あとはその応用方法を会得することにあり、まとめを主眼とする。

ICRP勧告の理念から、放射線防護の原則、環境管理と個人管理、防護基準、環境・個人モニタリング、放射性廃棄物の処理、放射線事故と対策及び放射線管理の組織などについて述べる。

国家試験該当科目は「放射線管理学」である。

〔教科書〕辻本 忠/草間朋子著『放射線防護の基礎』第2版(日刊工業)¥2,800

〔参考書〕『障害防止法令集1』(前期使用)
『アイソトープ手帳』(丸善)

放射線学演習

すぎ た とおる
杉 田 徹

診療放射線技師教育の全般にわたる復習及び演習を行う。

〔教科書〕『診療放射線技師国家試験対策全科(第5版)』(金芳堂)¥8,500

実験 III A

こ やま まさ き さ とう まさ のり
小 山 正 希 ・ 佐 藤 昌 憲
は ぶ たけし
羽 生 毅

放射能の測定を中心とする。
テーマに関連する重要事項(例えば註)も取扱う。

- (1) 深部線量百分率の測定。(吸収線量測定概念)
- (2) シングル及びマルチチャンネル波高分析器による γ 線の測定。(パルス波高分析法の実際)
- (3) 半導体検出器による α 線の測定。
- (4) 同時計数回路によるサムピークの測定。
- (5) GM計数管による壊変率の測定。

- 註) ① 組織照射に関する諸関数。
② 各回路の動特性(パルス波形整形, など)
③ 半導体検出器の静, 動特性。
④ パルス計測システムの構成法。

〔教科書〕・実験プリント

・日本医学放射線学会物理部会編

『吸収線量の標準測定法』(通商産業研究社)¥2,100

実験 III B

あお き きよしすぎ た とおる
青 木 清 ・ 杉 田 徹
なが い よし のり
永 井 喜 則

自動制御に関する基礎的実験および放射線機器で使用されている制御機構についての実験を行う。

- (1) フィードバック制御(応答特性, 安定判別, 自動電圧調整)
- (2) シーケンス制御(論理動作, タイマー)
- (3) コンピュータ制御(入出力装置, A-D変換)

〔教科書〕『実験書(ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB)』〔第三版〕¥2,300

実験 III C

やま ほと ゆう すけ た じま たかし
山 本 裕 右 ・ 田 島 隆
やま ぐち ひこ ゆき おお た だ ちか
山 口 彦 之 ・ 大 田 忠 親

診断用放射性同位体として、現在最も広く使われている ^{99m}Tc のミルクングを行う。本実験では ^{99}Mo を原子炉で照射し、生成した ^{99}Mo から生じる娘核種である ^{99m}Tc を化学的に分離し、 γ 線スペクトルおよび半減期を測定する。また、これらの操作を通し、非密封放射性物質を取扱う上での注意を体得してもらう。放射性同位体は医学、化学、生物などの研究において極めて有用なものであると同時に危険なものでもある。従って、事前に実験操作を十分理解しておくと同時に、取扱う放射性同位体の性質を十分調べておく必要がある。

なお本実験のhot runは校外実習として行う。

実験Ⅲ D

さかき とく いち かし お えい じ
 榊 徳市・榎尾英次
 こ はやし ひさ お
 小林久夫

以下のテーマについて実験を行う。

1. 甲状腺ヨード摂取率法
2. 超音波検査法
3. 同時計数法による吸収計数の測定
4. ポジトロンエミッションCT
5. ガンマカメラ性能評価
6. データ処理法

〔参考書〕厚生省薬務局審査課編『放射性医薬品基準
 ハンドブック』（日本アイソトープ協会）
 ¥3,296

応用計測学

かし お えい じ
 榎 尾 英 次

医用画像診断装置は、コンピュータ技術の進歩と共に診断には不可欠なものとなってきた。この講義では、核医学機器（ガンマカメラ、シングルホトンECT、ポジトロンCT）、X線CT装置、MRI装置のハードウェアとソフトウェアについて概説する。また超音波診断装置、DSA、CRならびにPACSについても、その概要を講述する。

〔参考書〕岩井喜典他 編著『医用画像診断装置』（コロナ社）

化学特論

やま もと ゆう けい
 山 本 裕 右

核医学で最もよく用いられているテクネチウムを中心に、キセノン、クリプトン、ガリウム、タリウム、ヨウ素等の元素の化学、および、それらの放射性核種の核的性質、製法について講義する。

画像工学Ⅱ

かし お えい じ
 榎 尾 英 次

画像工学Ⅰで習得した知識を基に、画像の解析、画像の認識および画像情報機器についても講述する。また、コンピュータトモグラフィ（CT）とMRIイメージングの画像処理技術について習得を図る。

〔教科書〕安居院猛・中嶋正之共著『画像工学の基礎』（昭晃堂）¥2,900

放射線学特論

やま ぐち ひこ ゆき
 山 口 彦 之

放射線防護の概念、放射線防護に必要な物理的・生物学的基礎、超音波および核磁気共鳴の影響、医療における患者の被曝、患者防護の方法、医療従事者の職業上の被曝と防護などについて述べ、医療における放射線防護を実践する上で要求される知識を整理する。

〔教科書〕日本医学放射線学会・日本アイソトープ協会編『放射線診療における被曝の管理』（丸善）¥2,350

放射線学特別演習

あお き きよし
 青 木 清

診断用エックス線およびその散乱線の線量と線質について、線量計や半導体検出器を用いた測定と、パソコンによるシミュレーションを行う。また、その結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求める。

放射線学特別演習

かし お えい じ
 榎 尾 英 次

ニューロコンピュータは種々の分野で研究されているが、パソコンを利用してシミュレーションを行う。ニューロプログラムにより、手書きの文字や数字を認識する基礎的な研究を行う。

放射線学特別演習

さかき とく いち
 榊 徳 市

放射線検査技術学に関する分野での臨床的な基礎テーマを選び、実験を実施し、その内容を検討しまとめて発表できるようにする。

〔教科書〕『核医学検査技術（インビホ編）』（通商産業研究社）¥5,000
 『核医学検査技術（インビトロ編）』（通商産業研究社）¥5,000
 『放射線検査学』（通商産業研究社）¥14,000

放射線学特別演習

さ　　とう　　まさ　　のり
佐　　藤　　昌　　憲

電離箱による放射線計測，画像処理，レーザー工学分野におけるテーマで研究を行い，研究発表ができるように指導する。

放射線学特別演習

し　　みづ　　ただ　　よし
清　　水　　忠　　良

パソコンを用いて量子力学の入門を学ぶ。

放射線学特別演習

やま　　もと　　ゆう　　すけ
山　　本　　裕　　右

従来の写真フィルムとは異なる，X線画像形成用イメージングプレートの材料となる新しい発光体の開発，およびその諸特性の検討を行う。

病院実習Ⅱ

さかき　　とく　　いち
榎　　徳　　市

1. 病院実習についての心構え。
2. 核医学実習の予備知識。
3. 治療実習の予備知識。
4. 患者の心理について。
5. 放射線技師としての患者接遇法。
6. 実習手続き。
7. 実習記録について。
8. 実習病院の決定。

〔教科書〕『病院実習要項』

他学部履修科目

(全学部・短大共通)

※他学部科目の講義内容が掲載されているが，受講できる科目は各学部・短大によって異なっている。（履修についての詳細は，「他学部科目の履修方法」を参照すること。）

目 次

禅学特講 I (原田 弘道)	1	アメリカ経済論 (瀬戸岡 紘)	12
禅学特講 II (永井 政之)	1	財務会計論 (遠藤 孝)	13
禅学特講 III (石井 修道)	1	管理会計論 (中原 章吉)	14
禅学特講 IV (鈴木 格禅)	1	会計監査論 (飯岡 透)	15
禅学思想史 (峰岸 孝哉)	1	商業政策 (岩下 弘)	15
哲学史 (中村 友太郎)	1	貿易論 (古沢 紘造)	16
インド仏教史 (田上 太秀)	2	マーケティング (曾我 信孝)	16
中国仏教史 (岡部 和雄)	2	労務管理論 (石井 脩二)	17
日本仏教史 (石川 力山)	2	経営管理論 (百田 義治)	18
日用經典 (皆川 広義)	2	行政法 II (斎藤 寿)	19
仏教美術 (中島 亮一)	2	民法Ⅳ (1) (叶 和夫)	19
現代哲学概説 (山口 祐弘)	2	民法Ⅳ (2) (叶 和夫)	19
上代文学 (小野 寛)	3	比較憲法 (竹花 光範)	20
中世文学 (水原 一)	3	経済法 (川井 克俊)	20
近世文学 (富士 昭雄)	3	地方自治法 (梅木 崇)	20
近代文学 (高田 知波)	3	国際関係論 (首藤 素子)	20
中国文学 (中村 璋八)	3	西洋政治史 (浦田 早苗)	20
英文学特講 I (石原 孝哉)	3	宣伝広告論 (上條 末夫)	21
英文学特講 II (高野 正夫)	3	政党論 (早川 純貴)	21
英文学特講 III (岡崎 寿一郎)	3	保険経営論 (石名坂 邦昭)	21
英文学特講 IV (中岡 洋)	4	財務会計論 (渡邊 恵一郎)	21
英文学特講 V (高松 雄一)	4	税務会計論 (高木 克己)	22
英文学特講 VI (丸小 哲雄)	4	商業史 (山田 勝)	22
英米演劇特講 (落合 和昭)	4	経営情報論 (高井 徹雄)	22
米文学特講 I (東 雄一郎)	4	情報理論 (西村 和夫)	23
米文学特講 III (原川 恭一)	4	国文講読 I (上代) (佐原 作美)	23
時事英語 (坂本 武)	4	国文講読 II (中古) (鈴木 裕子)	23
地形学 I (小池 一之)	5	国文講読 III (中世) (蘭部 幹生)	23
地質学 (貝塚 爽平)	5	国文講読 IV (近世) (清田 啓子)	23
人口地理学 (土谷 敏治)	5	国文講読 V (近・現代) (大室 英爾)	24
応用地理学 I (高木 正博)	5	国文講読 V (近・現代) (笹瀬 王子)	24
文化地理学 (茭口 善美)	5	国文特講 V (近・現代) (笹瀬 王子)	24
日本史特講 VII (近代) (佐藤 元英)	5	英文タイプライティング II (湯浅 陽子)	24
東洋史特講 X (近・現代) (安藤 正士)	5	時事英語 (岡本 誠)	24
西洋文化史 I (佐々木 真)	6	英語演習 I (岡本 誠)	24
歴史哲学 (麻生 建)	6	計算機言語概論 (杉田 徹)	24
哲学史 (丸山 豊樹)	6	臨床放射線特論 I (本間 襄)	25
日本民俗学 (谷口 貢)	6	応用計測学 (樞尾 英次)	25
マスコミュニケーション (川本 勝)	6		
産業社会学 (安藤 喜久雄)	6		
都市社会学 (江上 涉)	6		
社会福祉発達史 (林 千代)	7		
ロシア・東欧経済論 (山縣 弘志)	7		
社会政策 (光岡 博美)	8		
国民所得論 (吉野 紀)	8		
中国経済論 (小杉 修二)	9		
アジア経済論 (小林 英夫)	10		
日本経済史 (古庄 正)	10		
中小企業論 (三井 逸友)	11		
教育経済論 (谷敷 正光)	12		

他 学 部 履 修 科 目

禅学特講 I

はら だ ひろ みち
原 田 弘 道

禅宗と公案

公案は禅宗における經典観と深いかわりをもつ。そこで公案の成立とその歴史的展開を通し、その意義と機能について考察する。

(1)公案の起源と歴史、看話禅の成立 (2)曹洞宗と公案 (3)公案の諸相、公案の意義と機能。以上の順序で講義を進める。

禅学特講 II

なが い まさ し
永 井 政 之

8～9世紀、中国の禅宗は歴史的にも思想的にも一つの頂点を迎える。このことを一般には「仏教が中国に広まった」と評する。しかし中国人の誰もが「仏教」を十全に理解しえたわけではない。この授業では、中国禅の思想を原資料によって確認しつつ、中国の民衆が「仏教」をどのように理解していったかを考えることとする。

〔教科書〕必要に応じてコピーを配布する。

〔参考書〕随時指示する。

禅学特講 III

いし い しゅう どう
石 井 修 道

平成6年度につづいて『大慧書』を読む。大慧宗杲は看話禅の大成者である。その後の禅思想に大きな影響を与えた大慧の看話禅の性格は、『大慧書』に最もよくあらわれている。書とは、手紙のことであり、大慧が居士に与えた手紙を中心としているので、主張は明瞭である。宋代禅の性格を知る入門書と言えるであろう。荒木見悟博士の訳注本もあるが、まず禅録になれる意味もふくめて和刻本をテキストにしたい。その折に和刻本の誤読についても言及したい。

〔参考書〕荒木見悟著『大慧書』

(筑摩書房) ¥3,500

石井修道著『禅語録』

(中央公論社) ¥5,200

禅学特講 IV

すず き かく ぜん
鈴 木 格 禅

『見聞宝永記』講読

本書は通常『損翁老人見聞宝永記』と呼ばれる。損翁老人とは、仙台の泰心院に住した損翁宗益(1649～1708)のことである。損翁は面山瑞方(1683～1769)の師であり、面山の宗教的人格形成に頗る影響を与えた古聖である。面山が損翁に随侍したのは約二年間程にすぎないが、その間における損翁の法益を集録したのが本書である。従って本書は、損翁における面山の「随聞記」といってよく、内容は多岐にわたるが、その根底には、現状にもなお光輝を放つ洞門の宗教的志操が、一貫して流れている。

本学年度は、前年度にひきつづき本書を講読し、学道の資助としたい。

〔教科書〕教員より配布する。

禅学思想史

みね ぎし こう さい
峰 岸 孝 哉

禅学思想史の範囲はもとより広く考えられるが、本年は日本禅、とりわけ永平道元(1200～53)の流れを汲む曹洞教団の展開に注目し、そこにみられる教学・思想の歴史的な性格を跡付けてみたい。

〔教科書〕『道元禅の歴史』〔講座道元II〕(春秋社)

〔参考書〕鈴木泰山著『禅宗の地方発展』

(吉川弘文館)

廣瀬良弘著『禅宗地方展開史の研究』

(吉川弘文館)

哲学史

なか むら ともた ろう
中 村 友 太 郎

西洋の思想と文化は、ヘレニズムとヘブライズム、ギリシア哲学と聖書的信仰の結合の上に形成されてきた。ここではとくにキリスト教的な中世哲学の形成とその展開をあとづけることを主眼としたい。それは、神・自然・人間をめぐる理性の立場と信仰の立場との対決・調和・抗争の思想史という様相を呈するであろう。なお前期にはその背景となるギリシア哲学史を簡

単に展望することから始めたい。
〔教科書〕開講時までに決定する。
〔参考書〕その都度指示する。

インド仏教史

た がみ たい しゅう
田 上 太 秀

インド哲学・宗教の歴史における仏教の位置づけ、インドにおける仏教の発生と展開、仏教思想の特徴、仏像の起源と展開・伝播などについて、幅広く講義する。

各時限ごとにプリントを配布し、さらに適時に参考書を紹介する。

中国仏教史

おか べ かず お
岡 部 和 雄

中国仏教の歴史を概観したい。漢字に翻訳されて展開した仏教の特異性を種々の観点から分析しようと思う。

〔参考書〕鎌田茂雄『中国仏教史』（岩波全書）
任継愈『定本中国仏教史』（柏書房）

日本仏教史

いし がわ りき ざん
石 川 力 山

日本における「仏教伝来の意義」といった課題を軸にして、日本に仏教が伝来した当初からの歴史を辿りつつ、日本思想史・宗教史上において果たしてきた仏教の役割を明らかにしたい。特に、中世における鎌倉新仏教の成立は、急速に仏教が社会のすみずみにまで浸透する契機となり、それにともない、さまざまな社会問題にも関与することになって、正・負の両面に機能を果たすことになった。この授業では、仏教思想の流れとともに、こうした社会的機能の側面についても、あわせて検討していきたい。

〔参考文献〕辻 善之助『日本仏教史』
（全10巻、岩波新書刊）
家永三郎・圭室諦成・赤松俊秀監修
『日本仏教史〈古代篇〉〈中世篇〉〈近世・近代篇〉』（全3巻、法蔵館刊）
川岸宏教・速見侑等篇『論集・日本仏教史』（全11巻、雄山閣出版刊）

日用経典

みな がわ ひろ よし
皆 川 広 義

わが国における日用の経典について、解説し、その平易な解釈をする。

この講義でとりあげる経典は、般若心経、法華経（寿量品、普門品）、修証義、大悲心陀羅尼などである。また、偈文・回向文などについても解釈したい。

これらの経典は、日本人の精神形成に大きな影響をあたえたものであり、その仏教経典としての正しい理解に心がけたい。

〔教科書〕テキスト プリント配布。

仏教美術

なか じま りょう いち
中 島 亮 一

前期では仏教美術のルーツをインドに求め、その誕生の経緯と東漸のあとをたどり、その図像学的な解釈と信仰思想との関係、仏陀の伝記などを考察する。

後期は中国・朝鮮を経た仏教美術が、日本伝来後変容していく姿を、信仰思想の変遷とあわせて観察する。（スライド併用）

〔教科書〕佐和隆研編『佛像案内』
（吉川弘文館）¥1,900

〔参考書〕その都度指示する。

現代哲学概説

やま ぐち まさ ひろ
山 口 祐 弘

科学技術を柱とする文明の進展は様々な問題を提起している。これらは、人間とは何か、生きることの意味は何かという根本的な疑問に発展することがある。現代の哲学はこれらの問題を回避するわけにはゆかない。本講はまず、20世紀に起きた現実的な出来事を取り上げ、そこに示された人間の苦悩と行動、更には人間性の変貌を具体的に抽出しつつ、人間の真相に迫り、その中にある思想的課題を抽出する。次に、これらを西洋哲学に限定することなく広く思想史に照らして捉え返し、現代に生きるための哲学的態度を追求する。

〔教科書〕山口祐弘『近代知の返照』
（学陽書房）¥3,800

〔参考書〕M. ホルクハイマー『理性の腐蝕』
（せりか書房）¥2,000

上代文学

おのひろし
小野寛

『万葉集』をよむ。これは古代の日本人の心をよむことであり、古代の歴史をよむことである。『万葉集』をよむにあたって、一首一首、諸本の本文の異同をたずね、その訓みを明らかにし、上代語およびその独自の語法をしらべ、作者の心をさぐり、その作品の背景となる歴史・風土・民俗などについても詳細にしらべながらよんでいく。毎年新しいテーマでよむ。

〔教科書〕小野 寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

中世文学

みずはら はじめ
水原一

『とはずがたり』（後深草院二条の日記）を読み、題材となった作者の生涯・運命・人間関係について考察し、日記文学としての特色について考えてみたい。

〔教科書〕富倉徳次郎『とはずがたり』（筑摩書房）

近世文学

ふじあき お
富士昭雄

『去来抄』の講読を通して、芭蕉の俳論を考察する。
〔教科書〕プリント（実費）

近代文学

たかだち なみ
高田知波

樋口一葉の代表的な作品を取りあげて精読する。幸田弘子氏による朗読テープも活用する。

〔教科書〕樋口一葉『にぎりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

中国文学

なかむら しょう はち
中村璋八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの

方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕『五行大義』（明徳出版）¥2,300

英文学特講Ⅰ

いし はら こう さい
石原孝哉

ルネッサンス期の英文学について講じる。中世のたそがれから近世の夜明けへの過渡期の文学を、過去と未来の両方に開かれたものとしてとらえ、文化のさまざまな方面から論じる。とりあげる作家はThomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeare, John Miltonを予定している。殊に Shakespeareは代表的な10作品を選んで詳しく講じる。意欲的な学生の受講を望む。

〔教科書〕『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』（三修社）¥3,800

英文学特講Ⅱ

たかの まさ お
高野正夫

イギリス・ロマン派の詩人、ワーズワス、キーツ、ブレイクなどの詩を中心に読んでいく予定です。

〔教科書〕教場にて指示する。

英文学特講Ⅲ

おか ざき としいちろう
岡崎寿一郎

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく現代という言葉を理解することはむづかしい。この認識の方法によって、十九・二十世紀の英詩について、その現代的意味を確認したい。具体的には、十九世紀ロマン派の詩人たち、テニスン、M.アーノルドの詩の検証を経て、ハーディ、イェイツ、D.H.ロレンス、さらに、エズラ・パウンド、T.S.エリオット以後の現代詩（モダニズム）について論究する。

〔教科書〕教場にて指示。

〔参考書〕教場にて指示。

英文学特講 IV

なか おか ひろし
中 岡 洋

イギリス小説の代表的傑作 *Jane Eyre* や *Wuthering Heights* を残した Bronte sisters について、彼女たちの文学史的位相を見定め、彼女たちの生涯と芸術について詳述する。

〔教科書〕教場にて指示する。

英文学特講 V

なか まつ ゆう いち
高 松 雄 一

20世紀イギリスのモダニズム文学の種々相を考察する。世紀末の唯美主義批評、イェイツ、イマジズム、エリオット、ジョイスらの作品や批評を取りあげて、モダニズム文学運動の意味を考えたい。

〔教科書〕必要があれば開講時に指示する。

英文学特講 VI

まる こ てっ お
丸 小 哲 雄

文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題へ発展させながら、向側に作家・作品を位置づけ、こちら側に読者の経験を豊かに高めることとなります。前期ではそのための有効な方法として伝統批評、ロシア・フォルマリズム；ニュー・クリチズム、精神分析批評、受容理論（読者の立場）、構造主義、記号論、ポスト構造主義などの批評的考え方を講義します。後期では、作品の読み方と研究の仕方を修得するためにテキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することとなります。

〔教科書〕The 20th Literary Criticism (Longman) 読書のためのプリント・リスト、および適宜必要に応じてプリントを配布します。

英米演劇特講

おち みい かず おき
落 合 和 昭

19世紀から現代までの演劇史に見られる主義（～ism）をその劇場史とともに、追いながら、重要な出来事、用語などの説明をする。

また、講義用のテキストとしては、図や写真が多く載っているアメリカの大学生用テキストを用いる。さらに、必要とあらば、英文の研究書などにも目を通し、多様な見方にも慣れる。

課題としては、講義の内容をまとめたレポートや他の英文（数冊のアメリカ大学生用テキストや研究書からのプリント）の要旨をまとめたレポートを十数回（一回につき四百字の原稿用紙2～3枚程度）ほど提出してもらう。

米文学特講 I

あけま ゆういちろう
東 雄一郎

19世紀のアメリカン・ルネッサンスから、20世紀初頭のモダニズム、そして現在のポストモダニズムに到るまで、アメリカの詩に関し、具体的な作品を味読しながら、考えていく。

〔教科書〕新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）¥2,200

米文学特講 III

はら かわ きょう いち
原 川 恭 一

20世紀アメリカ文学の巨星 William Faulkner の作品世界を、代表的長篇小説 *The Sound and the Fury*, *Light in August*, *Absalom, Absalom!* の解説、および短篇小説 "A Rose for Emily", "Dry September" の精読を通じて覗いてみたい。なお、作品の背景となっているアメリカ南部の特異な歴史的状況の説明をも加えていく予定。教科書、参考書以外の講義資料はコピーして配布する。

〔教科書〕大橋健三郎編・注 *A Rose for Emily & Other Stories* (英宝社) ¥1,380

〔参考書〕大橋健三郎著『フォークナー — アメリカ文学、現代の神話』

(中央公論社〔中公新書〕) ¥720

時事英語

さか もと たけし
坂 本 武

放送英語、新聞英語その他時事面に関する英語について、テープ等も随時併用して講義する。また、時事文を多用しての英文文の作法についても採りあげ、「読み書き聴く」の三点を重視していきたい。別名、Living English と呼ばれる程「生き役立つ」英語の筈である。積極的に受講してほしい。

〔教科書〕教場にて指示する。

地形学 I

こ いけ かづ ひさ
小 池 一 之

地理学の基礎、地形学史から講義をはじめ、川・海の作る地形を中心に。地形事変が国の内外で起こったときは、出来るだけ、それらの解説も加える。講義は、プリント、スライド、ビデオを使ったわかりやすいものにした。 (内容は最先端の知見を含む)

〔教科書〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』

(東大出版会) ¥4,532

地質学

かい つか そう へい
貝 塚 爽 平

前期には関東・東海地方でみられる、地震・火山・地層・岩石・地質構造・地殻変動などを解説しつつ一般論に及ぶ。また、日本列島ないし地球規模でおこる地質現象 (たとえば大洋底の運動・造山運動・海面変動・気候変動・氷床の形成・サンゴ礁の形成) についても講ずる。後期には主として外国の地形・地質を一般論と交えて解説する。

人口地理学

つち たに とし はる
土 谷 敏 治

人口の分布とその変化・人口移動などの諸現象と都市構造・都市システムの関係について、研究方法やこれまでの研究成果を紹介する。

1. 人口統計と地域概念
2. 地域の人口構造とその記述法
3. 人口の分布と都市構造
4. 中心地論
5. 都市システムと人口移動

応用地理学 I

たか き まさ ひろ
高 木 正 博

河川と地域の関係を、利水・災害・自然環境などの視点から捉える。また、近年水環境に対する関心が高まっているが、その問題点について、地理学と他の研究分野を関連させてのべる。

〔参考書〕高橋 裕著『河川工学』(東大出版会)

中西準子著『水の環境戦略』(岩波新書)

文化地理学

こも ぐち よし み
菱 口 善 美

本講義では、まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史(詩)、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

日本史特講 VII (近代)

さ とう もと えい
佐 藤 元 英

明治初年より太平洋戦争までの外交史時期区分論を講ずる。

前期は幕末維新时期における列国の対日政策と日本の対応、明治初年の領土問題、条約改正、日清戦争、日露戦争、第一次対戦とパリ講和会議などについて論じ、外交主体の確立と近代主権国家系への参加から大陸膨張政策という対外路線を検討する。

後期は1920年代の国際関係と極東新秩序の模索、ワシントン体制と幣原外交及び田中外交、満州事変と国際的孤立化、国際体制の現状打破、日中戦争、太平洋戦争などについて論じ、国際協調から離脱していく世界新秩序の形成という対外路線を検討する。

〔参考書〕入江 昭『日本の外交』(中公新書)

池井 優『日本外交史概説』(慶応通信)

東洋史特講 X (近・現代)

あん どう まさ し
安 藤 正 士

前期に「西安事変研究」、後期に「文化大革命研究」をおこなう。

1. 西安事変研究

はじめに一問題の提起、①西安事変にかんするこれまでの研究、②1930年代の中国政治外交政策、③西安事変、④「三位一体」体制の崩壊、⑤国民党3中全会、おわりに

2. 文化大革命研究

はじめに一問題の提起、①毛沢東の神格化、文革の綱領、②奪権闘争の展開、③新しい社会のヴィジョンと現実、④対外関係、⑤林彪事件、⑥近代化論争、おわりに

〔参考書〕安藤正士・太田勝洪・辻康吾『文化大革命と現代中国』(岩波新書)1986

西洋文化史 I

さ さ き まこと
佐々木 真

今日、私たちがイメージする西洋文化とは、主に19世紀から20世紀にかけて、知識人たちの影響下で形成された、近代文化のことであろう。しかし、最近のヨーロッパ史研究では、前近代社会や民衆世界においては、今日と異なった文化が存在したことが指摘されている。本講義では、西洋の民衆文化を題材として、中世末から近代にかけての文化変容の問題を考えてみたい。具体的には、民衆の生活様式（人口動態、家族・労働形態、女性や子供の地位）や知の世界（読書行為、識字）、民衆の心性（価値規範、死生観）などを手がかりとして民衆の文化世界を考察する。教科書は特に指定せず、参考文献については必要に応じて授業時に紹介する。

歴史哲学

あ そう けん
麻生 建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で、歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を、「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは、今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが、そもそもは「他者理解」の問題、「歴史理解」の問題である。

〔教科書〕麻生 建『解釈学』（世界書院）¥2,500

哲学史

まる やま とよ き
丸 山 豊 樹

この講義「哲学史」の内容は「近世哲学史」である。しかし、近世哲学も古代および中世の哲学の発展・展開であるから、まず始めに古代・中世の哲学を概観した後で、近世哲学を論ずることにする。

「イギリス経験論」と「大陸合理論」によって、近世哲学の歴史は開始されるが、それはカントの「批判哲学」によって総合され、後さらに幾多の曲折を経て、現代の哲学に結実する。それらの哲学の特色を捕らえて、現代の哲学と科学との関連を考慮しながら講義を進めたい。

〔教科書〕国嶋一則編『西洋哲学の展開』
（公論社発行）

日本民俗学

たに ぐち みつぎ
谷 口 貢

民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・習慣の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにしたい。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

マスコミュニケーション

かわ もと まさる
川 本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察し、マス・コミュニケーションの特質、社会的機能、効果や影響などを検討する。

高度情報化社会といわれる現代、ニューメディアを含めて、マス・メディアが社会や人びとの社会生活とどのようななかかわりをもっているか、社会的に分析する。

〔参考書〕その都度指示する。

産業社会学

あん どう きく お
安 藤 喜久雄

産業社会学の主要領域 — 組織、企業経営と労働者生活および労働者意識、労使関係、労働組合、職業・産業と社会、などについて概観し、そこでの社会的諸問題が現代人にとってどのような意味をもっているか検討する予定である。

〔教科書〕安藤喜久雄他『産業社会学』
（学文社）¥2,500

都市社会学

え がみ わたる
江 上 渉

次の様な内容で講義を進める予定である。

1. 都市社会学の誕生

シカゴ学派の人間生態学から、都市社会学の誕生

へ（パーク、バージェス、ワースの所論を中心に）

2. 都市社会学の興隆

わが国における都市社会学の受容と発展（都市化論、都市類型論、都市分類研究、町内会論、生活構造論など）

3. 都市社会学の展開

70年代以降のコミュニティ研究を中心に、都市化社会から都市型社会への変動を分析する。

〔教科書〕特に使用しない

〔参考書〕その都度指示する

社会福祉発達史

はやし
林 ちよ
代

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕今岡 他編『社会福祉事業発達史』

（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕随時紹介

ロシア・東欧経済論

やま がた ひろ し
山 縣 弘 志

〈授業内容と目標〉

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、いかなる方向かはともかくとして移行過程にあるが、この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも他と区別される経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてそれはまぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義になりえたか否か自体が問われなければならないという認識が、同時代史によって求められている。社会主義であれ資本主義であれ、個別の体制は独特のあり方として捉えなければならない。その意味からも、ロシア革命による歴史の断絶か連続かの問題は、今日においては、後者に重点を置いた捉え方が妥当であるというこ

とが明らかになったのであるから、しからばロシア・東欧圏の歴史的連続性と独自性を何に求めるか、という問題も併せて探究していく必要がある。

社会主義論の原理的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制への認識が深まり、我々の時代の当面している課題が明らかになれば、自らの姿を鏡に映すという外国研究の基本的役割をいささかでも果たすことになるであろう。

〈授業予定〉

トピックスにコメントする機会が多いと思われるので、以下はあくまで予定と考えて頂きたい。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論の歴史
 - (2) マルクスの社会主義論
 - (3) ロシア革命のめざしたもののレーニン時代ー
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への根本的転換
 - (2) 工業化と農業集団化
 - (3) ソ連型「社会主義」の特質
 - (4) ソ連・東欧経済圏の形成
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立
 - (2) 「計画化」と「計画経済」の実態
 - (3) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の到達水準
 - (1) 経済構造の特質
 - (2) 軍事生産と工業生産力
 - (3) 工業技術の諸問題
 - (4) 農業政策と農業制度
 - (5) 農業生産力
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧社会の特質
 - (2) 市場経済化の諸問題ー何から何への移行かー

〈成績評価〉

本講義に限らず、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを求めたい。そのような観点で、成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行なう。

〔教科書・参考書〕

教科書はない。授業中にノートを取るの当然である。参考書は適宜指示する。

社会政策

みつ ねか ひろ み
光 岡 博 美

〈社会政策の内容〉

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する社会改良思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、当時ヨーロッパの後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から、社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提として、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は、政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題研究へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても、欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、日本の労働問題や労使関係の実態を分析し、労使関係をその実態に即して理解しようとする研究が大きな影響を及ぼしている。

〈本年度の講義内容〉

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会政策学の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史
- (4) 日本における労使関係の歴史
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代日本の社会政策と労働問題
- (7) 日本的労使関係の現実とその未来

上に述べた(1)~(7)の項目について、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介や解説、最近注目されている外国人労働者問題や女性労働問題などの時論、私が専門的に研究してきた問題なども、できるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

また、授業とは直接関連はないが、労働問題を考えるうえでも有益と思われるような名作(映画)を鑑賞する機会も準備してみたい。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。そして、

われわれにとっての“より良い”社会とはどのような社会であるのかといった事柄にも思いをめぐらしてみたい。

〈履修条件と成績評価〉

履修条件は特にないが、教場では私語を慎むこと。また必要に応じて、出欠の点検を行う場合もある。成績の評価基準や答案作成の注意は、年度末試験の2週間ほど前の授業で説明する。

〔教科書〕なし

〔参考書〕必要に応じて講義のなかで紹介する。

国民所得論

よし の おさむ
吉 野 紀

220万の法人企業、6,700万人の就業者、そして4,200万の世帯、これらの間でさまざまな生産活動や取引が営まれている。これに政府や海外取引を含めると、日本経済では正に無数といってよいほどの取引関係が日々結ばれていることになる。

これらの取引関係は複雑に入りこんでおり、その1つ1つを追跡すると、経済という森に歩み入って、森全体の状況についての認識に到達することが難しくなる。そこで、森の上に飛び上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。こうして、上空から眺めると複雑に入りこんだ諸取引はいくつかの類似した性質を共有するグループに分けられることに気付くであろう。このような諸活動の1年間の成果が、たとえば、日本経済の場合、国民総生産(GNP)460兆円に結実してゆくのである。

「国民所得論」はこのような視点に立脚した経済分析方法である。しばしば、マクロ(巨視的)分析とよばれる所以である。モデル・アナリシスと、現実に観察される日本経済との対応が常に心懸けられるであろう。

〈授業計画〉

「国民経済計算」……………5回

GNP, GDPなど、国民経済全体をとらえるための経済指標の理解と、さまざまな諸取引間の相互関係をとらえることが主題となる。

「平成5年日本経済の循環図」(配布資料)

西嶋・藤岡『国民経済計算の知識』(日経文庫)

「総需要、均衡産出量、均衡所得……………4回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に即して説明される。このテーマの終了後、練習問題が宿題として課される。解答と解説は授業中に示される。

中谷『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章「貨幣・利子率および同時均衡」……………8回

この段階で貨幣のはたす役割が導入され、前回までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の置かれている現況

との関わりが登場する機会も徐々に増えてゆくであろう。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題が宿題として課される。正解と解説は授業中に示す。

「金融政策、財政政策」…………… 4回

前回までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。ただし、金融政策、財政政策ともに、その効果という点では一律ではなく、機動的なポリシー・ミックスが望まれる、といった点にも触れなければならない。

『マクロ経済学(上)』ドーンブッシュ・フィッシャー(マグロウヒル)第4章

「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 4回

これまでに扱われてきたのは、財やサービスの取引と貨幣市場であったが、これに労働力市場が明示的に組み合わされる。

「最終講義」…………… 1回

平成7年日本経済の予想。

海外経済との関わりは、主に為替レートを中心にここで触れられる。

<成績評価>

期末試験…………… 85%

2回の練習問題の提出(2回とも提出することが条件)…………… 15%

なお、練習問題を教場で黒板に解答して見せてくれる学生諸君(年間15名前後)には、学生諸君全体の意見を反映しつつ別途配点することもありうる。

[教科書] 開講時に指示する。

中国経済論

こ ざ しゅう じ
小 杉 修 二

1. 現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6・4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

2. 前期授業のはじめに、キー・ワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

3. 2につづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)鄧小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまりに近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

4. 上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また、中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点を相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

5. 授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ(1-201または1-301教室)上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

6. 受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受け入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

7. 学習が正解当てクイズに終るかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や

同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

〔教科書〕小杉修二著『増補現代中国の国家目的と経済建設—超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）¥4,120(消費税込み)

〔参考書〕小林英夫『戦後日本資本主義と「東アジア経済圏」』（御茶の水書房）¥3,200
小林英夫『東南アジアの日系企業』（日本評論社）¥3,200

アジア経済論

こ ばやし ひで お
小 林 英 夫

今日ほどアジアが注目されるようになった時期もめずらしい。とりわけ、その目ざましい経済成長が注目されたのである。1970年代は韓国、台湾、香港そしてシンガポールが、そして80年代後半になるとタイやマレーシアといったアセアン諸国が、その高成長のゆえに注目された。韓国をはじめとする4ヵ国は、一つの高成長グループとしてくられ、その名をニックス(NICS)と称された。

では、なぜ、この時期、アジアで経済成長が生じたのであろうか。それは、どのような歴史を背景に生まれたのか。そして、こうした成長地域の出現は、世界政治と経済にどのような影響を与えたのであろうか。アジア経済論は、こうしたアジアの経済成長の歴史的背景と現状そして将来を展望し、それが日本と世界の政治、経済に与えたインパクトを考察することにある。

授業は、講義形式でおこなう。ただし、原則として年間2回外部講師をまねいて、実際のアジアの実情を紹介してもらっている。これまでに野村証券の調査員にシンガポールの金融事情を、ジェトロの調査員にマレーシアの実情を、三菱柏会の事務局長に自動車部品産業の実情を紹介してもらった。今年も同様の“アジア・ガイド”を計画している。

今年度の授業項目と授業スケジュールは以下の通りである。

4月

アジアの実情

5月～7月

日本とアジアの経済関係（戦後日本とアジアの関係を、Ⅰ.賠償過程、Ⅱ.借款過程、Ⅲ.直接企業進出の3期に分けその過程を追うと同時に、それが日本の産業構造に与えた影響について検討する。

7月の夏休み前に、外部講師をよび、企業進出に的をしぼった、実態報告を行う。

9月～12月

東南アジアの日本企業の活動（1972年以降開始された日本企業の東南アジアでの活動実態について、主に輸出加工区でのそれをめぐってその活動実態を検討する）

1月

まとめ（1年間の講義について、まとめを行なう）

授業の受講にあたっては、あらかじめ指示した教科書を講読しておくこと。テストは、夏休み直前と期末のテストの2回を実施し、両者の総合成績で決定する。

日本経済史

こ しょう せい
古 庄 正

開港前の日本は、極東の一封建国家にすぎませんでした。1853年（嘉永3）のペリー(M. C. Perry)来航に始まる鎖国体制の解体と欧米列強による領事裁判権・協定関税率・最惠国条項を内容とする安政条約の強制は、政治的にも経済的にも軍事的にも、幕末日本を植民地化の危機に陥れました。それにもかかわらず、日本は開港後わずか数十年の間に工業化を達成し、アジアにおける唯一の工業国家になりました。インド・中国・朝鮮その他のアジア諸国が工業化に失敗する中で、日本だけがなぜ工業化に成功したのでしょうか。この講義の第1の課題は、この点を歴史的・具体的に明らかにすることです。第2の課題は、日本の工業化は内外の民衆にとって何であったかを明らかにすることです。工業化は民衆の犠牲なしにはあり得ませんでした。苛酷な租税収奪による農民の没落、「インド以下の低賃金」の強制による労働者の貧困、公害の放置による地域住民の生活破壊等は工業化のもう一つの側面でありました。資源確保のためのアジア諸国への侵略はアジア諸国の民衆に塗炭の苦しみを強要することになりました。日本の工業化の問題はこれらのこととセットで考えなければなりません。第3の課題は、天皇制国家によって強行された日本の工業化と、戦後補償問題に端的に示されているような、自己反省に欠ける日本国家・日本企業の傲慢で醜い体質との間に、どういう因果関係があるのかを突き止めることです。日本経済史の対象はすこぶる広く、古代社会から現在までということになります。しかし、時間的・能力的制約から今年度は主に明治期（いわゆる産業革命期）の問題に話を限定したいと考えています。話の具体的中身としては、今のところ次のテーマを予定しています。なお、年度内に生起する諸事件の中で、日本経済史との関連で特に重要なものについては、適宜これを取り上げてお話するよう心掛けたいと思っています。生きた具体的な現実との緊張関係を抜きにした講義は、社会科学の講義としては適切なものではないかと思うからである。

1. 幕藩体制の構造とその矛盾
2. 開港と植民地化の危機
3. 幕藩制の崩壊と明治維新
4. 明治国家の工業化政策
5. 政商と天皇・華族の資本蓄積
6. 農民の分解と士族の没落
7. 自由民権運動と天皇制国家
8. 産業革命と工業化

9. 紡績と製糸業
10. 工業化と在来産業
11. 重工業と鉱山業
12. 工業化と公害
13. 財閥の形成と発展
14. 工業化と地主制
15. 鉄道業と海運業
16. 外国貿易の発展と構造
17. 工業化と財政・金融
18. 植民地の領有とその矛盾
19. 工業化は民衆にとって何であったか。

経済史を含めて、いま、なぜ、歴史を学ぶ必要があるのだろうか。講義要綱を書くたびに、いつも気になるのはこの点です。大学の先生のような研究と教育を商売にしている人間は一応別として、一般の学生や市民にとって、果たして歴史を学ぶ必要などあるのでしょうか。多少我田引水のように少し気がひけるのですが、私はやはりその必要があると思っています。歴史学は何が真実なのかを問う一つの有効な武器となるからです。現在と過去とが密接にリンクしている戦後補償問題に例をとって、この点を説明しましょう。

第2次大戦中、日本の政府と企業は100万を超える朝鮮人を労務要員として、あるいは軍人軍属や従軍慰安婦として動員し、その果てに多くの人々を死傷させ、または心身に癒し難い傷を負わせました。しかし、加害者である日本国と日本企業はこれらの戦争犠牲者に対して何の補償もせず、戦後処理に決着をつけました。従軍慰安婦を別とすれば、日本政府も関係企業もこれらの戦争犠牲者に謝罪すらしていません。こうした理不尽な戦争処理の再検討を求めて、いま戦争犠牲者たちは東京地裁等で裁判を始めています。しかし、国も企業も強制連行、強制労働・差別待遇の事実を一切認めず、日韓協定ですべて解決済として、原告の要求を突っぱねています。国と企業が過去の蛮行を何ら反省することなく、こうした傲慢な態度をとり続けているのはどうしてでしょうか。その理由の一つは、事実の解明が十分でなく、原告側が国や企業の強弁に有効な反論ができないためです。中央大学の吉見義明教授が防衛庁防衛研究所所蔵の軍の機密資料を発見、従軍慰安婦問題については軍の直接的関与を認めさせ、政府の政策を大きく転換させましたが、その他の問題については、国と企業の徹底した資料隠しも加わって、被害の実態が十分つかめていません。原告側の最大の弱みはこの点にあります。もう一つの理由は、韓国併合以来の朝鮮および朝鮮人に対する蛮行が、学校教育では殆ど知らされていないこともあって、多くの人々が戦後補償問題について無知・無関心であるということです。被害国家の民に対する国と企業の理不尽な対応を日本国民が許す一因はここにあります。文部省が教科書検定に執念をもやしたわけがよくわかります。戦後補償裁判を傍聴してしみじみ感じたことは、歴史研究と歴史教育が何としても必要だということです。国民が真実を知らなければ、どんなに理不尽なことでも、それが正論として公法廷の場でも罷り通る

ことになりかねないからです。

経済史を含めた歴史学の課題は、何が真実であるかを明らかにすることにあります。そういう意味では、本質的には批判の学であります。しかし、経済史を含めた歴史学の勉強をこういう側面のみ限定して考えるのは一面的にすぎます。人が自分の過去を懐かしく思うように、自己の所属する国家や民族や地域について、あるいは自らがその中で生きている社会や経済や文化について、その過去を知りたいと思うのは、いわば人間の本性のようなものです。そういう知的欲求を満たしてくれるのもやはり歴史学なのです。

中小企業論

み い い と
三 井 逸 友

「中小企業」を論じるというのは実は存外に容易ではない。世界的な「中小企業フィーバー」の続いた80年代をへて、深刻化する不況と「構造転換」のすすむ今日こそ、さまざまな俗論や直観的な先入観念を排し、きちんとした学問的方法と総合的でグローバルな現状認識をはかり、さらに21世紀を展望した「政策観」をつくり上げていく必要がある。

日本の中小企業は約600万、企業の99%、従業員の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万をこえ、付加価値の50%以上を生み出している。つまり、日本の経済社会にとって中小企業はきわめて重要な「メジャー」な存在であるとともに、諸外国からうらやましがられる「日本産業の競争力」を支えているのである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が恵まれていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差、不利、経営不安などの「問題状況」も依然広くみられ、今日また深刻となっている。しかもこうした「期待」と「困難」の交錯する事態は先進国に共通して確認されているのである。

この講義ではこうした中小企業の存在状況と役割、当面する問題を概観し、次にこうした中小企業の存立と問題性をめぐる理論・研究を検討し、「中小企業問題」の二面性と、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけを明らかにする。講義の後半では、「下請制」、「地場産業産地」などの中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追い、結合生産力の「効率性」と、これに対する競争と統制・管理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうえでの問題状況を示す。事態は独占大企業の「支配・利用」と「過剰・淘汰」の間で現われるのである。さらにこうした「中小企業問題」に対応して展開されてきた「中小企業政策」の国際比較研究を行い、「生産力」的に成功を収めてきた日本の「中小企業近代化政策」の特徴と限界、これに対する欧米の政策の相違点と近年の「収斂傾向」を解明する。加えて補論として、最近の政策課題として注目される、「構造転換」(リストラ)対応策、分業にもとづく結合生産力の目的意

識的な組織としての、企業間連携・共同促進策、新規開業促進策、そして「基本法30年」での中小企業政策の見直しの動きについてもふれてみたい。

授業は主に講義の形で進めるが、企業経営のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、企業経営者の方の話などもとり入れたい。その中で産業分析の基礎知識も伝え、さらに担当者の世界各地や全国での見聞も活用する。

〈構成予定〉

- I. 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況
- II. 「中小企業論」研究の方法と「存立」論・「問題」論
- III. 中小企業の現代的存在形態
- IV. 「中小企業政策」の展開と国際比較

なお、毎年夏休みには、補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。成績評価は、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。

〔教科書〕三井逸友『現代経済と中小企業』

(青木書店) ¥2,800 (税抜)

三井逸友『EU欧州連合と中小企業政策』

(白桃書房) (予定)

〔参考書〕中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕

教育経済論

や しき たが みつ
谷 敷 正 光

〈授業内容〉

経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について考察する。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2,000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2,000年のアメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランス「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした各国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず考察する。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の教育要求と国の教育政策、産業教育政策を考察する。

〈授業形態〉

毎時間、講義のはじめに、現実的理解のために視聴覚教室でビデオを使用する。

〈授業項目と授業スケジュール〉

(1) 欧米先進国の経済の現状と教育

- ① アメリカ
- ② イギリス
- ③ フランス
- ④ ドイツ
- ⑤ 日本

(2) 戦前の経済発展と実業教育の振興

- ① 学制時代(明治10年前)
- ② 教育令時代(明治20年代)
- ③ 学校令時代(明治30年代)
- ④ 実業学校令時代(明治30年代)

(3) 戦後の経済発展と産業教育の振興

- ① 復興期
- ② 高度成長期
- ③ 1970年代
- ④ 1980年代
- ⑤ 1990年代

(1)(2)は前期に、(3)は後期に講義する予定。

〈履修条件〉

- ① 欠席しないこと。
- ② 視聴覚教室を使用することが多いので教室には注意すること。
- ③ 年間数十枚のプリントを配布の予定ですが、一度配布したプリントは、後の時間では配布しないので、必ずその時間中に受けること。

〈評価方法〉

定期試験の成績

〔教科書〕年間25~30枚のプリントを講義資料として配布するので特に使用しない。

〔参考書〕豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』(東大出版)

文部省『産業教育百年史』(ぎょうせい)

アメリカ経済論

せ と おか ひろし
瀬戸岡 紘

☆ 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのが、この講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

☆ 特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。

この講義を受講するためには、特別な経済学の予備知識などは必要ありません。経済学部以外の学生でも

十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探求をこころみるものではなく、奥ふかく興味のつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

☆ 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。

1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

前期

[導入の話題]

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

[総論]

- ◇アメリカ的特質
 - ◇アメリカ経済の歴史的背景
- [アメリカ経済各論]
- ◇アメリカの農業
 - ◇アメリカの工業
 - ◇アメリカの企業家
 - ◇アメリカの労働者
 - ◇アメリカの商業とサービス
 - ◇アメリカの金融
 - ◇アメリカの科学技術
 - ◇アメリカの先端産業

後期

[世界とアメリカ]

- ◇国際通貨ドルの地位とIMF
- ◇アメリカと貿易(GATTとWTO)
- ◇アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義
- ◇アメリカの海外援助
- ◇アメリカの多国籍企業
- ◇多国籍企業とアメリカ経済

[アメリカと世界の諸地域]

- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋

[むすびの話題]

◇アメリカの経済学(あたらしい学派の見解)

毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらかテーマの本質について考えてみます。

☆ あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらしないで、この真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

☆ アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です。

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

☆ 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません。

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳、青木書店、1994年)をおすすめします。

☆ 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です。

この講義は、3年生、4年生いずれもが受講できることはいうまでもありませんが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生のうちを受講することをすすめます。また、この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。たとえば、この講義では、一発の年度末試験よりも平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定です。

財務会計論

えん どう たかし
遠 藤 孝

<授業の主たる内容>

会计学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計(FINANCIAL ACCOUNTING)について、その伝達、開示の手段である貸借対照表

(BALANCE SHEET), 損益計算書 (INCOME STATEMENT) を中心に, その性質, 内容, 役割などについて講義する。

財務会計論は会計学原理ともいえるもので, 企業会計とは何か, 企業が作成する貸借対照表などの決算書は, どのようにして作成されるか, それはどのような性質, 内容をもつものであるか, それはどのような役割を果たすものであるか, また決算書はどのように読んだら良いのか, など実例をもって説明する。

〈授業形態, 講義〉

できるだけ多くプリントを配る予定。

〈授業項目と授業スケジュール〉

前期

- ① 4月第1週
企業会計, 財務会計とは何か。
会計学, 財務会計論とは何か。その企業会計, 財務会計の何を学ぶのか。
- ② 4月第2週
先週に引続き, 企業会計, 財務会計とは何か。
企業会計, 財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- ③ 5月第1週
財務会計の制度性について。
企業会計制度とは何か。日本の企業会計制度, 各国企業会計制度のタイプ。
- ④ 5月第2週
貸借対照表論, 貸借対照表とは何か。実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割, 貸借対照表学説。
- ⑤ 5月第3週
資産評価について。流動資産 — 棚卸資産の評価, 有価証券の評価, 現行評価制度の問題点。
- ⑥ 6月第1週
資産評価について。固定資産の評価, 土地評価, 減価償却について。
- ⑦ 6月第2週
繰延資産について。繰延資産の特殊性, 繰延資産項目とその償却。
- ⑧ 6月第3週
引当金について, 引当金とは何か。引当金の設定基準 — 商法, 「企業会計原則」の引当金, 引当金会計の問題点。
- ⑨ 6月第4週
同上
- ⑩ 7月第1週
資本会計について。

後期

- ⑪ 9月第1週
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- ⑫ 9月第2週
連結財務諸表とは何か。
- ⑬ 9月第3週
同上

- ⑭ 10月第1週
セグメント会計について
リース会計について
- ⑮ 10月第2週
企業内容, 会計内容の開示について。
注記 財務諸表附属明細表 (書)
- ⑯ 10月第3週
同上
- ⑰ 10月第4週
財務諸表の監査, 商法上の監査。
- ⑱ 11月第1週
財務諸表の監査, 証券取引法上の監査。
「企業会計原則」について
- ⑲ 11月第2週
会計の国際化, 会計基準の国際的調整。
- ⑳ 11月第3週
同上
- ㉑ 11月第4週
日本, 世界企業会計の最新動向。
- ㉒ 12月第1週
同上
- ㉓ 12月第2週
会計学を学ぶについて考えるべきこと。
— 総括
- ㉔ 最終週
予備

以上のスケジュールは学会出張, 大学祭など大学の行事によって変更することがある。

〈成績評価の方法〉

試験による。(前期, 後期2回実施の予定)
〔教科書〕講義の際指示。

管理会計論

なか ばら しょう きち
中原 章 吉

〈授業の主たる内容〉

「管理会計」という分野は, 多くの人にとって, 大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも, ある段階に達するまでには, 何段もの階段を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は, その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。

「管理会計論」は, 企業の「ことば」である会計, その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して, 「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

〈授業項目と授業スケジュール〉

前期は, 管理会計の本質, 体系その中での意思決定会計と業績管理会計をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連につ

いても講義していきたいと思ひます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。

「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

〈予め読むべき文献など〉

1年生で「会计学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会计学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思ひます。例えば、『企業会計の基礎知識』（創成社）
〔教科書〕講義の際、指示します。

会計監査論

いい おか とおる
飯 岡 透

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化および企業活動の複雑化に伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。

本講座では、次の内容につき順次講義する。

1. 会計監査の目的と種類
 - (1) 会計監査の目的
 - (2) 会計監査の種類
 - (3) 監査基準の必要性和その構造
2. わが国における監査制度の発展
 - (1) 第2次大戦前におけるわが国監査制度の展開
 - (2) 第2次大戦後におけるわが国監査制度の展開
3. 証券取引法による監査制度
 - (1) 証券取引法による企業内容開示制度
 - (2) 公認会計士監査制度
4. 商法による監査制度
 - (1) 商法による計算と公開制度
 - (2) 監査役監査制度
 - (3) 会計監査人監査制度
5. 監査人の要件と責任
 - (1) 監査人の要件
 - (2) 監査役および会計監査人の選任と解任
 - (3) 監査役および会計監査人の職務権限と責任
6. 監査要点と監査手続の選択適用
 - (1) 監査要点の意義と種類
 - (2) 監査手続の意義と分類
7. 監査証拠の種類と内容
 - (1) 監査証拠の意義と分類
 - (2) 十分な証拠とその決定要因

8. 内部統制と監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素とその評価
- (2) 監査リスクと重要性

9. 監査計画の設定要件と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の必要性和審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

10. 監査調査の目的と種類

- (1) 監査調査の目的と作成要件
- (2) 監査調査の種類と保存

11. 経営者による確認書の意義と記載内容

- (1) 経営者による確認書の役割
- (2) 経営者による確認書の記載内容

12. 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短形式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

会計監査は、財務諸表の適正についての意見表明を目的とするものであるから、会计学総論、簿記論および財務会計論などの講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。なお、成績は、レポートおよびテストの結果によって評価する。また、教材・参考書については、最初の授業時に指示する。

商業政策

いわ した ひろし
岩 下 弘

〈授業項目〉

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 80年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法

- 5 凍結宣言、要綱及び条例
- 6 通産省による行政指導＝抑制措置
- 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
- 8 特定商業集積法
- 9 街づくりと都市計画

五 海外の流通政策

- 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
- 2 フランス－ロワイエ法
- 3 ドイツ－土地利用計画
- 4 アメリカ－ゾーニング規制

六 流通問題と消費者保護政策

- 1 消費者問題論
- 2 消費者保護基本法
- 3 消費者行政
- 4 生協

七 流通問題と独禁政策

- 1 独占禁止法
- 2 不公正取引
- 3 取引慣行

〈成績評価〉

試験、レポート、出席により評価する。

〔教科書等〕

教科書は特に指定しない。必要な文献は指示する。

貿易論

ふる さわ こう ぞう
古 沢 紘 造

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って日本の対外経済関係（貿易、投資、援助）を批判的に考察したいと思います。その際、構造的に、また、人々の生活の実態に触れながら検討をすすめます。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

〈授業内容〉

- I. 農産物と貿易
- II. 水産物と貿易
- III. 林産物と貿易
- IV. 資源と貿易
- V. 工業製品と貿易

- VI. 援助と貿易
- VII. 企業進出と貿易
- VIII. 総括

I～VIIIの具体的な内容については、最初の講義のときに話したいと思います。

〈評価方法〉

基本的にはペーパー・テストにより評価しますが、自主的にレポートを提出してもらい、それを含めて評価をすることも考えています。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたいと思います。思考の跡がうかがえないものは評価の対象にはならないでしょう。

〈教材〉

とくにこれといった教科書はありません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえば内容は充分理解できると思います。講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいということがありましたら、遠慮なく話に来て下さい。いろいろな文献や訪れたらよい機関を紹介します。講義の内容と卒業論文のテーマが関連しているということで研究室（第2研究館4階34号室）を訪ねる人もいます。

マーケティング

そ が のぶ たか
曾 我 信 孝

1. 前期はマーケティングの基本政策を収奪構造の観点から解明する。

(1) 製品政策

- ① 概念と差別化政策
- ② 多様化・細分化政策
- ③ ライサイクルと計画的陳腐化政策

(2) 価格政策

- ① 概念と価格設定の方法(1)
- ② 価格設定の方法(2)と消費者支配
- ③ 差別価格と収奪

(3) チャネル政策

- ① 概念と流通機構
- ② 商業の排除と系列化政策
- ③ 流通支配の形態

(4) 販売促進政策

- ① 概念と人的販売政策
- ② 広告政策と広告業界

(5) マーケティング・ミックス

※前期の講義のねらいは、マーケティングの基本理論を理解してもらうことにある。しかし、講義中は理論の説明に固執するわけではなく、とりわけ消費財のマーケティング事例を豊富に取り入れるつもりである。それは学生諸君が今後マーケティングを応用できる能力をつけることを期待しているためである。

2. 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングの分析を課題にする。とりわけ、総合商社を軸として、日本企業が激変する国際市場にどのように対応しているかを、マーケティングの観点から分析する。

- (1) 激変する市場環境
 - ① 国内市場の変化
 - ② ブロック経済化
 - ③ 経済規制の緩和
- (2) 総合商社の新事業
 - ① 川下戦略
 - ② 消費財生産部門への参入
 - ③ 新事業への対応政策
- (3) 総合商社の国際マーケティング戦略
 - ① 消費財マーケティングの展開
 - ② 総合商社の需要創造活動
 - ③ ネットワークと支配
- (4) 総合商社と子会社
 - ① 子会社戦略
 - ② マーケティング管理と子会社
- (5) 情報化戦略
 - ① 国際化と情報の対応
 - ② 通信事業と支配
 - ③ 情報関連事業と支配

※地球規模での市場の変化は、日本企業だけでなく、世界の企業がマーケティングを限定した地域で展開することはできなくなっている。また、日本市場だけを考えても、生産から消費までを考えなければならぬマーケティングでは、国際マーケティングを抜きには論じられなくなっている。そのなかで、日本企業の国際マーケティングに総合商社は深く関与している。したがって、総合商社の行動を分析することで、総合商社の国際マーケティングはもとより、日本企業の国際マーケティングの実態を解明することにねらいがある。

<評価の方法>

- ① 年一回の定期試験……70%
 - 夏休中の課題 ……20%
 - 出席状況 ……10%
- ② 評価基準
 - 講義内容の理解 ……60%
 - 問題意識 ……30%
 - 分析力・応用力 ……10%

〔教科書〕 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）¥4,000

〔参考書〕 三浦 信・来往元郎・市川 貢『マーケティング』（ミネルヴァ書房）¥2,200
 曾我信孝編著『マツダ マーケティング戦略』（白桃書房）¥2,700

労務管理論

いし い しょう じ
 石 井 脩 二

<講義目的>

日本経済の繁栄を支えてきた日本企業の存在意義が問われはじめている。国際的には依然としてくすぶり続ける経済摩擦や経済ブロック化への動き、国内的には政財界ゆ着による倫理性のない企業犯罪の頻発、過労死や長時間労働に示される労働生活の貧しさ、いわゆるバブル崩壊に伴う企業業績の悪化といった情勢のなかで、あらためて日本企業のあり方が問われている。日本企業をとり巻くこれらの環境変動は、日本企業が今後どのような方向へ進んでいくのかという「将来予測」を難しくしている。この変化の激しい時代に必要なことは、現実には生起している事実を可能な限り把握し、そのなかで次なる時代の方向を自分なりに見定めることである。この講義の目的は、日本企業の現実に関心を持って、これから到来するであろう社会がいかなる様相をもつことになるかを考えるための情報を提供することにある。

<講義内容>

企業は、一般にヒト・モノ・カネ・さらに情報といったさまざまな経営資源を調達・購入し、その効果的な組み合わせによって目的とするものを実現していく。日本企業が国際的に強い競争力を発揮しえたのは、これら諸資源のうちヒト資源つまり人的資源の活用卓越性によるといわれている。企業活動のうちで人事・労務管理といわれてきたものが専らこのヒト資源の有効利用に関係している。

ところが現在、日本企業がつくりあげてきた強い競争力そのものが問われはじめている。このことは、競争力の源であった日本企業での人的資源管理つまり人事・労務管理そのものがその妥当性を問われているということにほかならない。この講義では、日本企業が直面している企業環境の変化のなかで、どのような人的資源管理が展開されようとしているかを極力最新の情報によりつつ明らかにし、新しい制度・方式の展開の先にどのような日本企業の将来が浮上してくるかを考える。

前期は、人的資源管理に関わるもののうち、一般に「雇用管理」といわれている領域の問題を扱う。雇用管理とは、企業が必要とする量と質の人的資源を調達し育成する一連の計画的・組織的活動である。この雇用管理を貫いていた原理・原則は、周知の終身雇用慣行であり、年功制度であった。しかし、今日は、日本企業を取りまく環境変動は、従来の雇用管理の原理・原則をゆり動かし、解体の様相さえみせはじめている。この講義では、その変動に関する事実情報を可能な限り把握し伝えようというわけである。講義は、以下の順序で進めていく。

序 章

労務管理ないし人的資源管理とは

第1章

日本企業が直面している諸問題

第1節 企業環境の変化と日本企業の戦略転換

第2節 事例研究

第2章

雇用管理の内容と新しい動き

第1節 募集・選考

第2節 教育訓練・配置

第3節 昇進・昇格

第4節 給料・報酬

第5節 労働時間

第6節 定年退職

第3章

人事制度の新しい展開

第1節 変化を促進した要因

第2節 具体的制度とその有する意味

〈授業方式〉

授業は、講義方式、板書。出欠にはこだわらない。但し前期・後期それぞれに試験を行う。

〈成績評価〉

前期（50点）、後期（50点）を総合して判定する。試験内容の評価は、答案の論理性と説得性にもとづく。勿論、講義内容をふまえていることを条件とする。優・良・可・不可の配分は行わない。全員の答案がすぐれていれば全員が優と判定されることもありうる。また、その逆も極端な場合には生じうる。

〔教科書・参考書〕

テキストは使用しない。しかし、以下の文献は必読。講義時間にプリント配布。

- ①日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』（日本経済新聞社）¥2,800
- ②日本経済新聞社編『会社解体新書』（日本経済新聞社）¥1,300
- ③日本経済新聞社編『テラスで読む当世労働事情』（日本経済新聞社）¥1,300
- ④佐野陽子『企業内労働市場』（有斐閣）¥1,700

経営管理論

ひやく た よし はる
百 田 義 治

〈講義の要旨〉

企業とは何か。それはどのような目的・理念のもとに経営されているのか。また、そこで人々はどのように働き、生活しているのか。一年間の講義を通して、こうした問題をさまざまな視角から取り上げて検討します。

今日、日本企業の経営システムには、「トヨタイズム」という言葉に象徴されるように国際的に大きな関心が寄せられています。その関心には、労働生産性の高さという「効率性」に注目した「肯定的」な評価もあれば、「過労死」や「長時間労働」という「非人間性」に注目した「否定的」な評価もあります。日本企

業の活動のグローバル化が進展する中で、また外国企業が日本の経営システムを導入する（ジャパナイゼーション化）中で、日本の経営システムの「普遍性」・「特殊性」をトータルに把握し、国際化時代と共生する日本企業の今後を考えることが私達に今日ほど求められている時期はありません。

しかし同時に、現代社会における私達の生活そのものが、企業の活動を媒介に実現されています。私達は、労働者としてだけではなく、消費者としても、地域社会（コミュニティ）で生活する市民としても、企業の活動と無関係に生活することができない存在です。私達は、物質的にも精神的にも豊かな生活を実現し、働きがいのある労働生活と生きがいのある家庭生活を「回復」するためにも、現代企業の経営管理に関心ではいられないのです。

このような現代企業の経営管理活動を研究の対象とする経営管理論は、20世紀の初頭に経営管理活動を近代化・合理化する技法・制度・理念の提供を課題として誕生したものです。現代においても、その基本的性格が企業経営のための実践的な指針・政策の提供すること（実践性）にあることは否定できません。すなわち、現代の経営管理論も、FAやOAなどめざましい技術革新の進展や著しい国際化の展開、あるいは急速に進行する高齢化社会の到来や地球規模で深刻化する環境問題、さらには自覚し多様な価値観を持った消費者の行動など、企業を取り巻く諸条件の変化に起因する問題に対応するための指針・政策の提供というプラグマティックな方策論的な性格を一面において持っています。フィランソロフィー、経営（企業）倫理、コーポレート・ガバナンスといった最近の議論もその例外ではありません。

講義では、このような方策論的経営管理論が提起するさまざまな経営管理の技法・制度・組織あるいは経営理念・経営思想の歴史的展開と現状を事実と則して具体的に検討します。しかし、経営管理の諸問題は批判的に検討することも必要です。すなわち、経営管理の諸問題は、経営学や社会科学の対象として位置づけで考察することも必要です。

その理由として、二つのことが考えられます。一つには、現代企業の諸活動は、方策論的経営管理論が実践的な指針・政策の提供の対象とする経営者や管理者だけでなく、圧倒的多数を占める一般の労働者をも含めた、あらゆる人々の「総労働」として実現されているからです。そのような総体としての企業構成員すべての労働と生活の豊かな未来を展望した問題の検討が経営管理論の課題でもあります。二つには、圧倒的多数の現代の企業は私企業ですが、その社会的影響力という点から見れば、市民社会あるいは国際社会と共生すべき「社会的存在」であり、「社会的公器」であるとも言えます。その意味では、国民全体の豊かな未来、国際社会との共生という立場から、現代企業の経営管理問題の多様な諸相を歴史的、客観的、科学的に認識し、その問題点を解明し、現代的諸問題へのアプローチの方途を検討することが経営管理論の重要な課

題であると言えます。

現代企業の諸活動は企業構成員全体の労働に支えられたものであり、またその諸活動は一般の大衆株主や消費者あるいは取引業者や地域住民などとの、さらにはグローバリゼーションの現状を考えれば進出国との関係をも含めて、数多くの利害関係者との多面的で密接なネットワークの中で展開されています。したがって、現代企業の経営管理の諸問題は、一般従業員、下請け・関連企業、市民・地域住民、消費者、大衆株主などとの関係、さらには国際関係をも視野に入れて検討されなければなりません。授業では、このような視点から経営管理の諸問題にアプローチすることになります。

〈授業の方法〉

- (1) 前期：テキスト（教科書、参考書）を利用して、経営管理の技法・制度や理論・思想の歴史的な展開を学びます。しかし、随時、新聞記事や雑誌論文などを使用して、経営管理の現代的諸問題との関連をできるかぎり重視し、歴史的な展開を学ぶことの意義を考えて行きます。
- (2) 後期：日本の経営システム、グローバリゼーション、技術革新と経営管理の変化、などに関する授業では、可能なかぎりビデオも利用し、できるかぎり具体的に現代の経営管理問題を把握できるようにします。

〈授業スケジュール〉

【前期】

- ① 4月：(1) 現代の企業と経営管理の基本的性格について
- (2) 現代経営管理の諸領域について
- ② 5月：(1) 経営管理の生成について：
体系的な管理と科学的管理
- (2) 経営管理の展開について：
人間関係管理と人的資源管理
- ③ 6月：(1) 経営管理の理論について：
管理過程論と管理組織論
- (2) 経営管理の理論について：
企業環境と経営戦略論
- ④ 7月：(1) 経営管理の理論について：
経営倫理と企業の社会的責任論
- (2) 前期試験（前期最終講義）

【後期】

- ① 9月：(1) 技術革新と経営管理：
FA・OA化と管理問題
- ② 10月：(1) 日本の経営について：
日本の労使関係の特質
- (2) 日本の経営について：
日本の生産システム
- (3) 日本の経営について：
企業集団と経営管理
- ③ 11月：(1) 日本企業の経営比較：
経営組織構造，経営理念，労働観
- (2) 国際化と経営管理：
日米企業の国際化の現状と課題

④ 12月：(1) 現代経営管理の課題と労働の未来

⑤ 1月：(1) 後期・学年末試験

（以上のスケジュールは、授業の進め方の基本的な方向です。若干変更せざるをえない場合があります）
〈成績評価〉

前期試験および後期試験に、数回のレポートと出席状況を加えて総合的に評価します。

〔教科書〕 笹川・稲村・井上編著『現代経営の基本問題』（税務経理協会）1994年

〔参考書〕 新書・文庫などを中心に随時紹介します。

行政法Ⅱ

さいとう ひさし
斉 藤 寿

行政法の各論として、各種の行政法領域ごとに、関係法令を類型化し、解釈学的にとらえるとともに、判例や事例研究を通して、行政法令の現実的機能にふれつつ、興味深い講義を続け、楽しく研究します。

主な内容としては、(1)行政組織法、(2)公務員法、(3)公物法・営造物法、(4)警察法、(5)統制法、(6)公企業法、(7)公用負担法、(8)財政法、などについて学んでいきます。

そして、時間的に可能であれば、生活空間（環境）形成行政法などにも、および予定です。これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕 『現代行政法論』（勁草書房）、

『行政法Ⅰ・Ⅱ』（評論社）など、拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

民法Ⅳ（1）

かのう かず お
叶 和 夫

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案の中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりまぜて、面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕 遠藤 浩他 5名編集『民法(8)親族 第3版増訂版』（有斐閣双書）

〔参考書〕 島津一郎編『基本法コンメンタール第3版親族』 別冊法学セミナー（日本評論社）

民法Ⅳ（2）

かのう かず お
叶 和 夫

相続制度全般にわたって講義するが、遺言及び遺産

分割を詳説したい。判例及び実務の経験をおりまぜて面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕遠藤 浩他 5名編集『民法(9)相続 第3版』
(有斐閣双書)

〔参考書〕島津一郎編『基本法コンメンタール相続』
別冊法学セミナー(日本評論社)

比較憲法

たけ はな みつ のり
竹 花 光 範

本年度も、昨年度と同様、次の順序で講義を行う予定である。

1. 比較憲法学とは
2. 憲法概念と分類
3. 国体と元首(共和制と君主制, 元首, 国のシンボル等)
4. 統治の原理と構造(民主政治の基本原則, 議院内閣制と大統領制, 一院制と二院制, 社会主義国における議会制度等)

〔教科書・参考書〕講義の中で述べる。

経済法

かわ い よし かつ
川 井 克 俊

経済法—独占禁止法を中心として—

- 第1部 経済法概説。経済法とは何か。経済法と競争政策。経済法における独占禁止法の位置づけ。
- 第2部 独占禁止法。独占禁止法の目的。その他私的独占, カルテル, 企業結合, 独占的状态, 不公正な取引方法等について, なるべく条文に即して講義する。

このほか、最近でいえば経済の国際化を迎えて、国の内外で競争政策に対する関心が高まっている。日米構造問題協議しかり、臨行審の公的規制の見直ししかりである。このようなアップトゥデートの問題に対して講義し、学生の社会的問題に対する学問的素養を高める。

〔教科書〕川井克俊『競争政策法概説』(高文堂)
¥3,600

〔参考書〕講義の中で紹介する。

川井克俊著『カルテルと課徴金』
(日本経済新聞社)

川井克俊著『いやでもわかる公取委』
(日本経済新聞社)

地方自治法

うめ き たかし
梅 木 崇

行政法の原理・原則の応用としての地方自治法を考えてみたい。必要に応じて、行政法総論における基本概念を説明するつもりである。

〔教科書〕開講にあたって指示する。

国際関係論

しほ とう ちと こ
首 藤 素 子

冷戦後の国際関係の特徴と問題について考える。講義を構成するテーマは次の3つに大別できる。第1に、欧州地域の安全保障協力や政治、経済協力の進展と制度化について、第2に、アジア太平洋地域の経済的相互依存の深化や安全保障協力を目的とするフォーラムの形成と問題について、第3に、冷戦後の国際組織の役割の拡充とその機能の実態について。なお、第2のテーマでは戦後の日本の外交政策や日米関係の推移等も講義でとりあげる。また第3のテーマでは、国際機関による開発援助や融資の問題、貧困と開発と人権の問題、現代文明とグローバルな環境問題の関連等を講義でとりあげたいと思っている。

〔教科書〕細谷千博・臼井久和編『新版 国際政治の世界』(有信堂高文社)1993年

〔参考書〕講義で指示する。

西洋政治史

うら た き なえ
浦 田 早 苗

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。今年度はフランス革命以降の18、19世紀のフランス政治史を通じ、『近代』の意味するところを考えてみたい。

宣伝広告論

かみ じょう すえ お
上 條 末 夫

政治宣伝と政治的コミュニケーションの問題を主として取り上げる。政治宣伝の理論、歴史、そして実際について、具体例によって説明する。現代は宣伝の時代ともいわれ、政治も宣伝やコミュニケーションがきわめて重要な役割をもっている。主権者としての国民は、これにどう対応していくべきか、あるいは社会人として、社会および個人の間をどう調整していくべきか、という問題を解明していきたい。

〔参考書〕その都度指示する。

政党論

はや かわ よし き
早 川 純 貴

本年度の「政党論」のテーマは政党の包括化過程である。一つの政党が包括政党（キャッチ・オール）化していく過程をいくつかの側面から論じていく。すなわち 1) 支持層拡大戦略（新しい政策と固有の政策・イデオロギーとの葛藤） 2) 組織拡大に伴う諸問題 3) 歴史的背景・政治文化との関係 4) 福祉国家形成との相互作用 5) 政党システム（一党優位制・二大政党制・多党制）との関連 6) 包括政党の限界、などである。そして最後に、日本における包括政党の可能性について言及したい。なお本講義は他学科にも開講するが、最低限、一般教養の「政治学」を履修、ないしそれと同程度の政治学の知識を有する学生でなければ内容の理解は困難である。

〔教科書〕使用せず

〔参考書〕随時紹介

保険経営論

いしな ざか くに あき
石名坂 邦 昭

〈講義のねらい〉

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的な事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

〈講義の内容と授業スケジュール〉

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危険管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となって

いる。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期は保険論を中心とした講義を行う。講義はOHP等を使用し、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

〈履修上の留意点〉

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない。学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

〈成績評価の方法〉

講義への出席状況及び授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

〔教科書〕石名坂著『リスク・マネジメントの理論』

（白桃書房）¥3,500

財務会計論

わた なべ え いちろう
渡 邊 恵 一郎

1. 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野である。この講義では、財務会計の基本的問題を多角的に考察したうえで、会計処理と表示方法及び財務開示制度について、理論と実務の両面から講述する。

財務会計は、企業経営者が企業外部の利害関係者達（投資者、債権者など）に対して、企業の経済現象を貨幣的に表現して伝達することであり、このため受講生達は財務会計の基準・法規などの知識と簿記とを習得する必要がある。しかし、私はさらに一歩進め、受講生達が、財務諸表やその基礎資料を見たら、「なぜこの数値（金額）になるのか」、「この数値は正しいか」、「今後、企業はどう展開していくか」などと追求し、数値の背後に存在する生々しい人間ドラマを想像できるようになってもらいたいので、会計のものの見方にも触れる予定である。

2. 講義の内容と授業スケジュール

講義の内容は、教科書の記載順序により、また大略、次のスケジュールである。

4月～5月 基本的問題：財務会計に関する職能論・公準論・計算構造論、報告論・社会制度論など

6月～7月 会計処理と表示方法(1)：収益・費用

9月～10月 会計処理と表示方法(2)：資産・負債・資本

11月～翌年1月 財務開示制度：財務諸表（個別、中間、連結）の作成と国際比較，その他（外貨換算，財務分析，金融商品，会計方針の変更，粉飾決算，不正・使途秘匿金など）

3. 履修上の留意点と成績評価の方法

- (1) 出席率を重視する。
- (2) 年2回レポートを提出させる。
- (3) 成績評価は，定期試験（筆記）の結果と出席率とを総合して決める。

なお，上記(2)のレポートを提出していない者は，定期試験の結果が良好でも単位を取得できない。

〔教科書〕 染谷恭次郎著『現在財務会計』

（中央経済社）

〔参考書〕 授業時間において，随時指示する。

10. 圧縮記帳

11. 引当金と準備金

12. 企業を巡る国際課税の問題

- (1) 移転価格税制
- (2) タックス・ヘイブン対策税制
- (3) 外国税額控除制度

13. 法人税額の計算

〈評価方法〉

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度，提出を求める。また，毎回出欠をとるかどうかは，初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

〔教科書〕

富岡幸雄著『税務会計論講義』

（中央経済社）¥2,900

参考書等は，講義の中で適宜紹介する。

税務会計論

たか き かつ み
高 木 克 己

今日，租税は我々個人にとっては，所得税，相続税等の問題として，また，企業にとっては，法人税の問題が大きな関心事として存在している。消費税についても何かと話題にのぼっている。本講義では，普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは，一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は，商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは，法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され，負担の公平，簡便性，あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では，こうした税法固有の考え方の根拠，背景等を出来るだけやさしく説明しながら，今日，法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務，請負，譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬，給料，賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券，棚卸資産，固定資産，繰延資産等の税務処理

商業史

やま だ まさる
山 田 勝

商業と商業経営の歴史的発展の過程を，文化との関係に留意しながら講義する。その際，対象とする時代の人々の生活や考え方，現代とのかかわり，といった諸点も検討していきたい。

主に対象とする時代は欧米については16世紀以降，日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 開講時に指示する。

経営情報論

たか い てつ お
高 井 徹 雄

経営スタッフの役割は，ひとことで言うと，「意思決定の支援」である。すなわち，意思決定の問題に関するデータを収集し，決定の指針となる情報へとまとめあげ，それをタイミングよく意思決定者に提供するものが，経営スタッフの仕事である。

本講義では，将来，企業や官庁などで，経営スタッフとして活躍されるであろう皆さんのために，経営情報に関する体系的な観点と，情報処理技術の基礎について解説する。

I. 総論：経営情報のシステムの観点

- (1) 科学とシステムの理論
- (2) 経営情報と意思決定
- (3) コンピュータと情報環境の発展
- (4) データベースとネットワーク

II. 各論：経営情報の処理技術

- (1) 統計処理とデータ解析
- (2) シミュレーション技法
- (3) 意思決定を支援する人工知能システム

〔教科書〕高原康彦・高津信三編，高井徹雄他著
「経営情報システム」（日刊工業新聞社）
¥3,200

〔注〕先にプログラミング論を履修しておくことが望ましい。

〔関連科目〕経営科学，情報理論

情報理論

にし むら かず お
西 村 和 夫

(1) 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。具体的にいうと，情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば，ある通報や記号のもっている情報量を，具体的な数値として（ビットという単位で）計算できるようになります。これによって，たとえばDNAの情報をつロッピーテスクに記録するために十分な枚数が，たちどころに計算できるようになります。

また，情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解でき，計算できるようになります。これは，経営情報論，符号理論，通信理論，暗号理論などで利用される重要な概念です。

(2) 講義の内容と授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説，情報とは，情報量への要求
5	3	対数の原理と性質，計算練習
6	4	情報量の定義，練習，試験，情報量の利用
7	3	暗号系と用語，古典的な暗号
9	2	現代的な暗号，暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード，万国共通文字符号）
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度，言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁，情報の圧縮と乱数，デジタル

(3) 履修上の留意点

内容の性質上，確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが，これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5

月参照）。

出席はとりませんが，出席して計算練習に参加していないと試験問題を解くことは無理でしょう。

(4) 成績評価の方法

中間試験（6月）と定期試験との合計点によります。

(5) 授業の形式など

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また，OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。各種の参考書をそのつど紹介します。

〔関連科目〕→経営情報論

国文講読Ⅰ（上代）

さ ばら さく み
佐 原 作 美

『万葉集』の中から各期を代表する歌人の特色ある歌を選んで講読していきたい。

〔教科書〕土橋 寛編『作者別 万葉集』

（桜楓社）¥1,800

国文講読Ⅱ（中古）

すず き ひろ こ
鈴 木 裕 子

今年度は，『源氏物語』を，賢木巻から読む。本文を正確に読みながら光源氏の青春期の喜びや苦悩というものについて考えてみよう。

〔教科書〕新潮日本古典集成『源氏物語』二

（新潮社）

国文講読Ⅲ（中世）

その べ みき お
蘭 部 幹 生

中世は説話の時代とも言われるが，そのなかでも説話文学の代表作品である『宇治拾遺物語』を読む。一つ一つの説話が担っている歴史的背景や意味，及び他作品との関連について考えてみたい。

〔教科書〕中島悦次校註 角川日本古典文庫

『宇治拾遺物語』（角川書店）¥720

〔参考書〕その都度指示する。

国文講読Ⅳ（近世）

せい だ けい こ
清 田 啓 子

近世小説の白眉とされる『雨月物語』をとりあげる。古典と中国文学との摂取による独自の世界を充分味わってみたい。また，読本の発生以来，後期読本への流

れも見、できれば「春雨物語」も読んで「雨月」の位置も確かめたい。

〔教科書〕水野 稔校注『雨月物語』（明治書院）

国文講読Ⅴ（近・現代）

おおむろいじ
大 室 英 爾

近代詩を読む。『於母影』の訳詩などからはじめて大正期の朔太郎・犀星・春夫あたりまでの主たる作品を順次読み、考え、鑑賞する。併せて近代詩の流れにも検討を加える。

〔教科書〕萬田・吉田編著

『展望 近代詩—その歴史と作品—』

（双文社出版）¥1,236

国文講読Ⅴ（近・現代）

ささせおうじ
笹 瀬 王 子

本年度は、尾崎紅葉、幸田露伴、泉鏡花の作品を扱う。明治期を代表する三文豪の作品の読みを通して、普段あまり接することのない明治文学の特質とその魅力に迫りたい。

〔教科書〕木村有美子・山根賢吉編『紅葉・露伴文学選』（和泉書院）¥1,236

泉 鏡花著『歌行燈』（岩波文庫）¥260

国文特講Ⅴ（近・現代）

ささせおうじ
笹 瀬 王 子

昨年度に引き続き、田山花袋の回顧録『東京の三十年』を読む。本書に描かれた文壇や社会の動きに留意しつつ、多角的に明治の文学を考えてみたいと思う。

〔教科書〕田山花袋『東京の三十年』

（岩波文庫）¥570 ほか

〔参考書〕授業中、適宜指示する。

英文タイプライティングⅡ

ゆあさようこ
湯 浅 陽 子

ブラインド・タッチを完全に習得した者のみを対象に、英文ワープロソフトWORDSTAR、日本語ワープロソフト—太郎、表計算ソフトLotus1-2-3等を使って様々な文書を作成します。

コンピュータ使用の為定員を32名とします。第一回目の授業の時にキーボード操作テストを行い、合格者及び人数制限の抽選に残った者を履習登録可能としま

す。

尚この授業は昨年度の「情報処理入門」と授業内容が重複するところが多い為、その受講者は対象外としておきます。

〔教科書〕第一回目の授業時に指示します。

時事英語

おかもとまこと
岡 本 誠

その日の朝の英語ニュースを聞く。受講者はこれを機会に世の中の政治経済の動きにも関心をもつことが肝要。また当日は耳をよく掃除してこること。

〔教科書〕テープ使用。

英語演習Ⅰ（ディクテーション）

おかもとまこと
岡 本 誠

慣用句の成立背景を歴史的にみていく。例えば、OKという言い方はどのようないきさつで成立したのか。あるいはmaverickとはどうして「一匹狼」の意味になったのか。これを全講義ディクテーションで行なう。紙と鉛筆それに辞書を持ってこること。各自TOEFL500点をめざしてほしい。

〔教科書〕テープ使用。

計算機言語概論

すげただとおる
杉 田 徹

高度情報化社会と呼ばれる二十一世紀の基盤技術のひとつにコンピュータが上げられる。その利用はあらゆる分野で急速に進められている。特に通信分野、医療関係の検査診断機器には、顕著なものがある。将来、診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基本知識は必要不可欠なものである。この講義ではパーソナルコンピュータの高級言語である BASICを中心に、アルゴリズム的発想の習得とその活用を目標に授業を進める。講義は次のテーマで行う。

1. コンピュータ言語の基本理論
2. BASIC言語
3. パーソナルコンピュータ（PC-9801）による実習

〔教科書〕コンピュータ教育工学研究所編

ガイドブック『BASIC』

（サイエンス社）¥1,854

臨床放射線特論 I

ほん ま じょう
本 間 襄

医療の中で、診療録・依頼箋の内容を理解し、相互のコミュニケーションに欠かせない外来医学用語の初歩的知識の修得を目的とする。

他学部履修では、将来病院や医学関係に従事する人に必要な知識である。

〔教科書〕 定めず

応用計測学

かし お せい じ
櫃 尾 英 次

医用画像診断装置は、コンピュータ技術の進歩と共に診断には不可欠なものとなってきた。この講義では、核医学機器（ガンマカメラ、シングルホトンECT、ポジトロンCT）、X線CT装置、MRI装置のハードウェアとソフトウェアについて概説する。また超音波診断装置、DSA、CRならびにPACSについても、その概要を講述する。

〔参考書〕 岩井喜典他 編著『医用画像診断装置』
（コロナ社）

教職及び資格講座
(国文科・英文科)

教 職 課 程
学校図書館司書教諭講座

目

次

I 教職課程

(1) 教職に関する専門科目（必修）

教育原理（国）（上岡 安彦）	1
教育原理（英）（北村 三子）	1
教育心理学（教育方法論を含む） （国眼 眞理子）	1
青年心理学（教育方法論を含む） （小宮山 要）	1
国語科教育法（鈴木 裕子）	1
英語科教育法（梅原 敏弘）	1
特別活動（原口 盛次）	2
生活指導（佐藤 尚人）	2
道德教育の研究（坂本 信昭）	2
教育実習（国）（坂本 信昭）	2
教育実習（英）（村山 輝吉）	2

(2) 教職に関する専門科目（選択）

教育関係法規（広沢 明）	3
図書館学Ⅰ（山崎 慶子）	(3)
図書館学Ⅱ（山崎 慶子）	(3)

II 学校図書館司書教諭講座

図書館学Ⅰ（山崎 慶子）	3
図書館学Ⅱ（山崎 慶子）	3

※（ ）頁は他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示している。

I 教 職 課 程

(1) 教職に関する専門科目（必修）

教育原理（国）

かみ 上 ねか 岡 やす 安 ひこ 彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次に、出てくる問題について日本の現象を例として教育学的に考察します。

そして最後に原本に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕『エミール』（上・中・下）（岩波文庫）
上 ¥590，中 ¥520，下 ¥520

教育原理（英）

きた 北 むら 村 みつ 三 こ 子

シュタイナー教育関係の文献を読み、その可能性を探ってみたい。

〔教科書〕高橋 巖『シュタイナー教育入門 現代日本の教育への提言』
（角川選書）¥880

教育心理学

（教育方法論を含む）こく 眼 かん まり 真理子

教育心理学は、教育という場に応用された心理学であり、広汎な領域が含まれるが、中学校教諭の免許状取得を念頭において、「青年期」、「心の健康」、「対人関係とパーソナリティ」、「進路の選択とアイデンティティの確立」の四領域を重点的に学び、考えていきたい。

〔参考書〕落合良行他著『青年の心理学』
（有斐閣）¥2,884
河合隼雄著『子どもと学校』
（岩波新書）¥550

青年心理学

（教育方法論を含む）こみ 小宮 やま 山 かねめ 要

前半では青年期の発達課題、自我、感情、知性等について考察する。また、後半では親子関係、恋愛・結婚、職業、問題行動、時間的展望等について検討し、自己と他者の理解を深めていく。

〔教科書〕使用しない。

国語科教育法

すず 鈴 き 木 ひろ 裕 こ 子

平成五年度より、新学習指導要領が全面実施となった。本講座では、その解説をはじめとして国語科教育の内容を概説し、実際に中学校教科書を用いての模擬授業を行い、実践に備えたい。

〔教科書〕全国大学国語教育学会編『新版 中学校・高等学校 国語科教育研究』
（学芸図書株式会社）

〔参考書〕中学校教科書『国語Ⅰ』
（光村図書出版株式会社）

英語科教育法

うめ 梅 はら 原 とし 敏 ひろ 弘

現代の英語教師に求められている資質、能力、知識とは何かという問題をまずとりあげ、英語教師になるために何が必要なのかを受講者自身によく考えてもらってから講義に入っていく。前期では外国語教育にまつわる諸問題を教授理論、外国語修得理論を中心に講義をする。後期は実際の授業風景を録画したビデオテープを見ながら、具体的な指導技術の習得をはかる。成績評価はレポート（50～60%）及びその他の要素（40～50%）を総合的に勘案して決める。その他の要素とは、出席・授業への貢献度（質問・意見の発表等）・模擬授業の出来映え等である。

〔教科書〕使用せず。必要に応じてハンドアウトを配布する。

〔参考書〕『実践英語科教育法』（リーベル出版）

特別活動

はら ぐち もり じ
原 口 盛 次

特別活動は各教科や道徳とともに、教育課程の一領域として、全人的な人間形成に重要な役割を果たしている。このような特別活動の理論と実践についての研究を行うが、主として次のような諸問題を扱う。

(1)特別活動の教育的意義、(2)特別活動の目標と特質、(3)特別活動の内容と特質、(4)指導計画の作成と内容の取扱い、(5)集団活動の理論と実践、(6)生徒指導の理論と特別活動、(7)学校・学級経営と特別活動、(8)特別活動の今後の課題

また、これらの研究を通して、特別活動についての指導力、実践力を身につけることを目指すものである。

〔教科書〕『特別活動の研究』（教育出版）

文部省『中学校指導書特別活動編』

（ぎょうせい）¥80

生活指導

さ とう なお と
佐 藤 尚 人

児童・生徒の教育を考える時、教科学習の指導はもちろん、学習がスムーズに行われるための環境づくり、わけても1人ひとりの子どもの学習への積極的な姿勢を導き出すことは極めて重要である。

本講義では、友だちができない・学習に集中できない・登校拒否・非行など具体的事例をもとに、子どもの精神発達の道すじを理解し、教師として子どもにどのように関わってゆくかについて考える。

教科書は使用せず、講義ノートに基づき進めてゆく。

〔参考書〕大貫・佐々木編著『心の健康と適応』

（福村出版）¥2,200

道徳教育の研究

さか もと のぶ あき
坂 本 信 昭

明治「学制」以降、今日に至る道徳教育の史的変遷にそって検討し、ことに学校教育における道徳教育の成立過程と事情について探究したいと思う。参考書については、授業で適宜紹介する。

〔参考書〕教師養成研究会『道徳教育の研究』

（学芸図書）¥950

教育実習（国）

さか もと のぶ あき
坂 本 信 昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）等に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成－提出、教育問題にかかわるVTRの視聴、グループ編成による授業（ディスカッション）を行い、教育への理解を深め、望ましい教師像について一緒に考えたいと思う。

〔教科書〕栗原敦雄他『教育実習ガイド』

（宣協社）¥1,500

〔参考書〕大村はま著『教えるということ』

（共文社）¥480

田村皖司他著『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥1,800

西村絢子他『現代教育を考える』

（昭和堂）¥2,600

教育実習（英）

むら やま てる よし
村 山 輝 吉

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるよう、年間を通じ次の事項をとりあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

(2) 教職に関する専門科目（選択）

教育関係法規

ひろ さわ あきら
広 沢 明

憲法，教育基本法，子どもの権利条約など教育に関する基本法規につき，具体的事例に触れながら講義を行う。校則，体罰，内申書，日の丸・君が代，教科書検定，学校事故，障害児教育，民族教育など今日的な教育問題について，法的観点から検討をしたい。

〔教科書〕広沢明『憲法と子どもの権利条約』

（エイデル研究所）¥2,800

〔参考書〕開講時に指示する。

図書館学Ⅰ

やま さき けい こ
山 崎 慶 子

（P.3）参照

図書館学Ⅱ

やま さき けい こ
山 崎 慶 子

（P.3）参照

Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

図書館学Ⅰ

やま さき けい こ
山 崎 慶 子

小学校，中学校，高等学校各々の学校の教育目標を達成するために学校図書館はなくてはならぬ設備である。

人格形成期にある児童生徒たちが，多くの事を学び教養や趣味を豊かに育てるためには教科書の他にたくさん資料が必要となる。児童生徒たちが生涯にわたって学ぶことの面白さを知る魅力ある学校図書館はどうあるべきか，そのためにはどのような研究や工夫が必要か。学校図書館を預り教員の中心的存在として活躍する司書教諭の職務内容全般について，特に読書指導の意義及び資料利用の技能育成について考察を深めたい。

前期講義は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」「図書館資料の選択」，後期は「学校図書館の利用指導」「読書指導」。

〔教科書〕図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』改訂版（学芸図書）¥1,442

図書館学Ⅱ

やま さき けい こ
山 崎 慶 子

小・中・高校における教育活動の肉付けとなる教材資料のうちで最も基本的な図書資料を主とし，それに図書以外の資料を加えて，各種資料の収集・整理・利用のために必要とされる知識・技能の修得を目指している。

講義の内容は，「図書の分類」，「図書の目録」，「資料の選択」，「図書以外の資料の利用」である。目録の作成，資料の分類では演習を実施する。

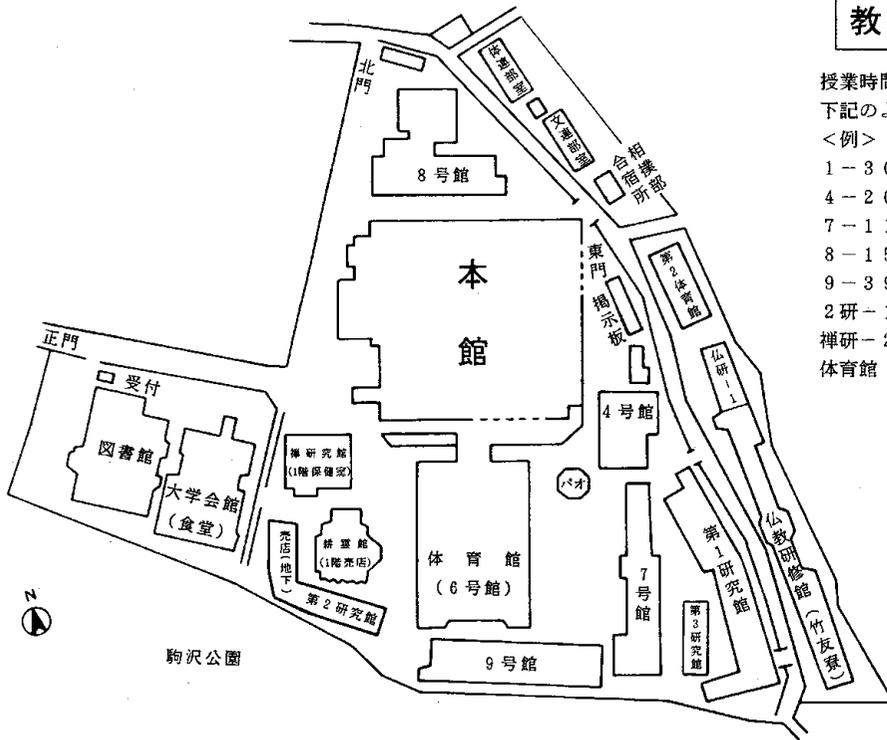
〔教科書〕図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』

改訂版（学芸図書）

全国学校図書館協議会『図書館学演習』

（全国学校図書館協議会）

駒澤大学の構内図



教場案内

授業時間表に載っている教場は下記のように見て下さい。

<例>

1-301	本館(1号館)3階
4-204	4号館2階
7-110	7号館1階
8-150	8号館1階
9-390	9号館3階
2研-101	第2研究館1階
禅研-201	禅研究館2階
体育館	体育館2階

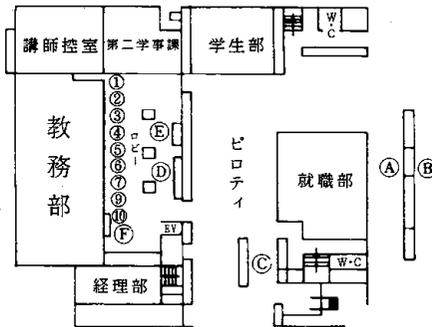
(ただし選択種目により第2体育館になる)

各事務室・掲示板配置図

教務部窓口

- ①教職課程
学校図書館司書教諭講座
- ②博物館学講座
社会福祉主事講座
社会教育主事講座
- ③科目等履修生 聴講生 卒業証書
- ④証明書(教務関係)申込受付・発行
<健康診断書および在学証明書は学生部>
- ※ 諸証明書申込用紙は経理部前にあります。
- ⑤諸届願
{ 休学・復学・退学・死亡
改氏名・本籍地変更・保証人変更・保証人住所変更 }
- ⑥大学院関係・留学生関係
卒業論文(仏教学部・文学部)
- ⑦転部転科
- ⑧履修・試験・成績・学業相談
学部演習 { 仏教学部・経済学部
法学部・経営学部 }
- ⑩時間割変更・休講・外国語指定届

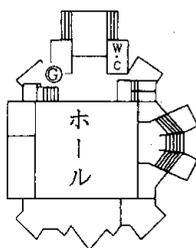
本館1F



掲示

- ④第1掲示板(表面)
公示・告示・学生部・就職部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他
- ⑤第2掲示板(裏面) - 臨時掲示板 -
教務部関係連絡事項(12月~3月)
就職部関係連絡事項(8月)
- ⑥第3掲示板 - 臨時掲示板 -
教務部関係連絡事項(12月~3月)
就職部関係連絡事項(4月~11月)
- ⑦休講掲示板・ビデオ教場使用一覧(当日)
- ⑧授業時間表カウンター・教場変更掲示板
- ⑨大学院・留学生関係掲示板
- ⑩国際センター掲示板
- ⑪留学生専用・海外留学掲示板
学外諸機関からの案内・募集広告等

耕雲館2F



体育館1F

